

尾鷲市総合計画策定に関するアンケート調査 報告書

令和2年11月

尾鷲市

目 次

I. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	2
(2) 調査概要	2
(3) 報告書の見方	2
(4) 居住地区区分	3
 II. 調査の結果	 4
(1) 調査対象者（回答者）の属性	5
(2) 現行総合計画の施策に関する意見	7
(3) 皆さんの身の回りで起こっていることについてお伺いします	27
(4) 新型コロナウイルス感染症などへの対策について	35
(5) 地球温暖化と災害リスクへの備えについて	37
(6) 持続可能な社会づくりについて	42
(7) 先進技術の導入について	43
(8) 人口減少対策に関する現在の取組についてお伺いします	46
(9) 尾鷲三田火力発電所の跡地利用についてお伺いします	67
(10) 今後のまちづくりのキーワードについて	74
(11) 結婚についてお伺いします	77
(12) 出産・育児についてお伺いします	83
(13) 自由意見	88
(14) その他意見	95
(15) クロス集計	97
(16) アンケート用紙	109

I. 調査の概要

（１）調査の目的

本市では、「第6次尾鷲市総合計画」が令和3年度をもって計画期間が終了するため、今年度から「第7次尾鷲市総合計画」（以下「総合計画」という。）の策定にむけた準備を進めています。

また、今回の総合計画においては、国土強靱化基本法（強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法）に基づき、大規模自然災害に備えた強靱な地域づくりを進めるための「尾鷲市国土強靱化地域計画」の策定が求められているため、策定にあたっては「総合計画」との連携・整合性が重要になることから、一体的に策定することとしています。

本調査は、市の施策や近年の社会・経済動向に対するご意見を把握し、その結果を総合計画の策定に反映させることを目的として実施するものです。

（２）調査概要

調査区域　：尾鷲市全域

調査対象　：18 歳以上 80 歳以下の市民から 1,000 人を住民基本台帳から無作為抽出調査

時期　　　：令和2年9月

配布数　　：1,000 票　　　回収数　　：346 票　　　回収率　　：34.6%

（３）報告書の見方

回答結果の割合「％」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

グラフ及び表の「N（number of case）」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

(4) 居住地区区分

居住地区については下記地区区分を単位に分析しました。

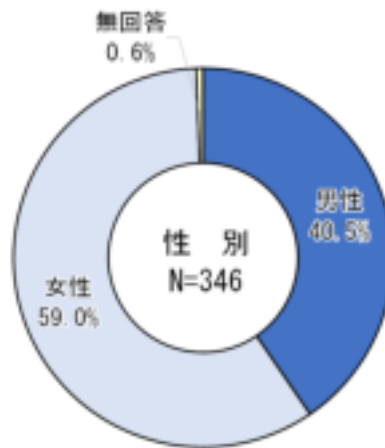


II. 調査の結果

(1) 調査対象者（回答者）の属性

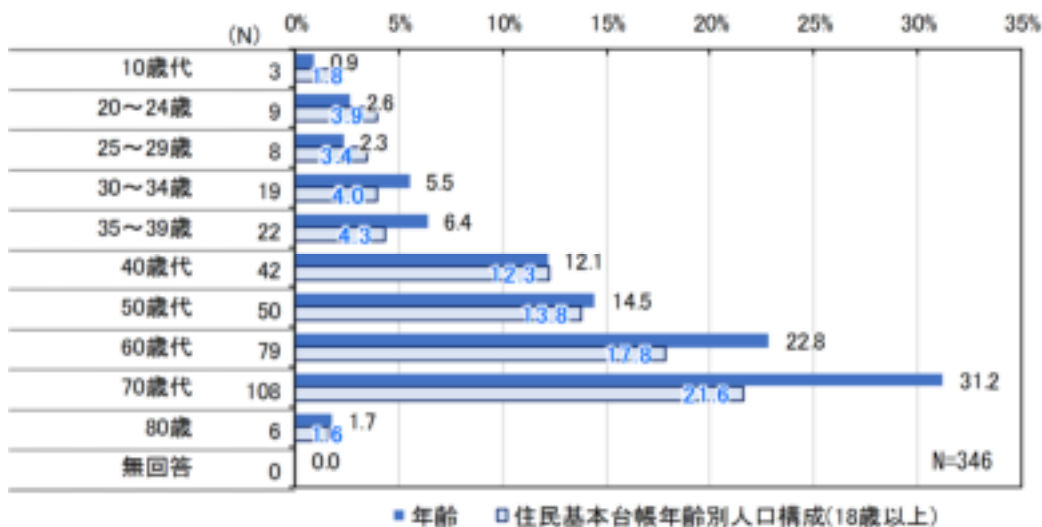
①あなたの性別をお聞かせください。

回答者 346 人の性別は、「男性」が 40.5%140 人、「女性」が 59.0%204 人、無回答が 0.6% 2 人となっています。



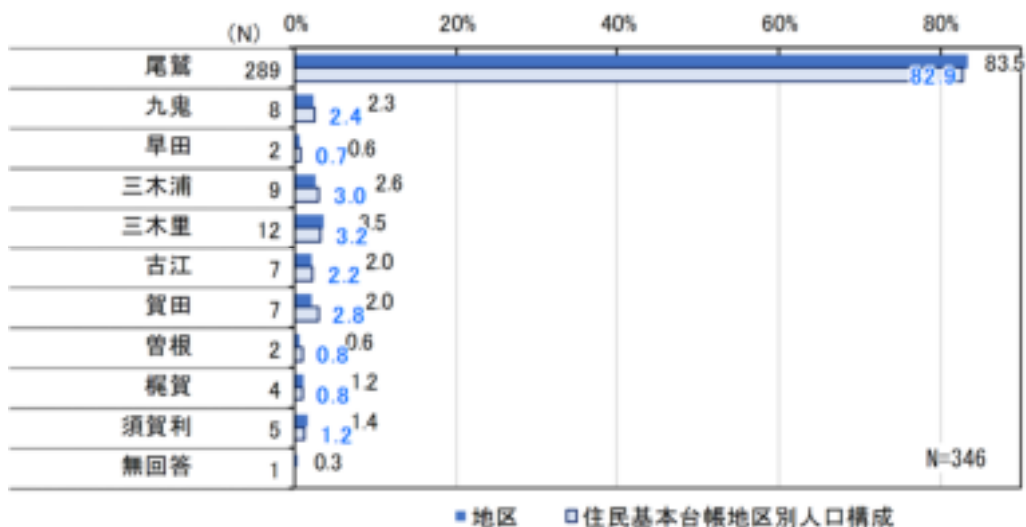
②あなたの年齢をお聞かせください。

回答者の年齢は、「60 歳代」が 22.8%、「70 歳代」が 31.2%、「80 歳」が 1.7%と、60 歳代以上が約 6 割を占めています。住民基本台帳の人口割合と比較すると、「30～34 歳」、「35～39 歳」、「50 歳代」、「60 歳代」、「70 歳代」で実際の割合より高くなっています。



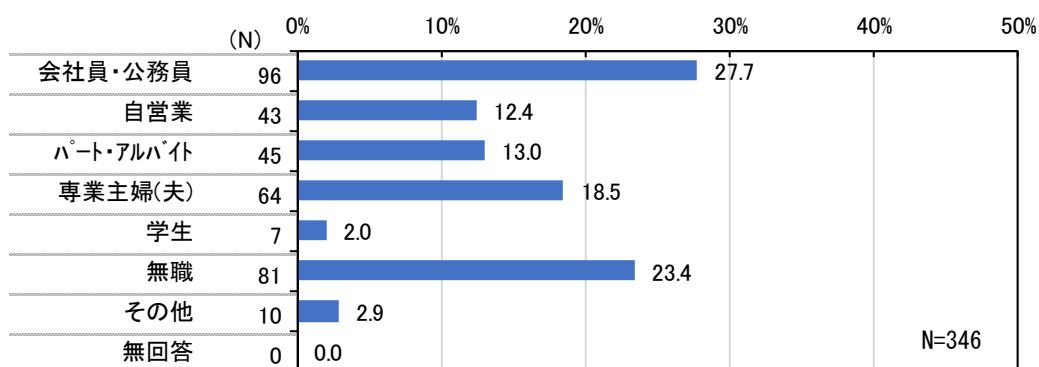
③あなたのお住まいをお聞かせください。

回答者の居住地区は、「尾鷲地区」が 83.5%と大半を占めています。尾鷲地区、尾鷲以外の地区ともに住民基本台帳の人口割合と比較しても、ほぼ同じ割合となっています。



④あなたの主な職業をお聞かせください。(複数の場合は主な職業をお答えください)

回答者の職業は、「会社員・公務員」が 27.7%と最も多く、ついで「無職」が 23.4%、「専業主婦(夫)」が 18.5%となっています。

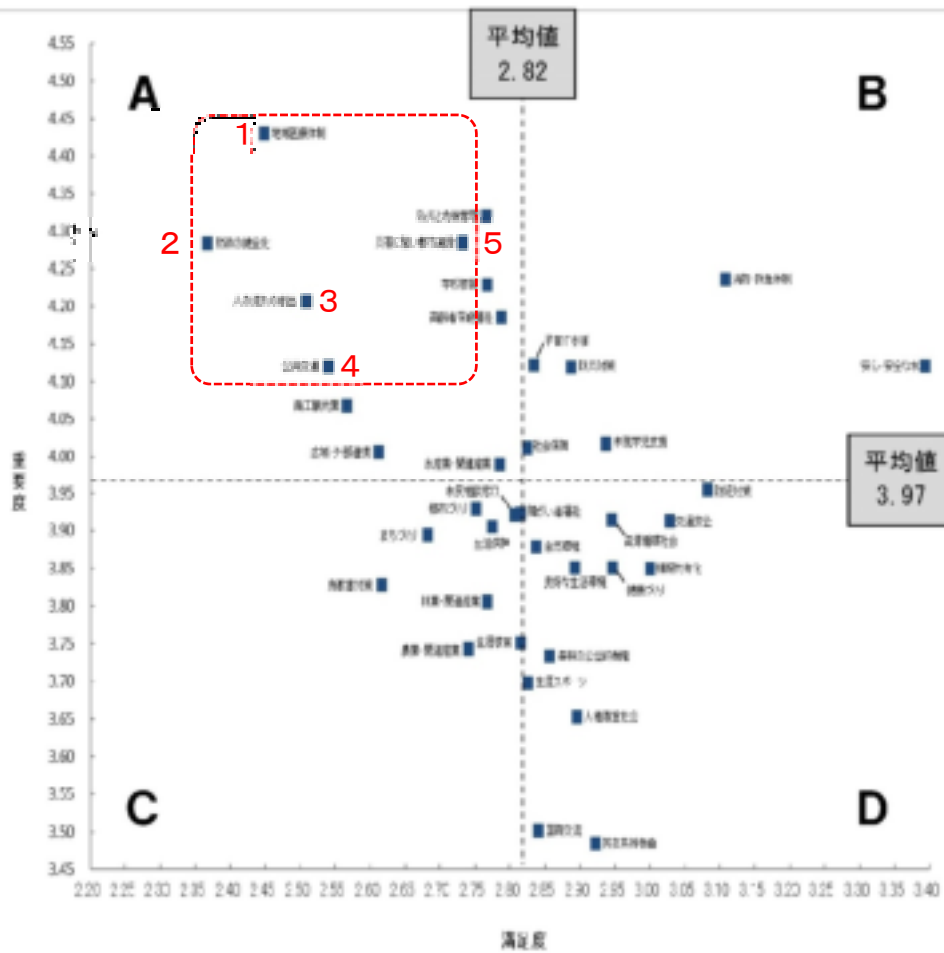


(2) 現行総合計画の施策に関する意見

現行の「第6次尾鷲市総合計画（平成24年度～令和3年度）」の進行管理にあたり実施した「平成元年度尾鷲市まちづくりアンケート」（令和2年1月実施）では、重要度が高い反面、満足度が低い施策トップ5は、以下の通りです。これらの施策についてご意見をお聞きます。

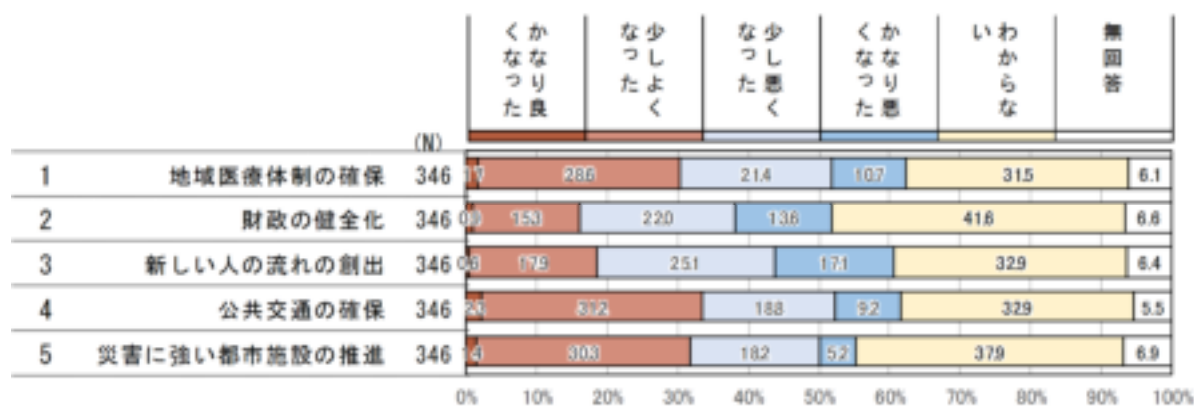
順位	項目	内容
1	地域医療体制の確保	尾鷲総合病院の診療体制や設備、地域内の医療・診療所など
2	財政の健全化	行政組織のスリム化などの構造改革、財政運営の見直し、職員の意識改革を行い、持続可能な行政体質への変革を図るなど
3	新しい人の流れの創出	多くの市民が住み続けたいと思い、市外の人も住み続けたいと思えるまちとなるような定住移住に対する取り組みなど
4	公共交通の確保	安全で利便性が高く、環境にやさしい公共交通により安全に暮らし、移動ができる取り組みなど
5	災害に強い都市施設の推進	災害に強い都市施設により、安心して快適に暮らせる取り組みなど

■平成2年5月 尾鷲市まちづくりに関するアンケート調査 施策の満足度・重要度



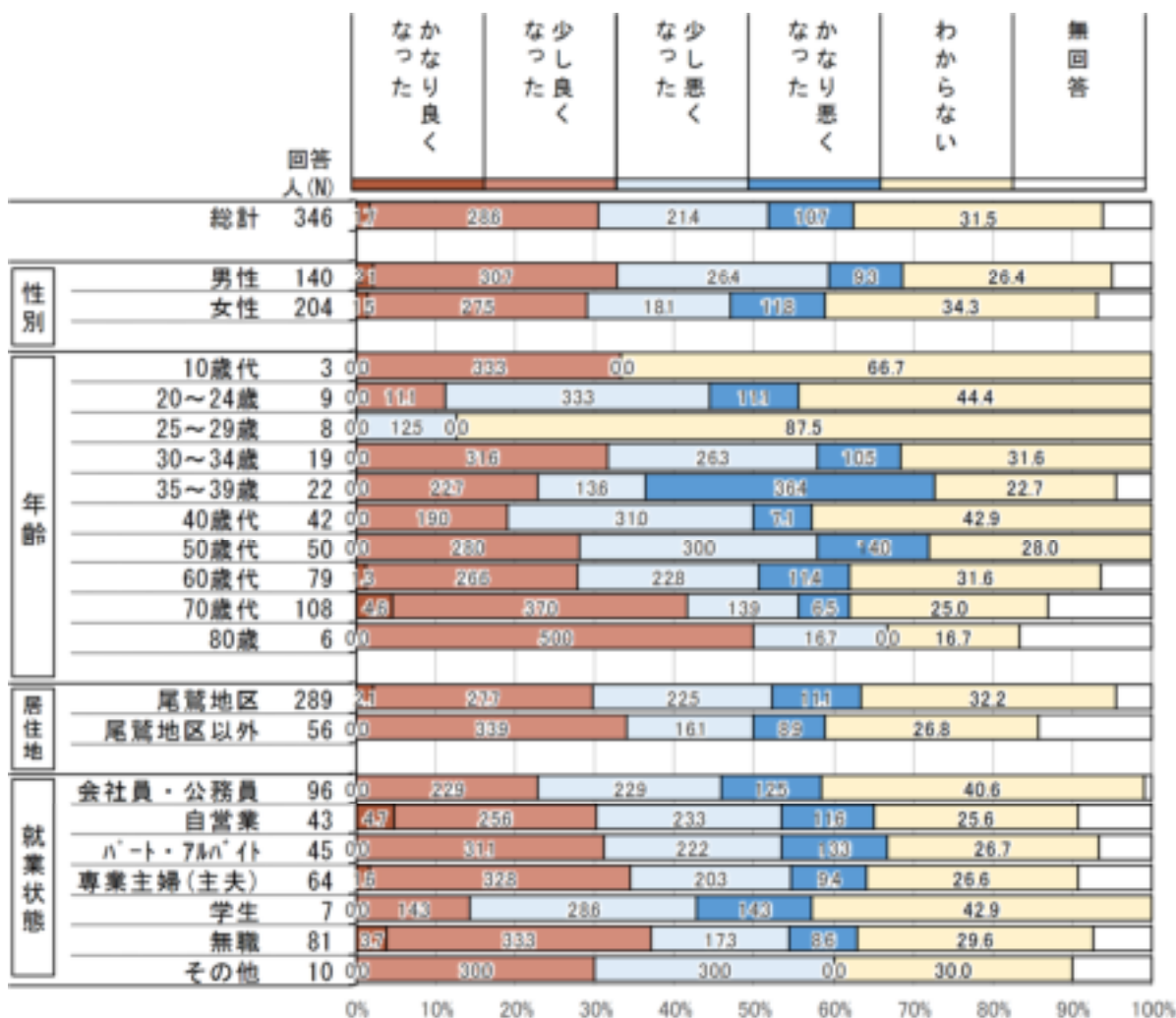
問1 以下の本市の施策について、平成24年度以降、現在までの間で良くなってきていると思いますか。各々の項目について、対応すると思われる番号に○をつけてください。

項目別にみると、「かなり良くなった」は、5項目とも大変少ない割合になっています。「少し良くなった」の割合が最も高いのは「公共交通の確保」31.2%、ついで「災害に強い都市施設の推進」30.3%となっています。「新しい人の流れの創出」は、「少し悪くなった」25.1%、「かなり悪くなった」17.1%とどちらも高い割合になっています。



■問１－１ 地域医療体制の確保×属性クロス

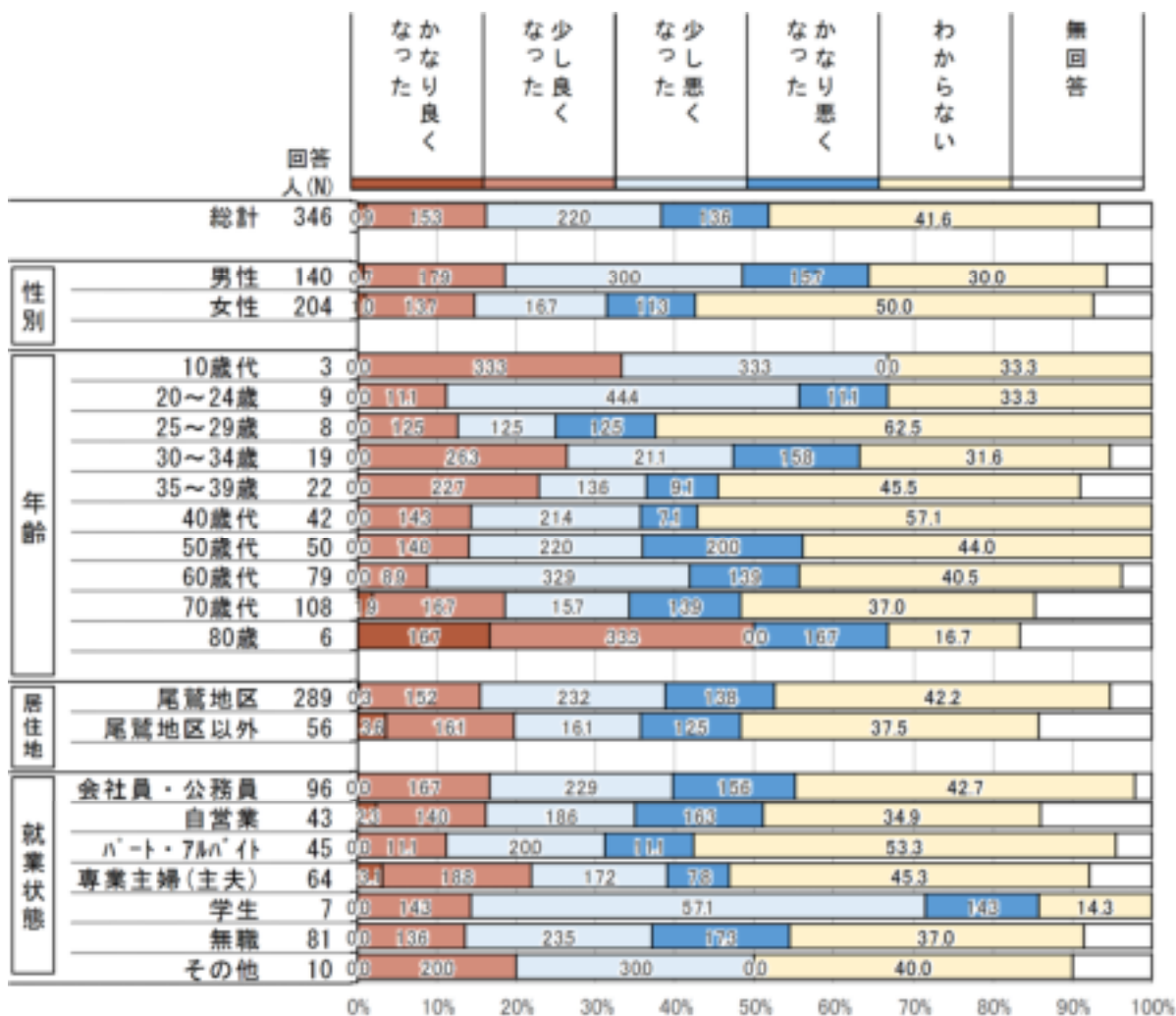
「かなり良くなった」とする回答者は、どの属性でも 0.0%が多くなっています。年齢別に見ると、「少し良くなった」は70歳代 37.0%、80歳 50.0%と高い割合になっています。



【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

■問１－２ 財政の健全化×属性クロス

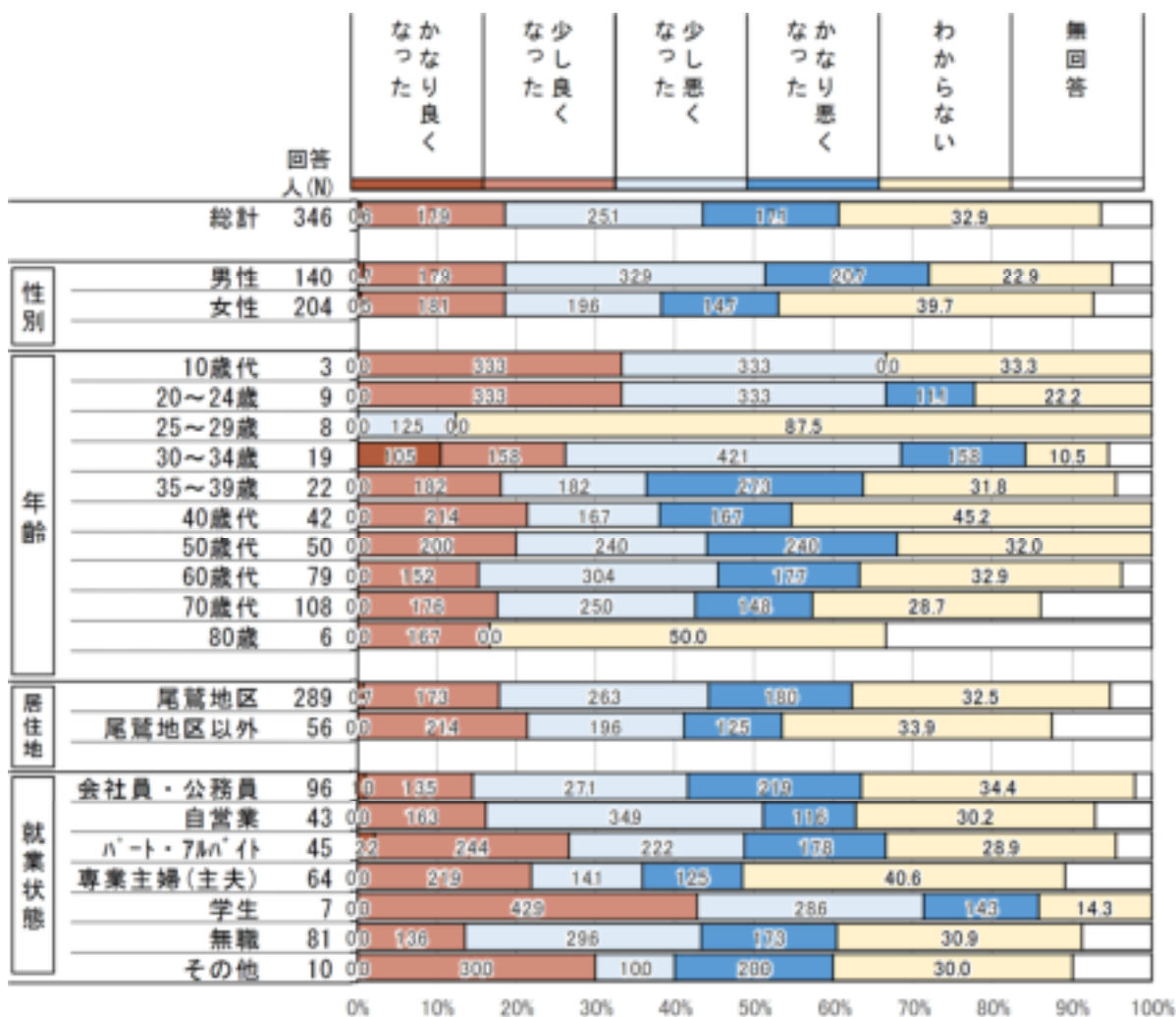
「かなり良くなった」とする回答者は、どの属性でも 0.0%が多くなっています。年齢別に見ると、80 歳は「かなり良くなった」16.7%、「少し良くなった」33.3%ともに最も高く、「かなり良くなった」は、10 歳代 33.3%。30～34 歳の 26.3%、35～39 歳 22.7%と 30 歳代は高い割合になっています。一方、就業状態別では、「少し悪くなった」と回答する学生が 57.1%と大変高い割合になっています。



【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

■問１－３ 新しい人の流れの創出×属性クロス

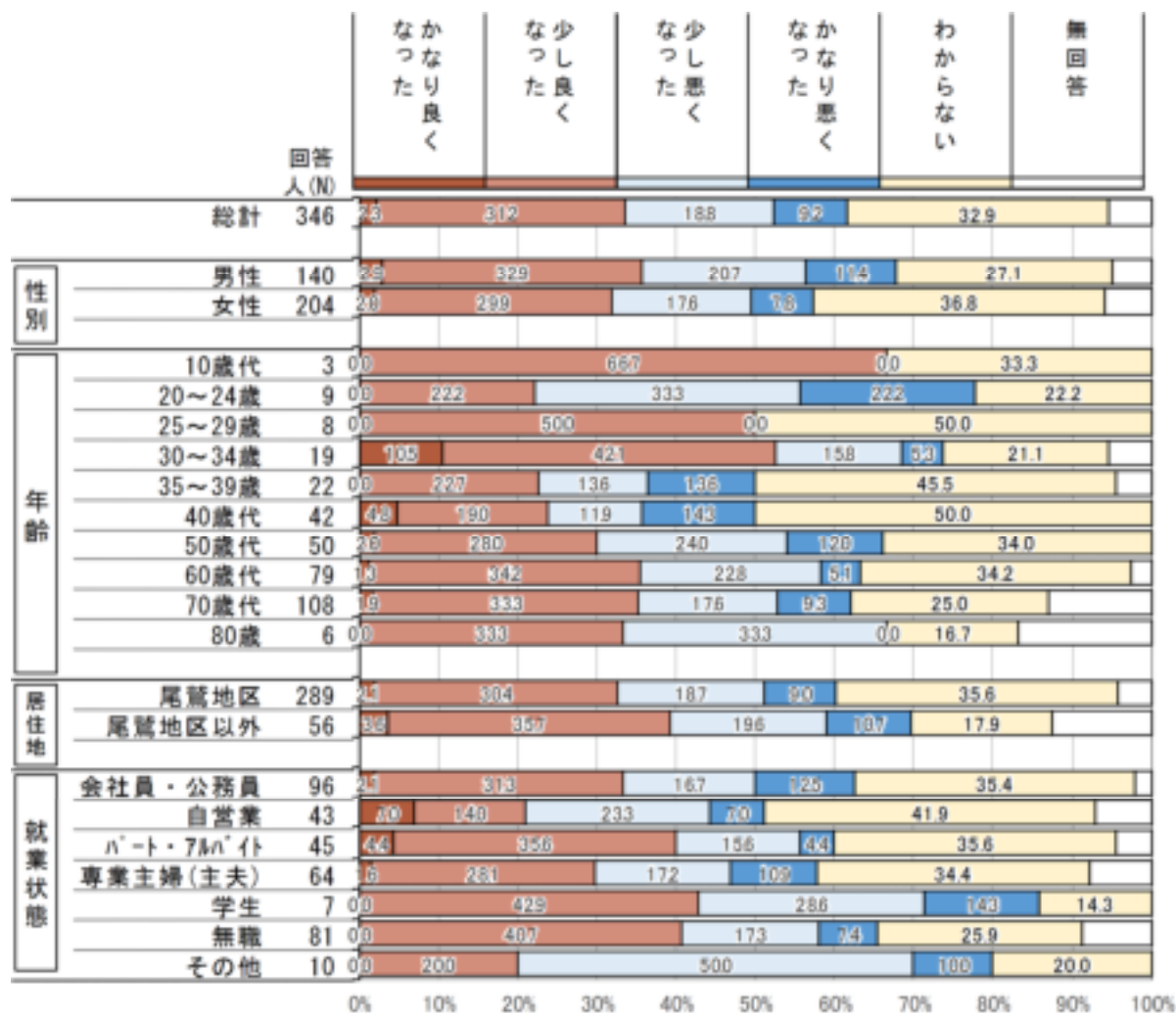
「かなり良くなった」とする回答者は、どの属性でも 0.0%が多くなっています。年齢別で見ると、「少し良くなった」は10歳代 33.3%、20～24歳 33.3%が高い割合になっています。就業状態別でも学生が 42.9%と高く、若い世代が「少し良くなった」と回答する傾向が見られます。



【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

■問１－４ 公共交通の確保×属性クロス

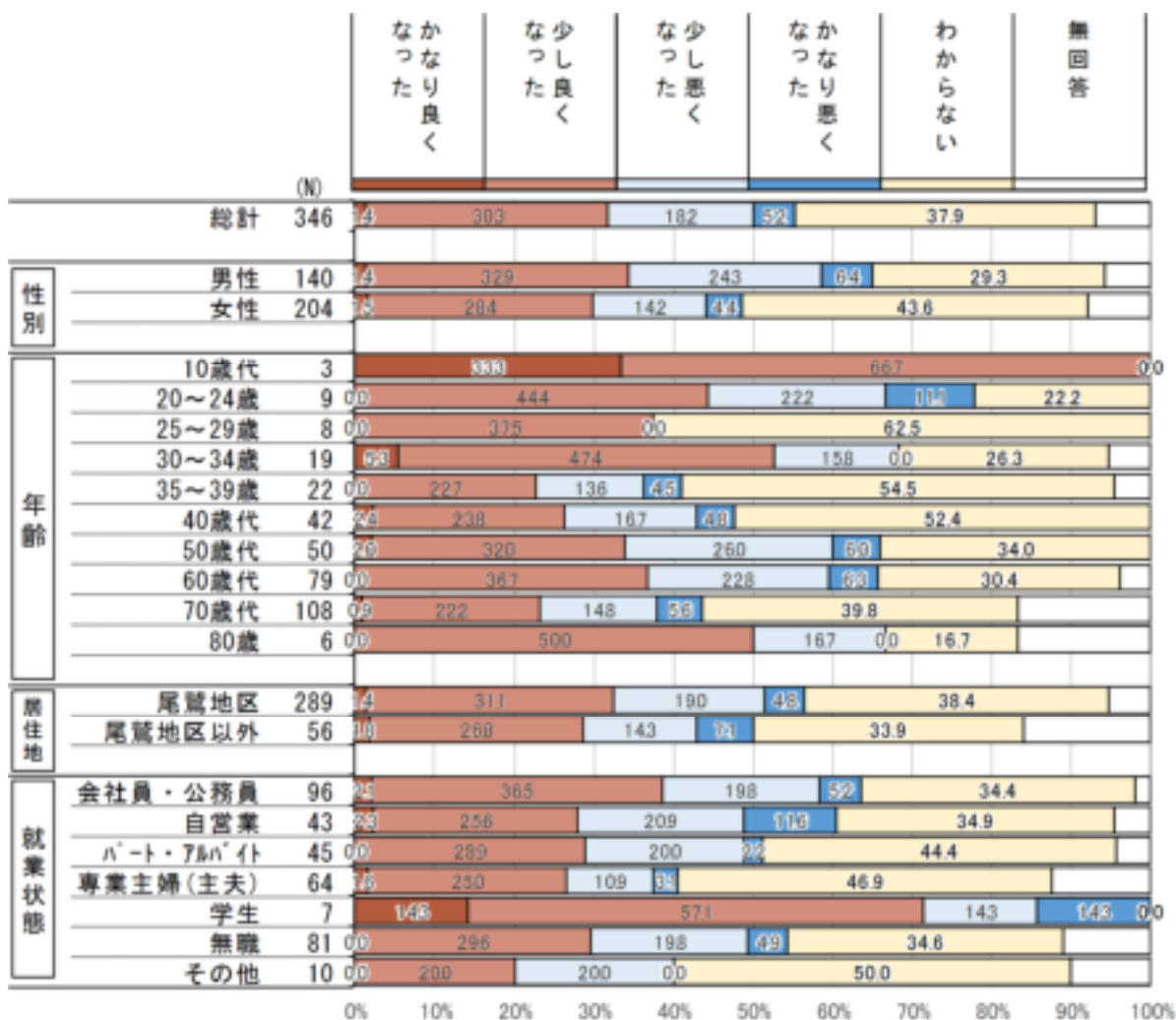
年齢別では、若い世代の評価が高く「少し良くなった」は10歳代66.7%、25～29歳50.0%、30～34歳42.1%となっています。居住地別では尾鷲地区以外で「かなり良くなった」3.6%、「少し良くなった」35.7%と尾鷲地区より高い割合になっています。



【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

■問１－５ 災害に強い都市建設の推進×属性クロス

回答者数は少ないものの、10歳代では全員が、「かなり良くなった」33.3%、「少し良くなった」66.7%と高い割合になっています。30～34歳、80歳も「少し良くなった」とする回答者の割合が高くなっています。また、学生も「かなり良くなった」14.3%、「少し良くなった」57.1%と高い割合になっており、若い世代の評価が高い傾向がみられます。



【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

問2 上記問1のように思われる理由についてお聞きします。感じていることを自由にお書きください。特になければ未記入で結構です。

①地域医療体制の確保について	
1	尾鷲総合病院の医師・看護師不足
2	対応性が良くなった。入院した時の調理は良かったと思う。特にごはんはおいしかったです。
3	病院に行くたび、医師が変わっている。特に内科。
4	受診のしづらさがある。
5	小児科医師確保や婦人科がなくなることなど若い女性たちが地元で安心して出産できないことが今後の不安である。
6	放射線治療ができない、再開されるようですが。
7	各医療の専門の先生が少ない。
8	尾鷲HPの受け入れ(夜間、休日)はとてもありがたいです。診療所の医師たちは高齢化、今後どうするのでしょうか。
9	看護師の態度の質、あいさつができない。
10	①Drの出入りが激しく、落ち着いてゆっくり主治医になってほしい。 ②看護師の上司の教育を。言葉使い、上から目線の会話。
11	存続、充実に向けた取組がなされていない。
12	尾鷲市内の病院へ行くことはほとんどなく、この数年で改善されているかどうかわからない。
13	東紀州の中核病院として努力しているが、質の良い医療を求む。
14	皮膚科、泌尿器科を増やしてほしい。
15	変化が感じられないから。
16	みんな、松坂とか伊勢日赤とかに転送されて、外での治療になる。もっと尾鷲で腕のいい先生方に来てもらえないのか？
17	医師の確保(人数)が不安。
18	財政改革やリニアック更新などががんばっていると思う。
19	コロナの対応がよくわからない。PCR検査は尾鷲で症状が出た場合、どこまでどのようにして行って受けるのか具体的なことが知らされていないので不安。
20	医師の変更が多く、短期間で変わられる先生も多い。
21	7Fの療養病棟ができ良かった。
22	小さい子どもが居る家庭では、小児科の入院が出来なくなったりで困っている。皮膚科なども予約で遠方まで行かないといけない。助かる命も助からないんじゃないかと思う。
23	地域総合病院の存続はあたりまえだが、そこに勤務する者の質が問題。
24	総合病院は以前から看護婦の対応、処置が悪すぎる。今は利用していないのでわからない。
25	地域の病院として、市内には必要だと思うので充実させて下さい。
26	尾鷲総合病院の職員、スタッフの態度は公私混同な発言、無愛想、非常に不愉快です。
27	質の向上を図るべき。
28	総合病院あまり利用しないが、具体的にどういう施策をしているのかわからない。
29	地域医療と高度医療の連携をさらにすすめていただきたい。
30	あまり病院のことに関心がなかった。
31	少子化ではあるが、尾鷲総合病院の小児科の充実と入院体制の強化。
32	コロナでよいところが見えない。
33	医療とはかけ離れている為、地域医療体制についてはわかりません。
34	各科の医師の確保に力を入れてほしい。
35	ほとんど病院に行かないから(⑤わからない)としましたが、総合病院はこの地域に絶対必要な病院だから、医師、看護師など医療スタッフの質、量ともに充実を望みます。
36	総合病院の存続、充実に向けた取組みが実施されていない。
37	医師不足(小児科等)
38	まずどの様な取り組みをしているのか分からない。リニアックの件がありますが、それよりも各科の常勤の医師を確保してほしい。
39	紀北地区唯一の公立病院としての救急医療、又地域包括ケア病棟の充実が実施されていると思われる。
40	相変わらず悪いとは思いますが、新しい先生が着任されていて希望はある。
41	尾鷲総合病院が黒字になったことは良かった。小児科の診療に不安。
42	尾鷲病院の医師の数が減った。産婦人科、小児科。
43	救急の受け入れには感謝します。大変でしょうが続けてほしいです。
44	小児科がない事
45	救急の対応が悪い。特に医師、業務的な対応ではなく患者によりそってほしい。
46	医師が少ない。

47	医師が少ない事、誤診をよく聞く。→日赤へ行って診てもらったとか。
48	受付で感じが良くなった。
49	個人の医院への通院が簡単なので、総合病院にはあまり足が向かないので、皆の曰く市民に魅力的な病院になるにはどうしたら良いかを考えていただいて、運営してほしい。看護師さんの仕事ぶりは改善されたと思う。
50	有名な医師の診療を受けられるようになったのは良い事だと思います。救急時の対応(待ち時間が長すぎる)は改善して欲しい。
51	少人数勤務体制での看護師達のがんばりを思う。
52	夜間救急の充実
53	人口的に考えても病院の少ないのが仕方ない。だからこそ、サービス、Dr の質の向上は努力です。名古屋から移住して心から願います。
54	十分な医師の確保が困難な中、現に現場で働いておられる医師も含め、関係者一同、日夜相当頑張っておられる様子が、現場の中で充分感じられることからこの状態を今後共続けて頂きたい。
55	三重大付属病院化を進めるべきです。救急車ですぐ病院へ行けます。他の市では病院をさがします。ここは良い点です。
56	存続は大事だと思いますが、もっと良い医療体制を充実してほしいです。
57	医師確保の為に高い報酬を払っていると思うが、地元雇用である看護師等への賃金が低いため、地病院への流出が止まらない。
58	尾鷲総合病院各科の存続がされない科があり、これからどうなるのか不安。医師の人数もどんどん減り招へいや他医療機関への転送が以前より増加している。特に小児科、産婦人科、循環器科(カテーテル等)の充実を望む。
59	今のままでいいと思います。
60	紀北町の協力が得られたのは良かった(当たり前と思うけど)がもっと広域で考えないと存続が困難になる。危機感不足。
61	よくわからない。ただ紀伊長島あたりの人は、松阪・津方面に行く傾向あり。
62	小児科への入院が出来ない。皮膚科や耳鼻科が良くないので、市外の病院へ行く人が多い。
63	尾鷲病院といっても小児科も循環器医師がおらず紹介されることが多いから。
64	ここ数年利用することがないのでわからない。
65	小児科がなくなった。
66	市立病院がなくなったら困る。けど従業員はそれに甘えて怠慢にならないようにしてもらいたい。
67	診療科が少なくなって(小児科、産婦人科)いるし、脳外科や隔離病棟などない。
68	尾鷲病院の医師、看護師さん方の技術、対応は良いと思いますが、設備等は良いとは思えません。
69	より直接医療従事者及び間接従事者の充実、人員増加。
70	救急でもすぐに対応してもらえるようにしてほしい。
71	過疎化により良い先生が来ないし、いないため市外へ皆さん流れている。
72	365 日 24 時間体制でがんばっていただいていると思う。職員とくに看護師が安心して働けるよう。
73	病院に行くことがあまりないのでわかりません。
74	医療機関を利用していないのでわかりません。
75	尾鷲総合病院 24H 体制受入可をうたっているが、充分ではない初期対応しかしてくれないと思う。
76	尾鷲総合病院の小児科が前より充実していない。尾鷲総合病院の夜間救急が不安。
77	圏外の病院利用が増えているから、機器の充実をはかった方が良いと思う。
78	看護師の言葉使い、態度も悪く感じます。
79	尾鷲総合病院の充実に力を入れてほしい。
80	尾鷲病院の救急体制が行き届いておられるので大変安心しております。よろしく願います。
81	年齢的にも他の病院へ行けません。最後まで尾鷲市民病院で見て下さい。
82	病院の存続、今はいいが。
83	看護師の教育をしっかりしてほしい。
84	看護師の言葉使いや患者への接し方。(患者さんはお客さんである)
85	本当に医療が必要な人、在宅に戻れず施設待ちの人でもすぐに退院退院と話をする。(病院の利益のため)
86	尾鷲総合病院の存続を願いますが、毎日診療していない科もあるので、毎日実施していただければありがたいです。また、検査機器も財政が厳しいのは理解できるが導入してほしいです。
87	院内で働いている人を見ると、ずいぶん充実しているように思う。言葉、礼儀もすごく充実していると思う。
88	期待してます。
89	人口が減っている中でがんばっているとは思いますが。
90	総合病院の充実に向け、病院のグレードを高めていけるよう信頼感を高めてほしい。
91	尾鷲総合病院はなんとしても存続していく意味があるのでは。
92	もう少しよき先生をおいてほしい。

93	産婦人科、小児科の医師の確保
94	各地区の個人病院が無くなってきている。
95	尾鷲総合病院はこの地域にとり、大切な病院です。このまま存続、充実に向けた取り組みを続けて頂きたいです。
96	尾鷲総合病院の 24 時間対応体制は大変良い。リニアックの再稼働のニュースも聞かれ良い事だと思う。
97	小児科医がいなくなった。子育て支援に逆行している。救急など松阪まで子どもを連れていかないと。
98	財政が向上しているようだから。
99	24 年度から何が変わったのかわからない。
100	脳外科、心臓外科の急性期医療の確保を早急に充実してほしい。
101	何もかも尾鷲総合病院で引き受けるより三重南部で役割分担してそれぞれ得意な診療科を持つのがよいのでは。総合診療科を置いて病状により各病院へ振り分ける。
102	新しい取り組みで黒字を目指していますが、それに伴い市民の不満も耳にします。運営第一と思われすが、患者に寄り添う医療体制も並行して行ってほしいです。
103	高度な医療ではなくても良いので、標準的な医療は地域で受けられるようにしてほしい。
104	総合病院の小児科が曜日限定になってしまったのは、子育て世代には困ります。また、産婦人科もこれからどうなるか。ますます子育てしにくくなりますね。子どもが減ってしまいます。
105	中身がよくならない。
106	高度医療について都市部とは格差があるので(コロナの治療)少しでも都市部に劣らないような体制を整えてほしい。
107	尾鷲総合病院では医師の力量が不足しているとたえず感じている。そんな事例も聞く。やや困難な病気で診療を依頼する気持ちになれない。
108	問題なし
109	医師の充実を図ってほしい！
110	良くやっていると思う。
111	365 日 24 時間体制の救急受け入れは特筆すべきもので、病院医師地域の開業医の協力で保たれていることは本当に感謝です。ただ命の危機に直面した時対応できないことが多く、他の市町と比べると格差がある印象です。
112	病院は必要につき、今後も充実につとめて下さい。
113	ガン治療など専門病院を目指してはどうか。
114	医師、看護師のやる気のなさ。
115	総合診療科、歯科口腔外科の診療施設の追加を要望します。
116	黒字がすべて物語っている。
117	職員の対応が少しやさしくなった。
118	一定期間以上の入院ができなくなり、転院をすすめられる。
119	総合病院は地域になくってはならない病院だと思います。設備や担当医を今以上にもっと充実してほしいです。
120	今年度引っこしてきたため。
121	存続は絶対必要だと思います。
122	経営は黒字だと聞いています。すばらしい！まだまだ続くであろうコロナへの不安、クラスターがおこった時の対策を万全に！
123	尾鷲総合病院の常勤小児科医がいなくなったから。
124	ますます緊急時の受信が難しくなっているように感じる。
125	診療内容の充実をもっと図ってほしい。
126	小児の受診がない。
127	小児科(総合病院)の常勤医がいらない。
128	一度、時間外で子どもが熱を出し電話で診てもらえるか聞いたら、医師不在のため診れないと言われました。小児科をもっと充実されてほしいです。
129	何が少しよくなったか—看護師や事務職の態度のみ。医師と患者の信頼関係がない。院長でさえパソコンに向きっぱなし患者の顔も見ず状況の説明もない。医療体制の確立は古い体質の改善が必要。
130	人材指導を強化してほしい。
131	人口減少の中、医療従事者、職員、見える化されてよくスマートに仕事されていると思います。
132	そもそも論であるが、設立時点で人口 3 万の極小市が、単独で遠隔地として必要にせまれ地方公営企業(病院事業)を行わなければならなかった困難な道であった。今日まで継続して来られた努力はすばらしいと思うが、今後人口減の負の連鎖、益々経営は苦しいものとなると思われる。1 日でも続けて行ってほしいと願うばかりです。
133	地元新聞の記事によると少しはよくなっている感じもしますが、本当のところはよくわからない。
134	良くなったように感じられない。
135	病院へ行くことが少ないため分からない。

136	まだまだ
-----	------

②財政の健全化について	
1	財政の健全化を感じない。
2	他市町と比較すると残念です。(例. コロナ対策も隣市町と比べると)もう少し有効活用できるといいですが。
3	紀北町に負けている感じがする。
4	財政の健全化については、1市民は健全かどうか判断材料が少なく分からない。
5	もう少し市民にわかりやすい説明をしてほしい。
6	尾鷲市は、財政も厳しいと思いますが、上の方策(医療)にはがんばってほしいと思います。
7	各種事業の実施について、どの分野においても「金がない」とよく聞く。
8	職員の対応が悪い。市役所へ行っても自分の担当ではないような態度。目があってもあいさつしない。となりの町の職員と大違い。
9	市議会議員、市職の人数を減らして人件費をうかしてほしい。
10	町の活性化にお金がつかわれているように感じない。
11	現在の尾鷲に必要なものを熟慮して必要なものを作り実施してほしい。
12	議員の数⇒給料が多すぎる。他の事業にまわせ。
13	それぞれの立場で優先順位が違うのでいちがいに判断できず、むずかしいと思う。
14	助成金など遅い。
15	人口減少、税収減少に対し危機感があまりかんじられない。
16	財政が厳しい中で頑張っていると思う。
17	市の財政難は、今後更に厳しくなるであろう。現状を甘えた政策より先を見据えた事業展開が求められることから、優先順位を見定め総合計画に反映してほしい。
18	健全化されているとは思われない為。
19	財政面ではかなり厳しい状況迄きているのではないのか。職員の給与等にも手入れていくところに来ているのではないのか。
20	総合的な判断で実施されていないと思う。
21	行政や財政は正直分からないが、私たちの税金を何に使っているのか、明白に分かりやすく記してほしい。まだまだムダが多い気がする。
22	市に暮らす人全体が貧しくなっているように感じる。
23	以前に箱物ばかりに費用をかけすぎた。維持費に問題あり。
24	続行してほしいです。
25	低取得者が少しでも余裕がもてる生活ができるようにしてほしい。頑張っても税金が高いため、生活が以前よりひっ迫している、苦しい。
26	紀北町等、比較して大変おとる。
27	市長さんが頑張ってくれたおかげで良くなったと思うが、市役所の近くを通ると体育館の屋根がみすぼらしく、寄付でもして直してあげたいと通る度思う。
28	よくわからない。
29	申請などあらゆる事務手続きがめんどりでムダが多い。シンプルに印鑑などからサインへ移行してほしい。
30	非常に厳しい財政のせいか、公共工事などが減少していることをも伺える中、メリハリの有る支出で有効な金の使い方にさらなる努力を頂きたい。
31	補助事業が重要になると思いますが、公人は発言に気をつけなければなりません。
32	今までの事業はどんなものか判っていませんので判りませんが、どうしても必要な事が市民に問う事も必要か。
33	費用対効果の考えられる職員(目立つと杭を打たれるような土壌は古い)、もしくは第3者機関からのアイデア等取り入れていく。斬新な市経営が必要だと思う。
34	新しい事業の実施がむずかしいのでは(財政難によって)と思う。
35	目に見える事業がかわっていない様に思う。
36	総花的で目に見える事業効果が感がられない。目標設定、進行管理、公開が必要。
37	人づてに聞いただけだが、お隣の町と比較されちょっと…と思うことあり。
38	こればかりは本当にわからない。
39	市職員の給与が高いと聞きますが、実際は？
40	100年先、200年先の尾鷲を考える。目先のみだけで進めない経済政策の推進、近隣市町村、近隣県との協力。
41	年金生活者にとって国保税など高く、生活が逼迫してくる。
42	事業の継続化の明確化が市民目線ではない。
43	市職員の定年退職後の再雇用は必要ないのではないのか。
44	国全体が悪くなっているのでは仕方ないが、中電がなくなるともっと悪くなると思う。

45	年々悪くなって行くように感じます。
46	尾鷲市の山(林業)が必要なのか、費用対効果を考えてほしい。
47	少子高齢化、身の丈に合った取り組みが必要。
48	内容が明確にわからない。
49	子どもの人口が減っているのに新しい保育園の建物は必要なのかと思う。市役所は古くなって耐震化などを実施しているが、市役所の方が新しく建て直しをした方が良いと思う。また場所なども含め検討してほしいと思う。
50	ずい分前にくらべると新聞でしかわかり得ないけど少し充実感が感じられる。
51	今、何かをするために財政力を高めてほしい。市有地等の対策はいいと思う。
52	財政がひっ迫し、総合病院の機器も更新出来ない。
53	行政組織のスリム化をし、職員の意識改革を期待します。
54	支出が切りつめられているようだから。
55	24年度から何が変わったのかわからない。
56	適所への金の使い方疑問。
57	多少、健全化が進んだのでは。大きい事業ばかりでなく、本当に市民が必要としている小さな事業にも目を向けてほしい。
58	税収を考えれば、無駄もあると思うので改革が必要だと思う。
59	なんにもかわってない。
60	人口減少はずっと以前から想定されたはずなのに、これまで箱物を無計画に作りすぎたと感じる。
61	子どもの数がへっている中で、保育園を5つも建て替える事は、この収入が減少している市で実行することは考えられない。無駄使いもはなはだしく、そんなことを許す市議、市職員に何が期待できるというのか。
62	市に町が圧迫されていないか心配です。
63	中電に代わる新しい企業の誘致。
64	財政については、長期的改善を望む。
65	児童課が福祉センターと市役所の2つに分けているので1つに統合してほしい。
66	余り思わない。
67	①行政組織のスリム化！ズバリ市職員又、議員の人員のスリム化を実施すべき。 ②市職員(組織)、議員の人件費の削減。 ③新規採用(入社)は、実力行使で！(コネはダメ)
68	ない財政の中、上手くやっているとと思う。
69	今年度引っこしてきたため。
70	職員の意識改革は大切かも。
71	上手に使ってください。
72	アピール度が足りないかも。
73	大企業の撤退、少子高齢、若者の流出、加えてコロナ禍と健全化に欠ける。
74	財政難である事がわかるが、お金を使わず出来ることもある。
75	何かしら市全体が元気がなく見える。第二の夕張にならない様アイデアの変更を考えるべきと思う。
76	(誰がアンケートの例をかんがえたのか?) 市は保育園ばかり整備してきて民生事業協会の念仏寺のための市政を行っていると、私の知っている市民は皆言っています。話はそれるが約6千数百人の市民の声を無視して、「認定こども園」の話もそうですが、市長は念仏寺に何か弱みを握られているのでしょうか。 財政難、自主財源もなく何もできないというのが現状。人口減に歯止めはかからず、要するに働く場所がない。過去に様々な地域振興等行ってきたが上手くいかず、今や議員まで何も言わなくなってしまった気がする。今後火力もなくなり、人口減、地域経済、市財政の衰退に歯止めがかからなくなるのが読めるのに、市のリーダーからも議員からも職員からも何も危機感が伝わってこない。 ・人口が半分になってしまった訳だから行政のスリム化、職員の意識改革は当然の事。職員はだれから給料をもらい、だれのために、何の仕事をしているのか考えたらだれでもわかる。このように市民からアンケートをとって市民の声を反映させるのは当然の話であるが、職員なら自らも尾鷲の将来のまちづくりを考えるのが普通ではないのですか。まして政策調整課は政策の立案、推進、過疎振興対策は自分たちの事務分掌、つまり自分の仕事ではないのですか。 政策調整課はどのような政策を立案して、どのような過疎振興対策を立案して実行しているのですか？よく聞く話で他の市町で職員がまちづくりのプロジェクトチームを作って、振興策の研究をしたり、実践したりしているのを聞きますが、尾鷲市にはそんなチームが作られているのですか？尾鷲高校の生徒に考えさすだけではダメですよ。人口3万の時と1万7千のいまと職員数はどのように減っているのかデータはありますか。顧客の市民が減れば職員も減るのが普通。議員のみの話ではありません。あたりまえの話のように思います。 ・議員

	市政を監視する市民の代表としての機能をわかってないと思われる議員が約半数いるように思われます。議会のある昼どき、市役所近くの喫茶店の前の通りでたむろして談笑している数名の議員を見かけます。緊張感のないだらしない談笑の姿を市民は見ています。 ・市のリーダー 議会の答弁で口先だけは達者だが、行政能力に欠けると思われ、実行力、判断力に乏しく1議員のいいなりになっているという大評判の市長。市長になってからどんな実績があるのですか？ ・市職員の行政マンでありながら、その行政マンとしての基礎法令（地方公務員としての3法有）の知識や認識に乏しいと思われる副市長。市民の代表である議会の機能さえ分かっていない。昔から生意気な教育長。こんなリーダーでは、どんな立派な計画を作っても・・・。 今回はこのくらいにしときます。 ・第6次計画について 多数あるが、たとえば1つだけ質問します。 （おわせ人づくり） 次代をになう人 地域を支える人 産業を支える人 どんな施策でどんな人が何人つくられたのですか。その成果を教えてください。（名前を教えてほしいが、個人情報なので出せないと答えるのだろうが） 総合計画で大々的にうたっている項目です。計画にもとづき施策を実行、そしてその成果は今こうなっています、というものは（あたりまえ）必要です。
77	街灯が暗く全く改善されない。
78	無理がある

③新しい人の流れの創出について	
1	あまり感じないほど。
2	空き家バンク他、不動産等、何年もかかって搜しましたが、田舎というイメージに対して不動産価格が高い？
3	住み続けるためには、充実した職業、職場が大事であるが、今の尾鷲ではそれがなく若い子に帰ってこいとは言えない。
4	新しい人の流れを作りたいなら、新しい物の取り組みがみえない。
5	新しい人の流れについてはリスクも考えられる。現在住んでいる人を重視した方がよい。
6	安心して仕事ができ、給料も安定してほしい。
7	空屋が周辺地域にはたくさんありますが、漁業、農業の面で取り組み。
8	年々、空き家が増えていく。
9	外からの移住は、人口も増える事だしいいと思います。これからも、どんどん外からの人を受け入れやすくして下さい。
10	流入より流出に歯止めがかからない。
11	①地域医療の確保 ②財政の健全化の件があるため、他府県の知人におすすめできない。できるだけ市役所へ行きたくない。
12	毎月の広報を見ても人口が減っている。単なる自然減ではなく住みたいという魅力がないからだと思う。
13	多国籍からの人材確保が行えている。
14	ほとんど新しい人の流れが感じられない。
15	意味がわからない！
16	空き家バンク等、外部の人はどのように利用実績があるのか？ユーターンして帰ってくる人の職場がないと思う。
17	外部への発信(情報等)が足りない！
18	空家バンクというものがあるが、いつみても一緒の物件。ある程度キレイにしないと住まない、買わない。
19	若い人たちが働く場を作ってほしい。
20	地域おこし隊の活動は目にする。
21	全国的に地方の過疎化を止める明確な手段は見当たらないが、尾鷲市の定住移住の施策は評価できる。実なる事業展開に期待している。
22	受け皿となる事業が絶対必要。地元で働きたいと思っている若者も多くいるようだが、受け入れ先が少ない。家族が生計を立てられる給与ではない。
23	市民が住み続けたいと思う、また高齢者が住みやすいと思う、そういう街づくりにもっと知恵をしまりたい。

24	移住される人が少ない。積極的に行っていない。
25	尾鷲に住みたいと思うメリットが全くない。(得に若い人には)他県では移住の際にリノベーション費用・住宅費用など、数割負担等の取り組みがある所もあります。
26	広報おわせを読むと、空き家バンクなど、様々な活動を積極的にしてくれてとても嬉しい。他所の人でも住みやすい環境づくりをもっと力を入れてアピールすべき。
27	輪内地区等で積極的に取り組んでいる。又空き家バンクを利用している人が多く見られる。
28	人口増に向けて施策は試されており効果はあると思うが、流出が止まっていない。働く場所(正規雇用)がないのが残念。
29	働く場をもっと増やしてほしい。
30	住みやすく、魅力的な町作りが必要。
31	強い絆がないとむずかしいのでは。
32	地域おこし協力隊の人も増えて頑張ってくれている。
33	新しい人が来てくれるにも、それなりの町の魅力があってほしい。
34	若い人の働く場所がない。
35	あまり変わったとは感じない。
36	誰が考えても人口が増える事はどうにもならないと思う。10年後、20年後を考えるとこわい。
37	人口が減っている。
38	スーパーの店員の接客態度が悪い。サービス面も悪い。
39	積極的に取り組んでいる様子で実績も上がっているように思われるが、更なる取組みの強化を望みたい。
40	故郷が一番住みよいと思います。都市へ流出した方が帰れる環境を作るべきです。移住者はまた出て行きます。
41	私の住んでいる所には新しい人の出入りは無い様に感じます。
42	魅力ある市であれば人は来るでしょう。SNSの活用等でお金をかけずに出来るのでは。
43	若い人の働く事業所がない。
44	若い人の流出、地元にもどってこれる様に働く場所がない。
45	東紀州地域の中心的な都市としての機能をもつ施設を作り、集客を図る必要が有ると思う。(例えば間13にも記載した体験型研修施設等)
46	人口の減少が気になります。(特に若い人)
47	広報などで目にするが、地域の魅力づくりがまず不足していないか。
48	よい街だと思うが若者が定着しても楽しみが少ない、活気に乏しい街だと聞かされる。
49	村おこし隊や空き家バンクの活用がされていると思う。
50	年々人がへって行く。
51	昔からの島根性というか、地元ひいきがひどい。少子高齢化が過ぎる。
52	大規模でなくても、小規模(少人数)の会社が尾鷲にきてくれて、少しでも雇用ももし産まれればいい。
53	毎年、人口が減っている。
54	病院の充実、それ以外は暮らしやすい。
55	過疎化している。
56	移住する為にはまず住居なので、空家バンクの情報は良いと思います。
57	便利な施設等がなさすぎだと思います。
58	地域おこし隊をアピールしているが、他のことについてはあまりわからない。
59	市外、県外から移住する人が増えている。
60	年をいって1人になると何も出来なくなり、子ども達も返って来るといいが帰っても職がなく、年いってもできる工事をおねがいします。
61	若い人の仕事を作る事。
62	人口の流出が増加している。
63	企業誘致に積極的に取り組むべき
64	人の流れは出ていかれる人がほとんどで人口が減る一方です。
65	移住の取り組みをしても働く場所がない。
66	自分で不便を感じている所は積極的にはなれない。
67	地域コミュニティの向上が伺える。
68	コロナの影響があり難しい。
69	実感がない。
70	以前に比べて働く場所が減っているように思えるので、企業誘致など積極的にして若い働く人口を増加してほしい。
71	若い人達が少しでもふえてくれることによって、これからの尾鷲にとっていい事と思う。
72	外国人でもいいから人をあつめるべきである。
73	空家の活用化
74	地域協力隊等の尽力により、移住希望者は増えてきてるが、それに見合う仕事を用意できないでいる。

75	若者に限らずシニア世代の方も移住地を探していることが多い為、あき家、農地など単発で考えるのではなくバックで考えて生産性を上げていける様な考え方は出来ないでしょうか。企業とコラボしても良いと思います。
76	コロナの関係で他所の事はよくわからないが、三木浦では移住される方がふえています。
77	移住する人もいるが、また離れていく人もいます。
78	取り組みそのものの効果に疑問があるから。
79	魚市場の付属施設(レストラン、食堂)を是非作ってほしい。
80	移住された方が時々話題となり、流れはあると感じている。
81	安心して暮らせるにはまずは働く所がなければ若い人も移住できないと思う。住みたい町づくりをしてほしい。
82	子育てや買い物など、日常生活で不便に感じる事が多く、住みにくさの方が目立ってしまっていると思います。住みたいと思える魅力が不足していると思います。
83	外からの交流人口がいっこうに増えない。内部交流もあきらかに衰退している。
84	移住している人が何人くらいいて、実際どれくらいの人が住み続けているのかわかりません。子育て世代に移住してもらえる工夫があればよいのでは。
85	移住者が増えている。
86	空き家バンク
87	とりくみは良い事であると考えるが、多くの人数をよびよせる事はできない。仕方のないことではある。
88	空き家バンクも良いが、企業誘致が人の流れを作り出す方法として1番良いと思う。
89	難しい問題があり、大きくはできないが、コツコツすすめる必要があると思います。
90	漁業・林業の充実、養殖の充実、修正材工場の誘致等、若い労働力の確保、移住者の居住・就労の確保。
91	取り組みについて意識できません。移住が進んでも出ていかざる得ない子どもの数を考えるとマイナスでしかないのでは？出ていく子どもの多い街は魅力的で移住の進む街でしょうか？
92	中電跡地に漁業関連の専門学校をやって、新しい人を移住してもらえるように働きかければと思う。
93	若い人材の流出を止めない。
94	尾鷲市で若者が働く場所(会社)がない。地場産業の進展計画がなされていない。
95	財がないだけに、近隣のエリアと比べるとどうしても住むメリットが少ない。補助や給付等。
96	商店街がもっと活気がないと、移住の取り組みとか行ってもあまり効果ないように思います。
97	今年度引っこしてきたため。
98	もっとがんばってください。
99	「尾鷲にとどまりたいか」「尾鷲に行きたいか」にはやはり仕事があるかないかが大きな問題になると思います。新事業を考えて雇用を産み出そう。何年か後は人口1万7千人になると言っていましたね。
100	働く場が少ないので、移住者より流出する人が多い。
101	空き家バンク、仕事バンクなど移住への取り組みを行っているから。
102	高齢者が4割を超えているが、若い方の担い手が少なく、将来が不安である。
103	以前よりあまり目立ってしていないように思う。
104	漁村部の受け入れが村意識が強い。漁業参入に抵抗がある、強い？
105	仕事がないから出ていくばかり。
106	移住の取り組み良いと思う。
107	若い人がいない(家にずっといるから出会えていないだけかもですが)のでママ友ができず孤独です。
108	空き家が目立っていて人の流れはみえない。
109	1軒あたりの屋敷の面積が少なすぎて魅力がないのではないかな？
110	(誰がアンケートの例をかんがえたのか?) 今月議会で市長は口先だけの答弁をしているが、市のとりくみでどれだけの実績を知っているのか？(私など全然知らない、九鬼の食堂くらい)「コロナで地方はチャンス」日本全国の同じ思い、市長は新聞にのっとる事だけ言っている。市は移住者にとって、どういう魅力がある、又特色があるなど、全国同じような取組の中で、移住者がたくさん移住してくれるような環境をどうととのえていくかが問題であろう。
111	移住の取り組みに努力されているようですが、それがいつまで移住してもらえるやらさだかでない。
112	数は年々減り続けている。
113	出て行ってしまう人が多い気がする。

④公共交通の確保について

1	地域的に全然良になってなく、不便になっている。
2	市内だけではなく、市外にもバスが通るようになり高齢者は助かっているのではないのでしょうか。
3	今の所は利用してないが、大きなバスが必要か？
4	免許を返納した人向けのサービスをもっと充実してほしい。
5	今は実感ないが、年令がいくにつれて、不便なところが多くなるように思う。

6	今は利用していないが、充実してほしい。
7	ふれあいバスの利用率について余り知らされていない。
8	町内では使いづらいのでは？
9	自分で利用することがないから。
10	これは便利だし。これからもずっと続けてほしいと思います。ふれあいバスはもっといろんな市内を走ってもらいたい。
11	もっと「老人の足」が必要だ。
12	1時間～30分に1本の交通しかないので不便。
13	利用したことがないのでわからない。でもお年寄りには有難いと思う。
14	バスの本数が少なく、不便な土地も依然として存在する。
15	ふれあいバスがあるが、元々ある公共交通機関が不足。
16	電車、バスは利用していないのでわからない。
17	利用してはいないが、旧町内外の方には便利になったと聞いている。
18	横断歩道がないところ、お年寄りが横切ってあぶない。もっとお年寄りの移動手段を考えるべき。
19	あまり利用しないが、よく目にしている。
20	ふれあいバスの運行については、市の最大限の協力は評価している。その他の交通機関との併用を考えるべきと思う。
21	ふつうに使えない。
22	ふれあいバスは大切。
23	ふれあいバスが便利でないと思います。
24	あれあいバスができて、利用者(高齢者)は良かったと思う。
25	高齢者が買い物や病院への通院時に利用し、便利になったと聞いている。
26	私は車が運転でき、自家用車も保有しているので不便さは感じない。むしろ、ふれあいバスで利便性があるがっている。
27	ふれあいバスが便利になった。よく見かける。
28	旧町内はバスが充実されていない。市外に出るのが大変不便になった。(シニアにとって)三重交通の本数減少。
29	使用していないのでわからない。
30	ふれあいバスは続けてほしい。
31	高速ができた。
32	尾鷲市ふれあいバス、場所的に広げてほしい。(買い物などに不便な場所へ)
33	高速道路ができたことは便利になった。
34	利用者が少ない。
35	バスはあまり利用しないのでわからないが、梶賀から尾鷲に行くのに遠回りが多くなったので、約1時間もかかって不便だと思う。
36	1日の本数が少ない。
37	尾鷲市軽タクシーは。
38	車を手放した時に気軽に利用したい。
39	自分の生活は自分で守る指導するべきです。
40	タクシーが足りない。
41	ふれあいバスは市内は有りますか、市外地なんでしょうか、余り見たことが有りません。
42	ふれあいバス運行により、車を運転できない人にとって良くなった。(便利)昔は JR、三重交通のみで不便だった。
43	時間の間が長い。
44	例題のようにあれあいバスの利便性は図られてきていると思われるが、公共の駐車場施設が少ないように思われる。
45	利用していないが必要だと思う。
46	光ヶ丘方面は喜んでいる人もいる。
47	熊野尾鷲道路がつながり、ますます便利になると思います。
48	利用していないのでわからない。
49	そういうのを増やして、郊外の年寄の危ない運転を減らすようにしてもらいたい。
50	ふれあいバスの運行はぜひ行って下さい。
51	天満の方を回るので時間がかかるので困る。
52	ふれあいバスの本数が少ないので、紀北町のような介護タクシー、乗合タクシーのようなものは出来ないでしょうか。
53	高速の対面通行は怖いけど便利になった。
54	バスの運転手さんは、声かけもなく愛想がない。
55	輪内地区の人にとってふれあいバスはありがたいです。

56	公共交通を利用していないのでわかりません。
57	ふれあいバスのデザインをそろそろ一新してほしい。
58	尾鷲港新田線の事業計画が進んできた。
59	市内への所要時間が長くなった。
60	梶賀は何にしても不便です。バスの時間帯も悪く感じます。
61	利用することはないが、高齢化が進んでいるので、利用者の意見を取り入れ引き続き実施してほしい。
62	財政にあわせた確保。
63	バスが便利に活用されているように思います。
64	泉地区の広い道路沿いも運行してほしい。
65	高齢者にもう少し配慮してほしい。
66	利用していないのでわからない。高齢になり、自動車の免許返納になった場合、遠くの墓まいりが心配。月1～2回の巡回バスが必要？
67	ふれあいバスの運行の更なる工夫を望む。便数の増加、運行時間の延長。JR列車との連絡運行。
68	ふれあいバスは一部の地域の方しか利用できないので、公平にどの地域も利用できる乗り物を考えてほしい。
69	もっと本数的に充実したらいいと思う。
70	ありがたいですが、もう少し本数ふやしてほしい。
71	市内の巡回バスも必要となる。
72	ふれあいバスは利用した事がないのでわからない。
73	時間的にバスが多くなってほしい。
74	ふれあいバスは結構だが、地域の商店がさびれている。
75	今は車で移動が多いと思いますが、これから高齢化がもっと進むと重要な交通手段となるのが市内を走るバスだと思います。
76	ふれあいバスがずっとつづいてほしい。
77	ふれあいバスの本数の減少。とても不便に感じている人もいと聞く。
78	バス停にベンチがほしい。
79	乗り合いできる乗用車の法規制の緩和希望。
80	ふれあいバスの便数と料金が妥当かどうか。
81	前の前の方が良かった。バス時刻
82	高齢者に運転させずもっと公共交通を使わせてほしい。危ない！
83	安心して移動ができるので良いと思う。
84	JRの今後の特急の変更やタクシーの時短、矢ノ川峠周辺のバス停が無いなど。
85	ふれあいバスのダイヤに工夫が感じられる。
86	輪内から尾鷲にきているハラソ線バスは、老人が尾鷲の病院に来る時、朝はいいが診察が終わって帰る時は何時間もバスを待たなければならない。老人にはとてもたいへんだと思います。
87	JRの特急が少ない。
88	ふれあいバスは高齢者には良い制度である。
89	ふれあいタクシーの方がさらに便利。
90	変化しており重大な課題だと思います。タクシー業者が1つになってしまいタクシー台数が減ったのは大問題です。バスは重要。しかしながら宅配スーパーが増えた。バス以外も含めて考えていかないといけない。
91	利用度の高い路線にもう1台増やせないか？
92	バスに乗ったことがない。
93	老人だけがふえていくので、手厚く取り組んで欲しいです。
94	ふれあいバスの活用を今後も望む。
95	ふれあいバスだけじゃ高齢化社会に対応できない。
96	よくなった。
97	尾鷲市ふれあいバスはとてもありがたいです。
98	正直使っていないのでわからない。
99	ふれあいバスがたしかに便利になってきた。
100	JR・ふれあいバス等、最低でも現状維持を。
101	もっと時間を増やしてほしいです。
102	須賀利は老人が多いため、ふれあいバスの帰途だけでも停留所以外の広い場所で止めて頂けないでしょうか？
103	今年度引っこしてきたため。
104	乗らないのでわかりません。
105	公共交通機関でふれあいバスですが、お年寄りや自家用車などを持ってない方の乗車率が悪くて、きっと赤字ですよね。必要だけど赤字にならない方法ないですかね。

106	公共交通を使用しないのでわかりません。
107	高齢者の公共交通利用がスムーズに出来ていない。1時間1本はふれあいバスが利用できてほしい。
108	不便は感じていない。
109	通っていない所が多いかと。田舎は車がないと移動手段がない。免許返納したくても足がないから出来ないという話をよく聞く。
110	あまり感じない。
111	・ふれあいバスの活動状況や利用状況を市民に公開しているのか、その費用対効果は？ ・どれだけ便利になったか、利用者や住民にアンケートをとったり、住民の声を聞いているのか？年々地域は限界集落への道をたどっているの、今後も行政がやるより他に方法はあるのですか。(このままではの話)
112	ふれあいバスも一部の地域だけ行われているだけなので、便利になったとはいいいがたい。
113	運転マナーがよくない(市バス)
114	高速道路開通により楽になった気がする。

⑤災害に強い都市施設の推進について	
1	狭い石段多し。
2	散歩もゆっくりできない。自動車が通るとこわい。
3	今のところ大きな災害はきていないが、大地震大津波がきたときは、避難が不安です。
4	放置された古い空家が多く、ブロック塀等も災害時には不安。
5	ナカミチからR42に交わる交差点、海山がわに信号機がほしい。
6	道路が整備されていない、でこぼこが多い。
7	市防災の方の働きかけもあり、各地域で緊急事態に備えての準備や訓練が活発に行われていると思う。
8	高齢化に伴う避難状況をふまえて施設の整備をする。
9	避難場所よくわかりません。
10	いつやって来るかわからない災害に不安ですが、前もって皆様の力をお借りして、できるだけ安全に皆んなで力を合わせて行こう。
11	雨風には強いと思うが、津波に対する防御設備が皆無だ。
12	自分の避難先は中村山方面(中央公)だと思っていたが、ハザードマップは危険個所になっていた。
13	災害の起こるところが決まっても、毎回危険を伴っているように感じる。
14	災害時における備蓄等は良いが、港に近い町(老人の多い)への配慮に欠ける。
15	道路が不安。狭い。
16	大地震などが起きたら、実際ちゃんと逃げられるのか、訓練もしてないし自信がない。
17	災害時の避難場所の確保がとても不安。
18	放置家屋に対する取組みが不十分。
19	避難場所の強化。
20	大雨でもあまり不安はない。
21	現状での防災対策は非常に進んだ取組を実施していると思う。やはり市民1人ひとりの意識を如何に継続させるかが重要と考える。
22	避難タワー案、お金が無い、場所が無いという理由でできていないが、真剣に「人の命」の優先を考えるべきだ。
23	絶対大切なことなのに、自分も含め住民の意識が低いように思う。
24	狭い道路が多く、災害時の避難がきわめて不安。
25	狭い道路が多く、空き家が増えて避難が不安。
26	尾鷲は雨に強く、そんな被害は出てないが、輪内方面や海に近い天満など、近くに高台の無い所は何かしらあっても良いかも。
27	中央駐車場の跡地に避難タワーが出来れば、中井町、港町の住民が安心できる。
28	危険な場所があまりに多い。
29	体育館の老朽化で使いやすい避難所が使用出来てない。避難シェルター補助等で建て替えられないのでしょうか？(体育館はくろしお学園体育館を使用)
30	防災、災害の取り組みに対して対応が遅い。
31	災害のひなん場所など、今一度わからない。
32	雨などによる災害は強い町だと思います。
33	避難場所が少ない。(津波タワーない、市体育館等避難できない)
34	曽根地区では、災害時に避難するには道路もこみあってないし、避難は出来やすいと思う。
35	くずれそうな山が多い。
36	大津波の逃げ遅れ者への軽鉄骨棟の様な物がいくつかあれば。
37	せめてメイン道路の整備をしてほしい。(外灯、歩行安全)外灯がなく夜道が暗い。

38	空き家バンクなどは災害に強い都市造りに反しています。空き家は取り壊す方針で行かなければなりません。
39	高い所への避難場所がほしいです。
40	コミュニティセンターの充実。個人運営会社の施設への避難協定の推進で少し良くなったように思う。
41	どんな施設を考えているのか？何も示されないのでは？市街地の無人？老朽建物も心配だが、市で解決できないのか？
42	とにかくここが問題。こみあっている所多し。
43	災害に対して(以下余白)
44	本当にそういう面に接しないとわからない。
45	大きな災害のある場合は未知ですから不安ではありますが、日常ではそんなに感じてないです。市が取り組んでくれていると思います。1人暮らしのお年寄はどうなるのでしょうか。
46	1つの集落に出入口が1つしかないようなのを改善。例えば、この橋が無いと外へ出られないようなことを改善。(どこからでも災害から逃げれるような)
47	高い建物をもっと建ててほしい。
48	避難場所はあるけど、避難所がない所は避難が長くなった時どうなるのか。
49	災害弱者の逃げるすべを考案してほしいです。
50	避難場所が少ない。
51	避難所の設備を詳しく知りたいです。
52	倒壊寸前の空き家等が地震でくずれおちたときに避難できるのか心配。
53	あきやはくずした方がいい、あぶなくなる。
54	避難路が整備されつつある様に思う。
55	財政に合わせて推進。
56	瀬木山(林)から42号線の道を早く拡張。
57	川の増水が気になる所です。
58	外灯が少ない。
59	この地区はすべて危険の為、何か方法はないですか。
60	地震、津波の可能性が大きいと伝えられている。いつ何度起こるかもしれない。ある程度覚悟しておく事も必要か？
61	避難所が開設されているがわからなくて不安。開設されている避難所名と開設時刻を防災無線で知らせて欲しい。
62	体育館が古くなっていて利用ができなくなってきたので、利用できるようにしたり、避難場所を増やしてほしい。
63	なかなかむずかしいけど、若い人が中心になってとりくみ方を考えてくれたらと思う。
64	東邦の後の川沿は真っ暗で車の走行でもこわい。
65	避難場所の確保は大丈夫か。
66	お金の要ることだが、高台に強固な建物を造ること。
67	高齢者が多く、災害があった時にどう行動すれば良いか不安になります。
68	中村山が津波の際の避難場所になっているが、天文台のトイレ1つしかない。何人の人が避難するのかわからないが、小学生だけでもトイレが不十分である。
69	道路の整備があまり進んでいないから。
70	備蓄品の充足は？
71	尾高の避難所としての活用が見えてこない。自主防災組織が地域によって差が大きくなっている。
72	狭い道路で舗装工事も行き届いてない所もあるので、安全に避難できる様に点検し改善してほしい。
73	古い建物やブロック塀が多く、台風や地震のたび割れていないか心配になります。
74	具体的な防災訓練や机上訓練(シミュレーション)などを行ってほしい。
75	災害時の避難場所が不安。
76	徐々にではあるが、避難路の整備が進んでいる。
77	都市施設ではなく、まず人の気持ちを変えていく。逃げる事、普段から備える気持ちを育むことが大切と考える。
78	市の体育館を新しくし、避難所にぜひ。
79	良好
80	南海トラフの大地震では、大被害は免れない。仮設住宅の用地、材料の確保。
81	市役所自体が、そういう場合に耐え得る建物ですか？
82	県に対して、予算の充実につとめて下さい。
83	津波避難タワーがまだ1つも出来ていない。津波が来てからでは遅い。港から唯一逃げる事が出来る1本道の尾鷲港新田線が開通の見通しが無い。
84	本当の災害時をしらない人が多い。
85	倒壊している古家などをまず撤去するべき。道幅よりも崩れているのだから、災害時は道を塞ぐので、まず

	それを片付けないと道を考えても意味がない。
86	側溝の掃除をしていないので、大雨になるとあふれてくる。
87	そう思います。
88	避難場所が狭く少ないので不安。避難道路の外燈少ない、暗い。
89	今年度引っこしてきたため。
90	私の所は道路ぞいなのでわかりません。
91	大雨による川の氾濫、津波に対する土地の低い所に対しての対策をしっかりとはいけないと思う。避難所となっている矢浜公民館は大丈夫でしょうか？
92	尾鷲市の災害に対する意識が高まっていると思う。
93	前へ進んでいるようには思う。
94	海側にもっと避難タワー等増やさないと住民は避難できない。
95	引っ越してきたばかりで、どこに避難すれば良いのか明確でないので、もう少し説明や紙面での案内がほしいです。
96	橋の補強が少なく不安です。
97	動かし様のない住居、土地、それより強い体力作りが必要。
98	・狭い道路を言ってもしょうもないではないか。 ・早めの避難、市民の意識継続維持(くりかえし啓発しつづける)が1番大切。 ・すべてが災難があって初めて、被害を受けてはじめて。国レベルでのハード事業が開始される。当市は1番は津波高潮対策です。防潮堤等でつかい話です。市単独ではどうしようもない話なのですね。将来くるかもしれない南海、東南海、東海にそなえて、高台の土地利用計画も考えておくべき。それともすでに当市の高台の土地利用計画は考えてあるのですか。土地利用計画は市民が知っていますか。【政策調整係、土地利用計画は分掌事務ではないのですか。】高台の土地利用、東北の市町。震災後テレビでよく出てきましたね。
99	災害の強い都市施設の推進について、上記の通り、道が狭い。

（３）皆さんの身の回りで起こっていることについてお伺いします

近年、私たちの身の回りでは、日本全体あるいは地球規模で以下のような様々ことが起こっています。

《１ 人口減少・少子高齢化》

日本の人口は減少局面に突入しています。本市にあっては、平成 22 年の約 21,400 人が令和 2 年には 17,500 人（各年 3 月現在）に減少しており、今後もその傾向が続くと予測されています。高齢化率（65 歳以上人口の割合）は、全国平均 28.6%に対して本市は 43.4%（令和 2 年 3 月）と高く、高齢化が進んでいます。

《２ 若者の移住志向の高まり》

田舎暮らしを希望する若者の増加や、テレワーク（情報通信技術を使うことにより会社以外の場所で働く方法）の進展などにより、地方への移住希望者が増えており、人口減少対策や地域活性化策等として本市を始め各地で移住を促進する施策が行われています。

《３ 新型コロナウイルス感染症対策》

現在、日本では新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、経済の再活性化に取り組むため、新型コロナウイルス感染症に備えた「新しい生活様式」の確立が求められています。

《４ 地球温暖化と災害リスクへの備え》

温室効果ガスの排出等が原因となり、地球温暖化が世界共通の問題となっています。日本においては、地球温暖化の影響による集中豪雨、大型台風の発生などによる災害が多発しています。本市では、南海トラフ地震への備えも重要です。

《５ 持続可能な社会づくり》

地球環境や経済活動等を持続可能なものとするため、世界的な取り組みが進められています。国連加盟国は、2030 年までに世界の国々が取り組むべき「持続可能な開発目標」（SDGs（エスディージーズ）：Sustainable Development Goals）を採択しました。全部で 17 のゴール（目標）と 169 の詳細なターゲットが定められており、様々な分野で取り組まれています。

《６ 先進技術の導入》

近年、情報・通信技術の進化により、日常生活や経済等に大きな変化が起きています。コンピュータのプログラムが自ら学習し判断能力を習得していく AI（人工知能）や、身の周りの様々なモノがインターネットにつながる IoT（Internet of Things）、多様かつ複雑な作業を自動化する「ロボット」技術等が次々と実用化されています。このような新たな社会を「Society5.0」と呼んでいます。

※Society 5.0 の“5.0”は、人の社会のはじまりである「狩猟社会」を「Society “1.0”」として、「農耕社会（2.0）」、産業革命後の「工業社会（3.0）」、そして今日の「情報社会（4.0）」の次にあたる新しい社会を意味しています。

問3 あなたは、上記の1～6のことを知っていましたか。また、市の施策として、このような社会動向に対応することは重要と思いますか。

1～6の各項目について、あなたの考えに近いものを「認知度」と「施策の重要度」の中からそれぞれ1ずつ〇をつけてください。

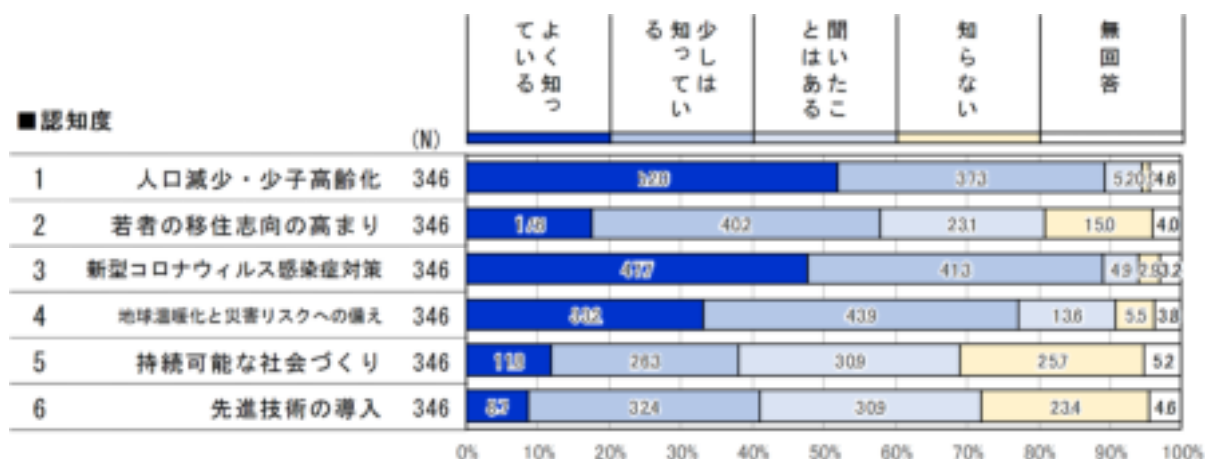
認知度の「よく知っている」「少しは知っている」「聞いたことはある」を含めると、「人口減少・少子高齢化」「若者の居住志向の高まり」「新型コロナウイルス感染症対策」「地球温暖化と災害リスクへの備え」は9割前後と高い認知度になっており、重要度でも同様ですが、「持続可能な社会づくり」「先進技術の導入」については、認知度は7割程度、重要度は6～7割に下がります。

認知度を項目別に見ると、「よく知っている」の割合が高いのは、「人口減少・少子化高齢化」52.0%、「新型コロナウイルス感染症対策」47.7%となっています。「知らない」の割合が高いのは「持続可能な社会づくり」25.7%、「先進技術の導入」23.4%となっています。

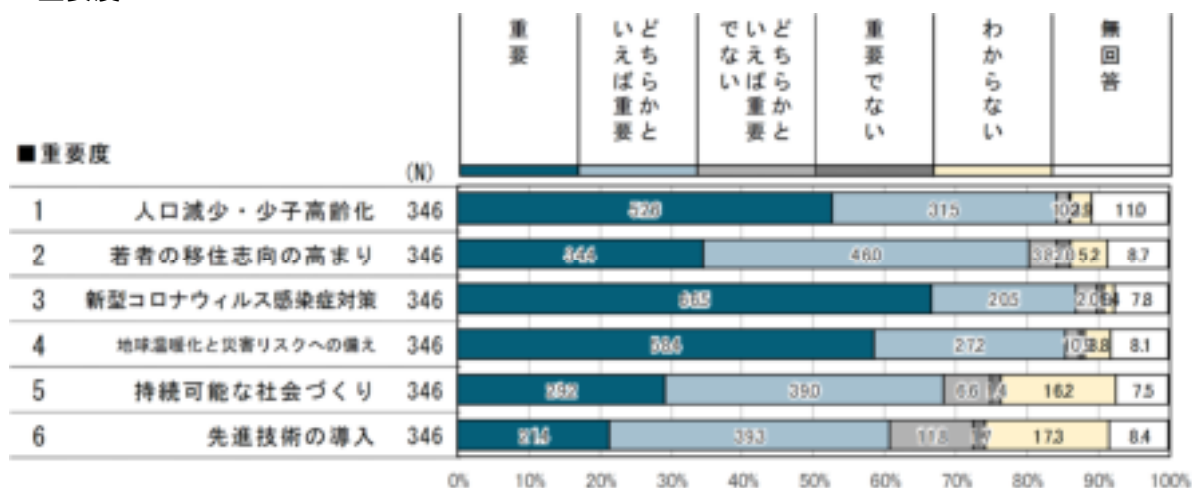
重要度を項目別に見ると、「重要」と考える割合が最も高いのは「新型コロナウイルス感染症対策」66.5%、「地球温暖化と災害リスクへの備え」58.4%、「人口減少・少子高齢化」52.6%となっています。

「地球温暖化と災害リスクへの備え」の認知度は、33.2%とさほど高くありませんが、重要度は58.4%となっており、重要度が高いと考える回答者が多いことがわかります。

■認知度

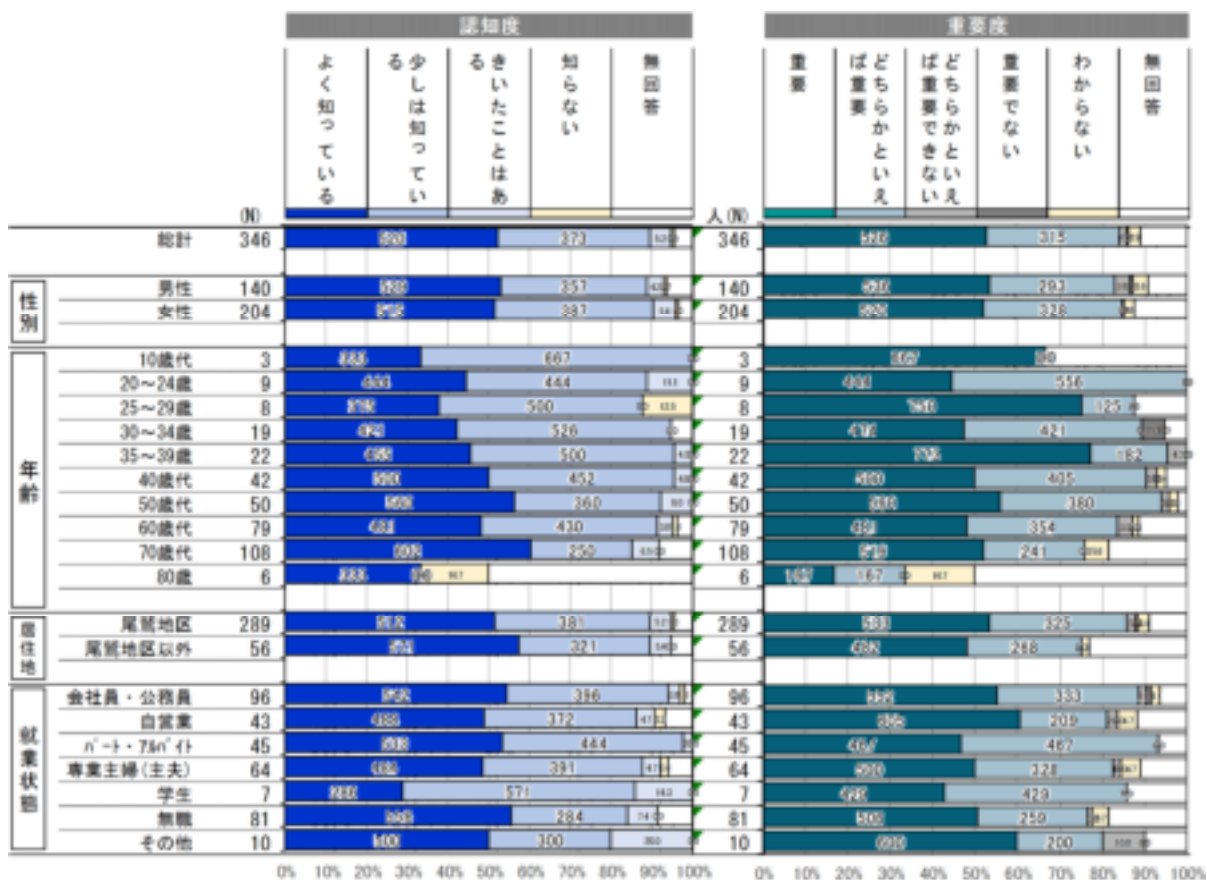


■重要度



■問3-1 人口減少・少子高齢化×属性クロス

認知度を年齢別に見ると、年齢が高いほど「よく知っている」の割合が高くなっています。
重要度を年齢別に見ると、「重要」は25～29歳と40歳代の割合が高くなっています。

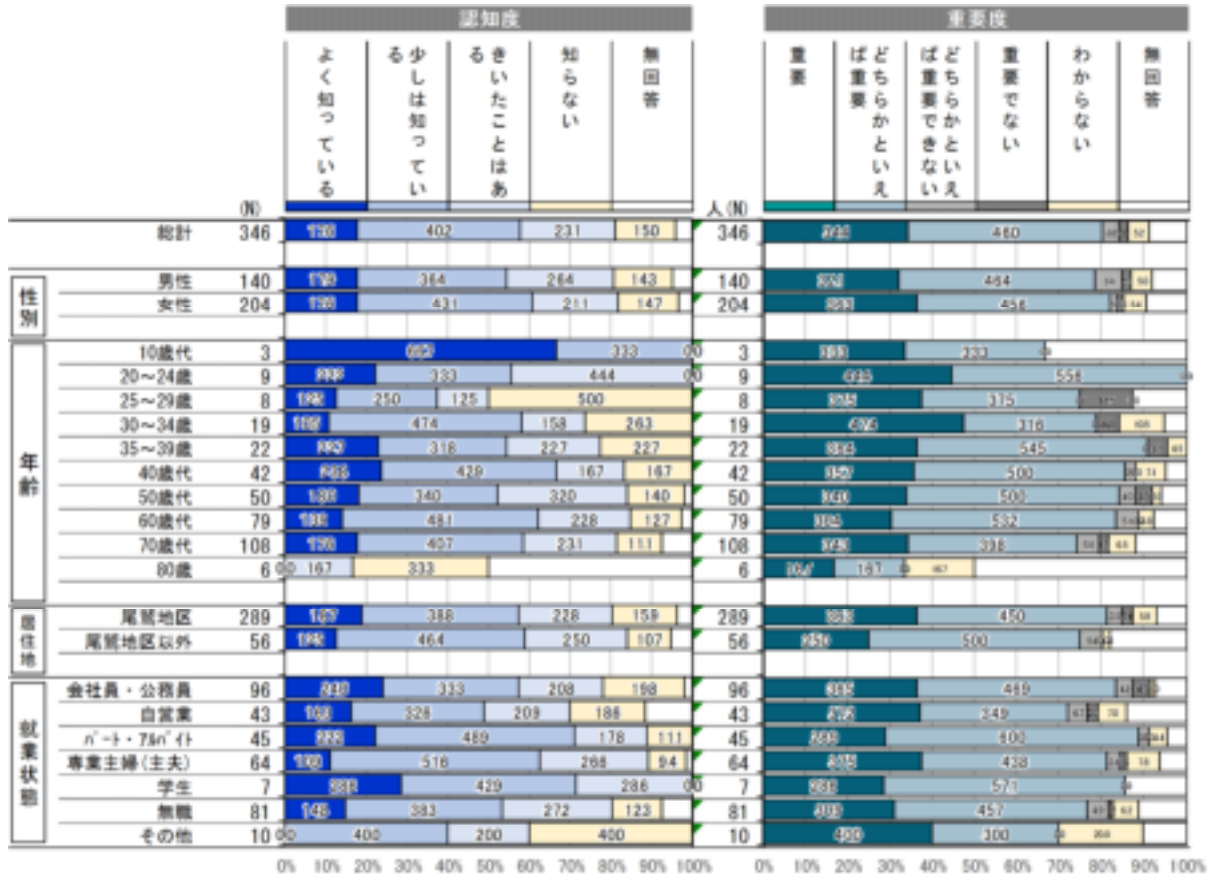


【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

■問3-2 若者の移住志向の高まり×属性

認知度を年齢別に見ると、回答者数は少ないですが、10歳代で「よく知っている」と回答する割合が高くなっています。他、属性による大きな傾向が見られません。

重要度を属性別に見ると、属性による大きな傾向が見られません。

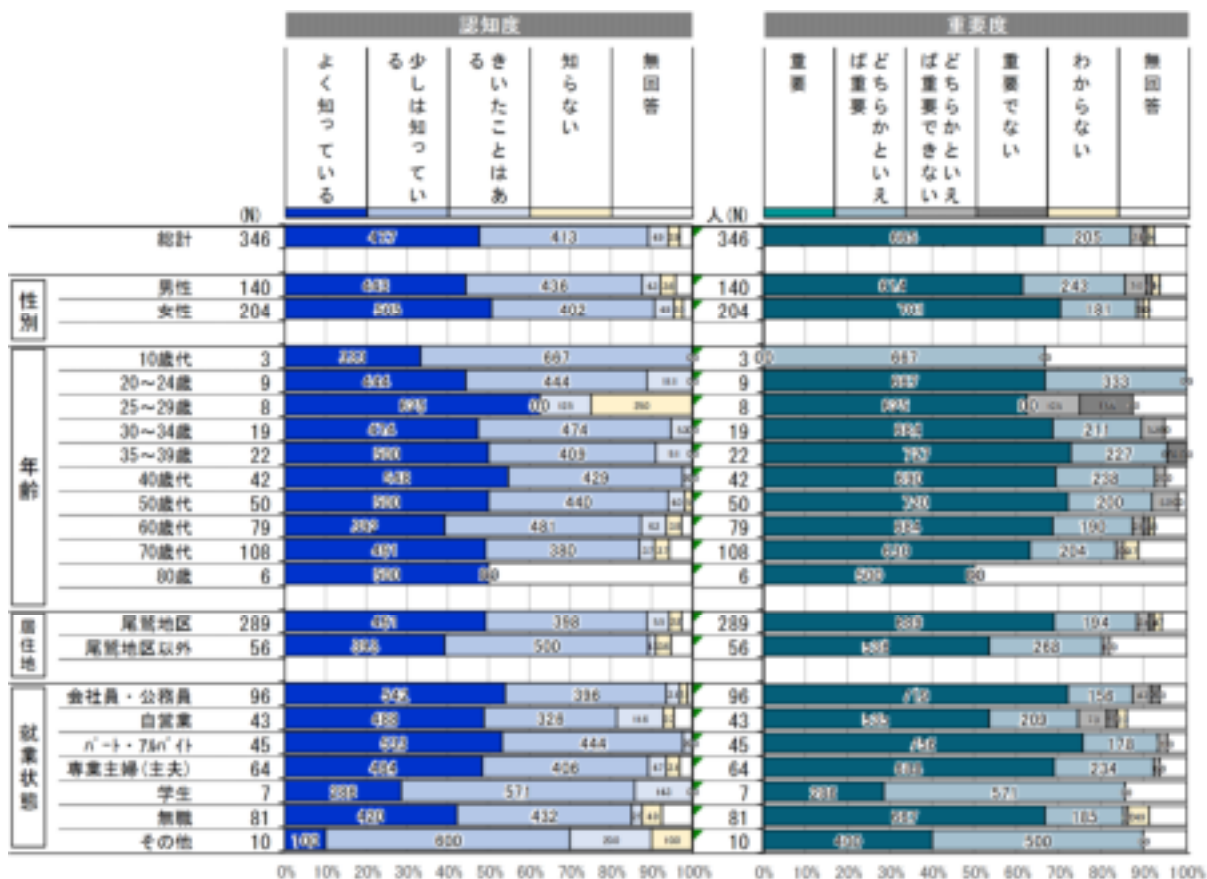


【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

■問3-3 新型コロナウイルス感染症対策×属性クロス

認知度を年齢別に見ると、「よく知っている」の割合は25～29歳が高くなっています。

就業状態別に見ると、学生は認知度「よく知っている」、重要度「重要」ともに低い割合となっています。

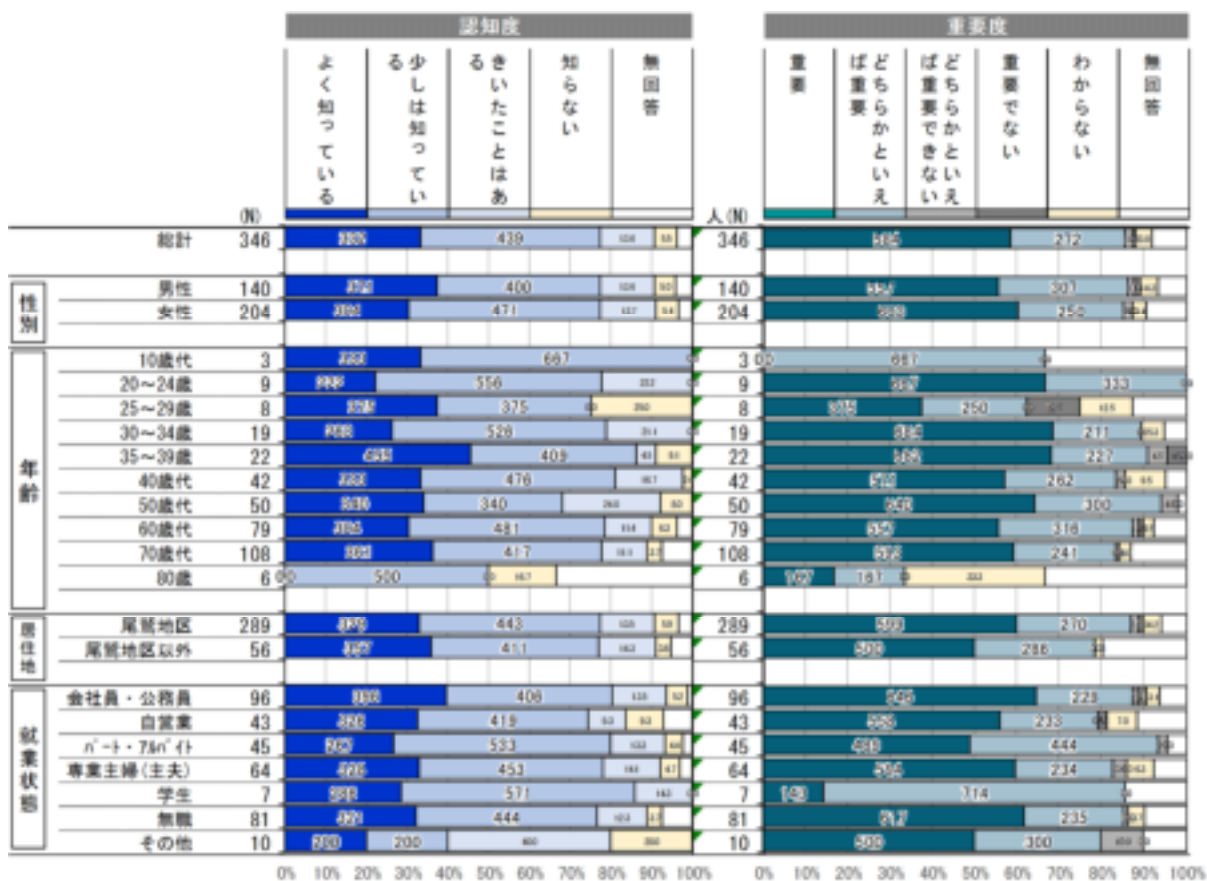


【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

■問3-4 地球温暖化と災害リスクへの備え×属性クロス

認知度を年齢別に見ると、「よく知っている」は25～29歳、35～39歳が高い割合となっています。

重要度を属性別に見ると、「重要」は10歳代0.0%、学生14.3%と若い世代の認知度が低い傾向があります。

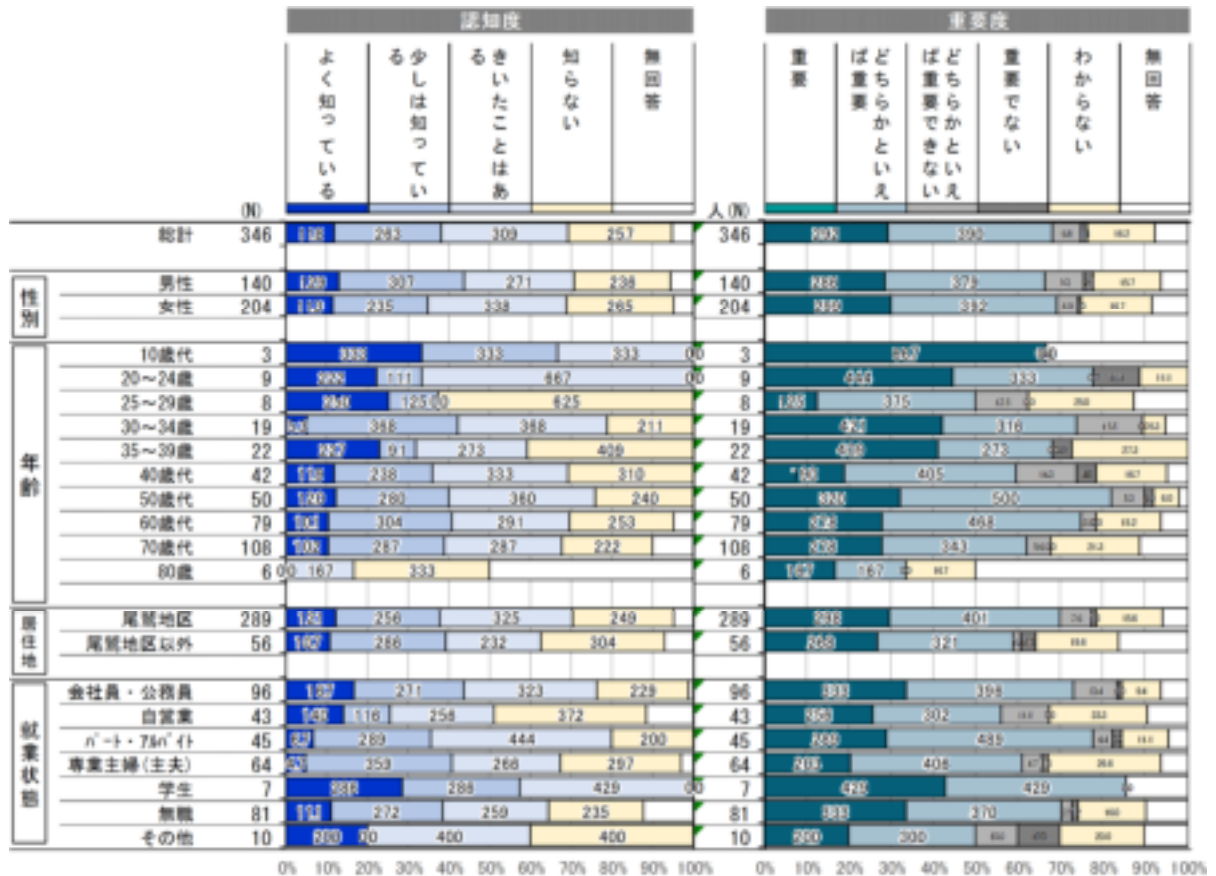


【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

■問３－５ 持続可能な社会づくり

認知度は、どの属性においても「知らない」と回答する割合が高く見られます。ただし、10歳代、20～24歳、25～29歳、また学生など若い世代の認知度は高い傾向が見られます。

重要度についても同様で、10歳代、20～24歳、学生と若い世代の割合が高くなっています。

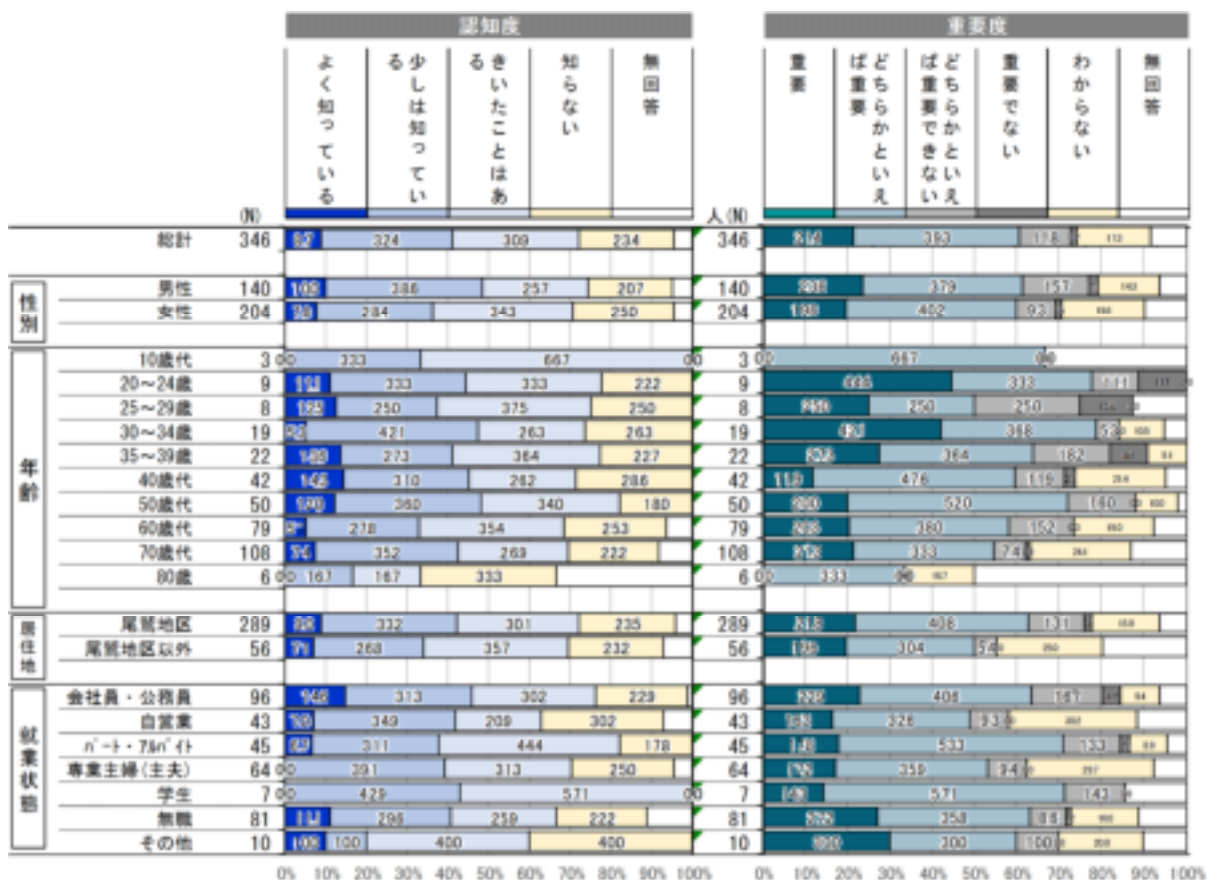


【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

■問3－6 先進技術の導入×属性クロス

認知度を属性別に見ると、属性による大きな傾向が見られません。

重要度を年齢別に見ると、20～24歳、30～34歳の割合が高い傾向があります。

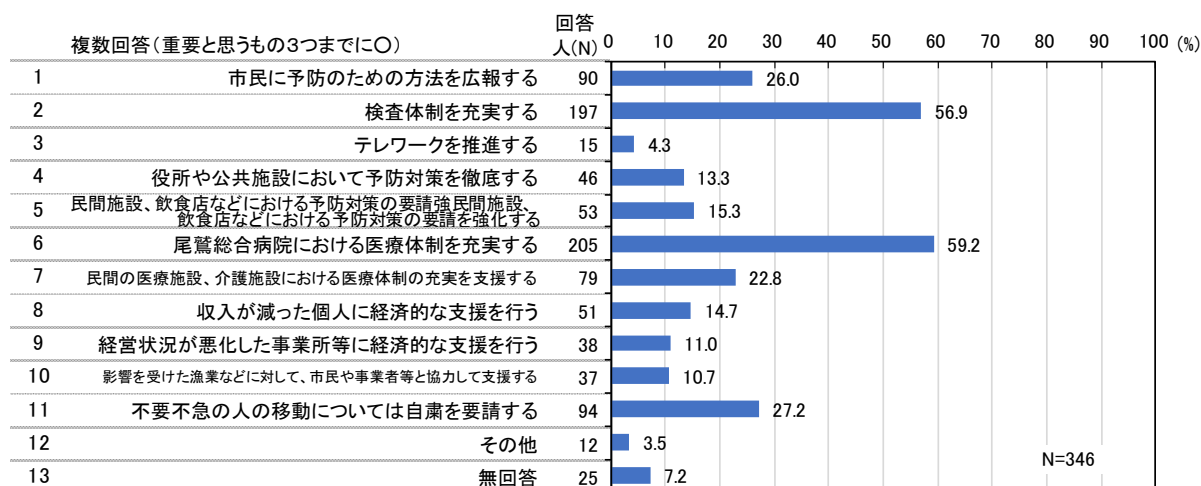


【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

(4) 新型コロナウイルス感染症などへの対策について

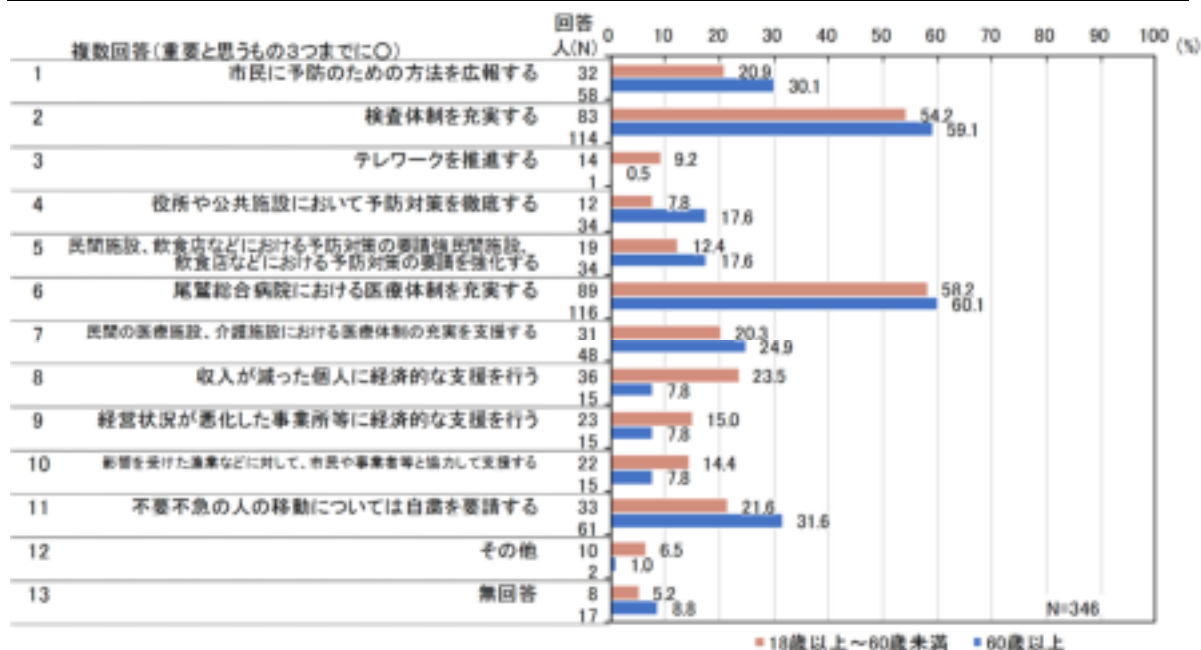
問4 新型コロナウイルスを含む感染症対策として、市はどのようなことをすべきと思いますか。
(重要と思うもの3つまでに○)

項目別に見ると、「尾鷲総合病院における医療体制を充実する」59.2%が最も高く、次いで「検査体制を充実する」56.9%の2項目が高い割合になっています。



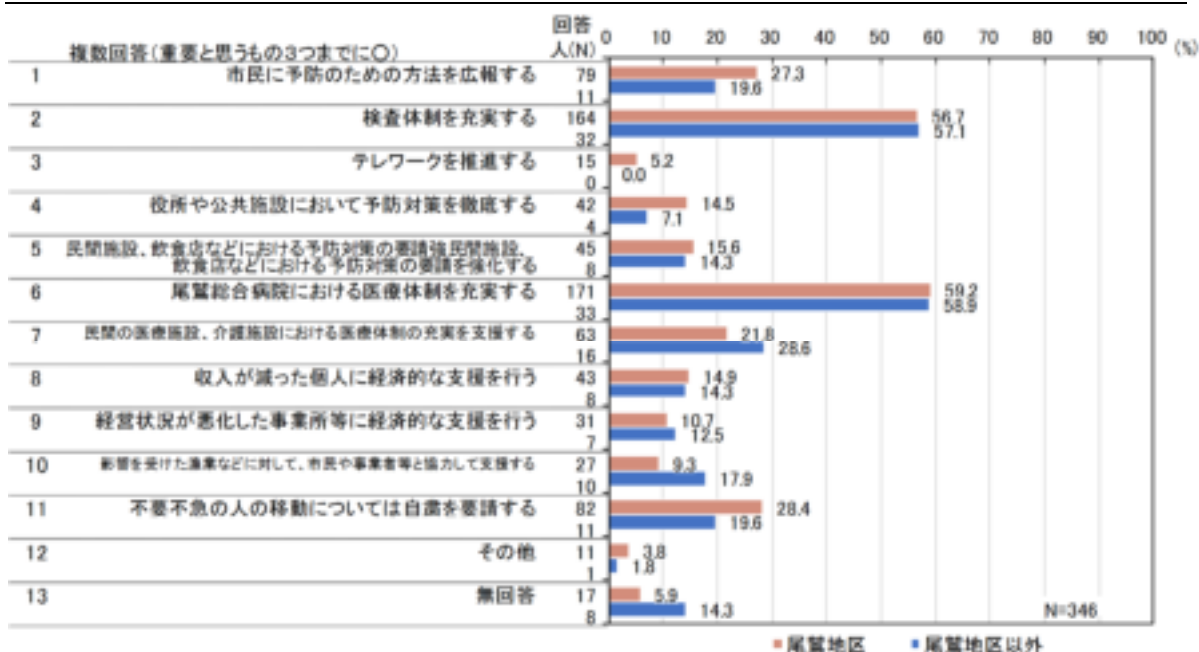
■問4×年齢別クロス

年齢別に比較すると、男女ともに「検査体制を充実する」、「尾鷲総合病院における医療体制を充実する」は高い割合になっています。18～60歳未満では、「収入が減った個人に経済的な支援を行う」、「経営状況が悪化した事業所等に経済的な支援を行う」、「影響を受けた漁業などに対して、市民や事業者等と協力して支援する」など、経済的支援に対する項目の割合が高くなっています。一方、60歳以上では、「市民に予防のための方法を広報する」、「不要不急の人の移動については自粛を要請する」、「民間の医療施設、介護施設における医療体制の充実を支援する」の割合が高くなっています。



■問4×居住地別クロス

居住地別に比較すると、尾鷲地区では、「市民に予防のための方法を広報する」、「不要不急の人の移動については自粛を要請する」、「役所や公共施設において予防対策を徹底する」の割合が高くなっています。尾鷲地区以外では、「民間の医療施設、介護施設における医療体制の充実に支援する」、「影響を受けた漁業などに対して、市民や事業者等と協力して支援する」など地域性の強い項目の割合が高くなっています。

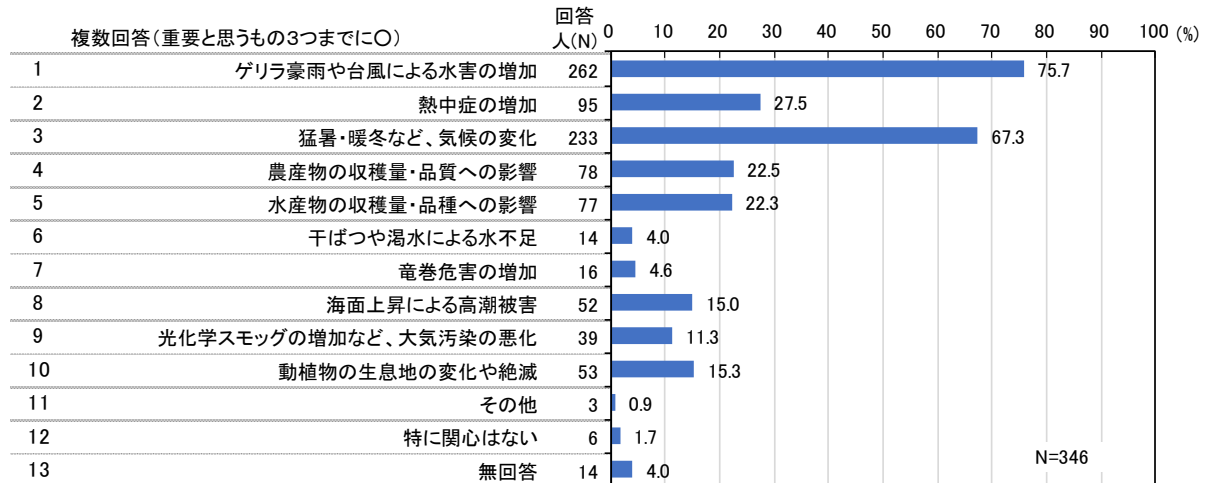


（５）地球温暖化と災害リスクへの備えについて

問５ 地球温暖化の影響について、あなたはどのようなことに関心がありますか。

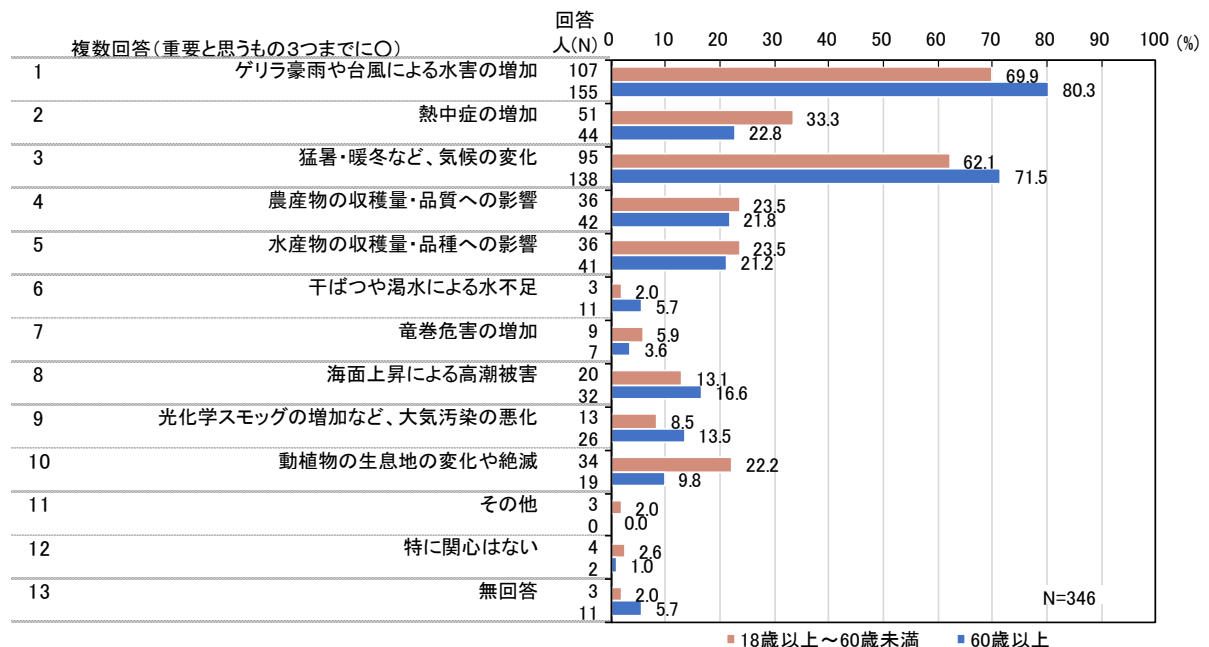
（関心の高いもの３つまでに○）

項目別に見ると、「ゲリラ豪雨や台風による水害の増加」75.7%が最も高く、次いで「猛暑・暖冬など、気候の変化」67.3%の２項目が高い割合になっています。



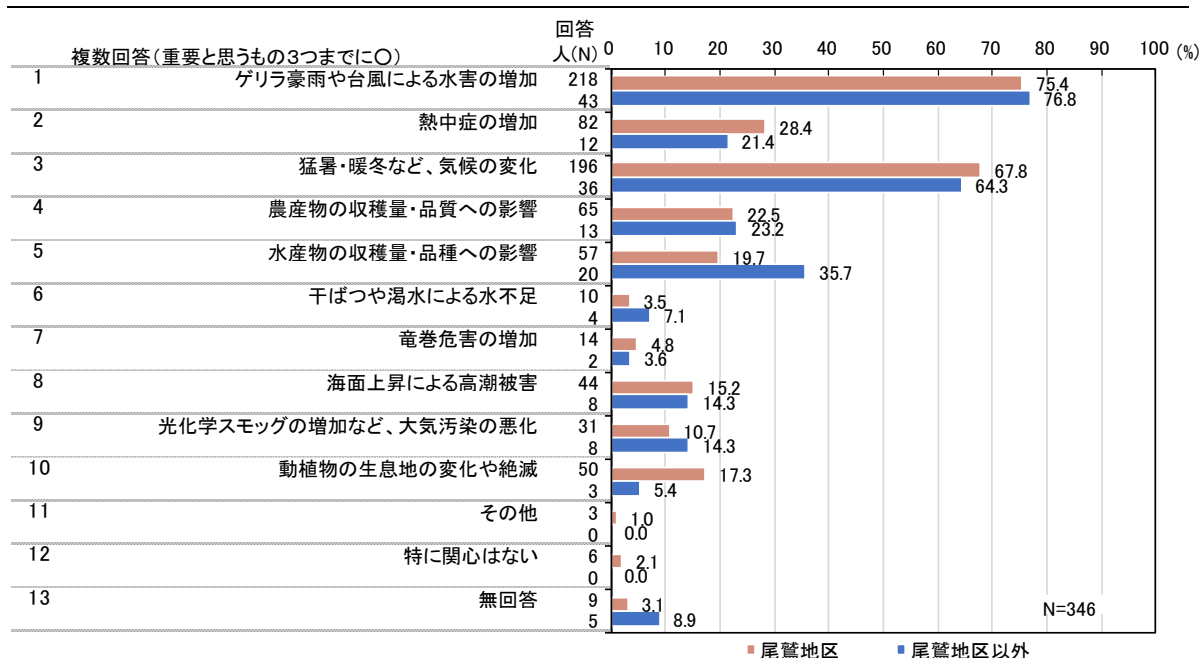
■問５×年齢クロス

年齢別に比較すると、18歳以上～60歳未満では、「熱中症の増加」、「動植物の生息地の変化や絶滅」の割合が高くなっています。一方、60歳以上では、「ゲリラ豪雨や台風による水害の増加」、「猛暑・暖冬など、気候の変化」の割合が高くなっています。



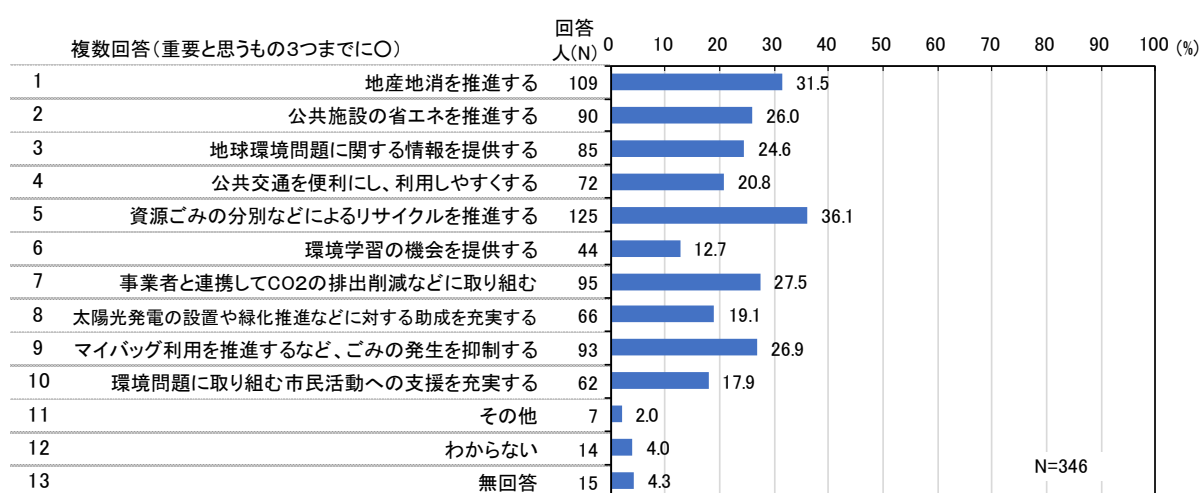
■問5×居住地クロス

居住地別に比較すると、尾鷲地区では、「熱中症の増加」、「動植物の生息地の変化や絶滅」の割合が高くなっています。尾鷲地区以外では、「水産物の収穫量・品種への影響」など地域性の強い項目の割合が高くなっています。



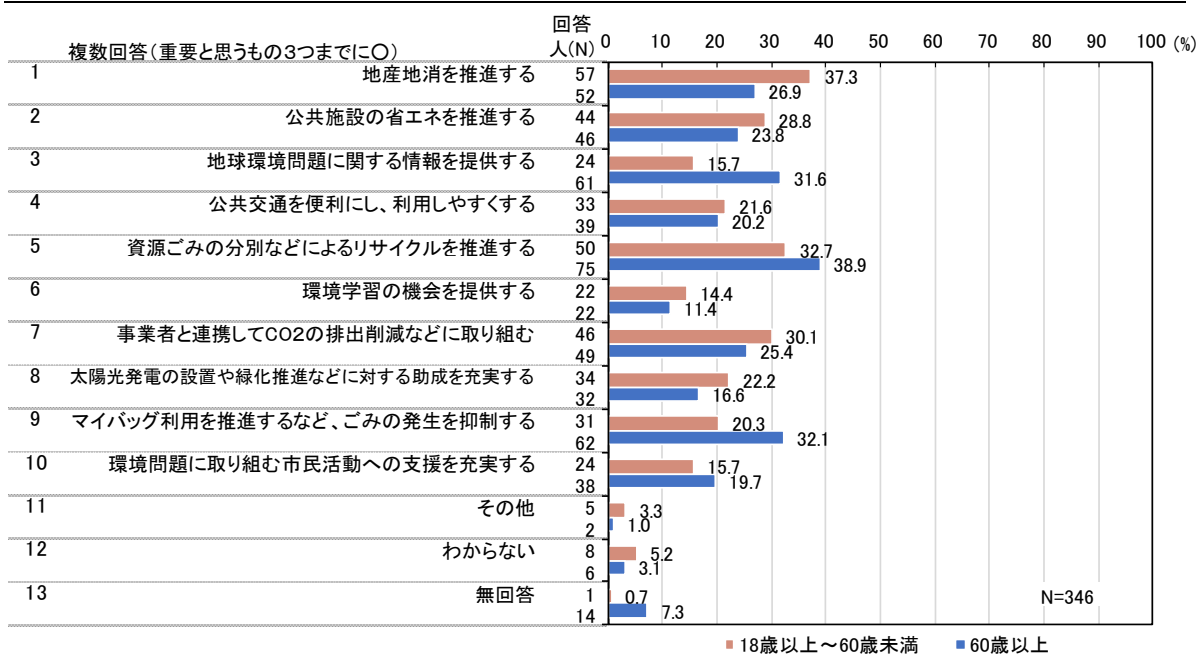
問6 温室効果ガスの排出を抑制するため、市はどのようなことを重点的に進めていくべきだと思いますか。（重要と思うもの3つまでに○）

項目別に見ると、「資源ごみの分別などによるリサイクルを推進する」36.1%が最も高く、次いで「地産地消を推進する」31.5%となっていますが、回答は分散しています。



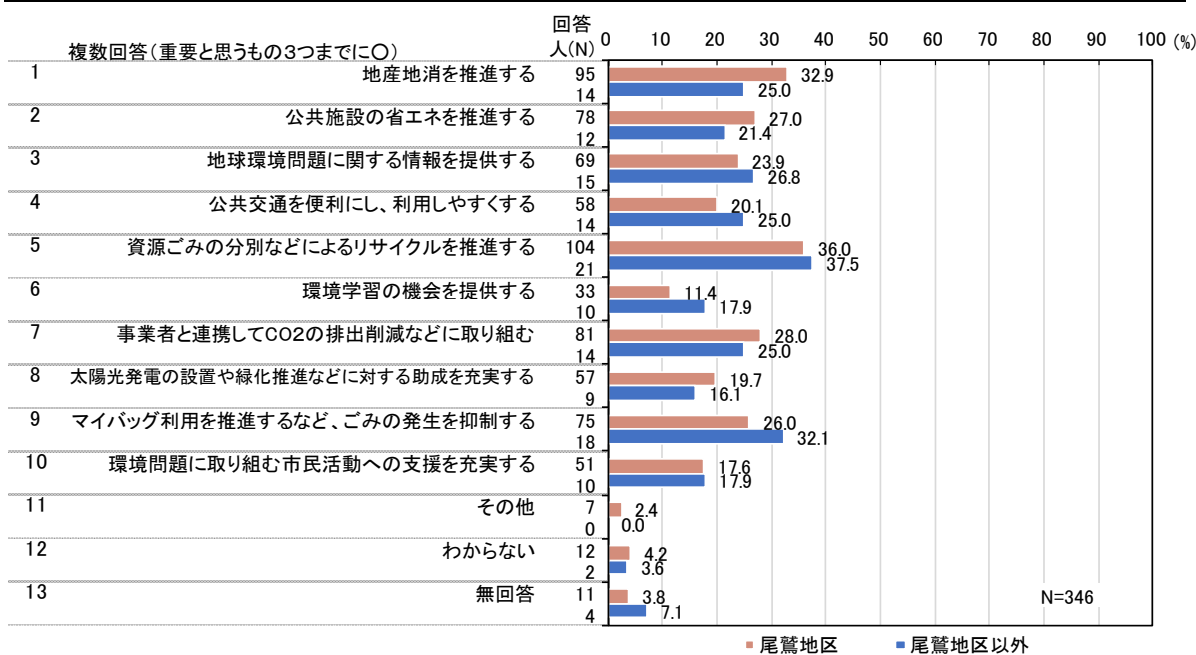
■問6×年齢クロス

年齢別に比較すると、18歳以上～60歳未満では、「地産地消を推進する」、「公共施設の省エネを推進する」、「事業者と連携してCO2の排出削減などに取り組む」、「太陽光発電の設置や緑化推進などに対する助成を充実する」などの割合が高くなっています。一方、60歳以上では、「地球環境問題に関する情報を提供する」、「資源ごみの分別などによるリサイクルを推進する」、「マイバッグ利用を推進するなど、ごみの発生を抑制する」などの割合が高くなっています。



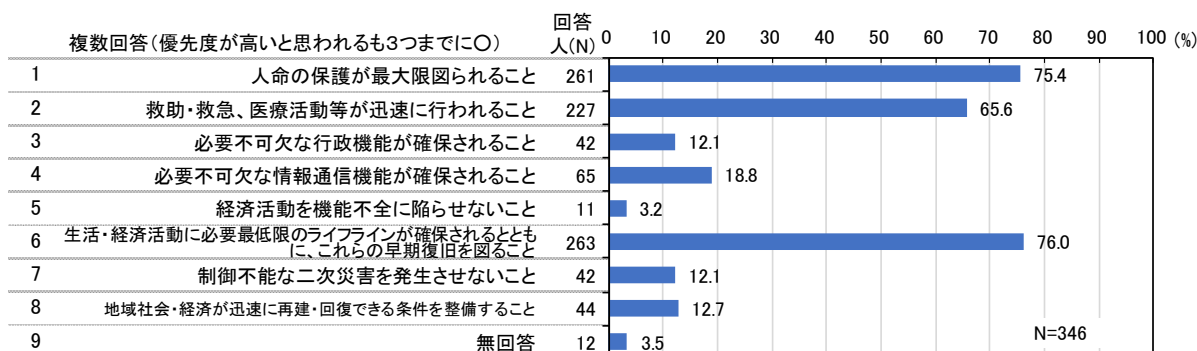
■問6×居住地クロス

居住地別に比較すると、各項目で大きな傾向の差はありませんが、尾鷲地区では、「地産地消を推進する」の割合が高くなっています。尾鷲地区以外では、「マイバッグ利用を推進するなど、ごみの発生を抑制する」の割合が高くなっています。



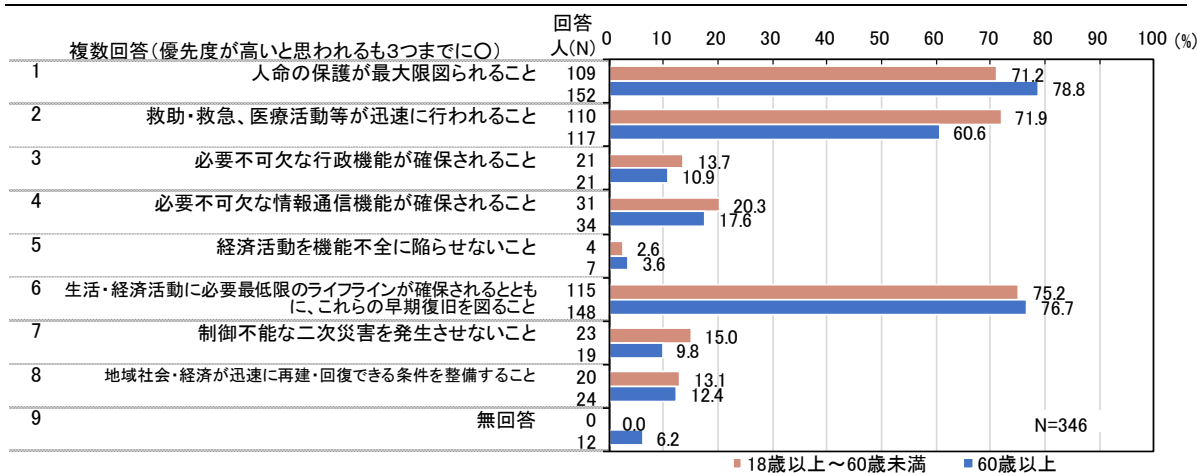
問7 本市では、地震や台風などの大規模自然災害に強いまちづくりを進めるため、「国土強靱化地域計画」の策定を進めています。これは、大規模自然災害に備えた強靱な地域づくりを進めるため、事前防災・減災や迅速な復旧・復興のための総合的な取組をとりまとめた計画になります。この計画の策定にあたり、地震や台風・集中豪雨などの大規模自然災害に事前に備えるべき目標として、優先度が高いと思われるものは次のどれになりますか。（優先度が高いと思われるも3つまでに○）

項目別に見ると、「生活・経済活動に必要な最低限のライフラインが確保されるとともに、これらの早期復旧を図ること」76.0%が最も高く、次いで「人命の保護が最大限図られること」75.4%、「救助・救急、医療活動等が迅速に行われること」65.6%となっています。



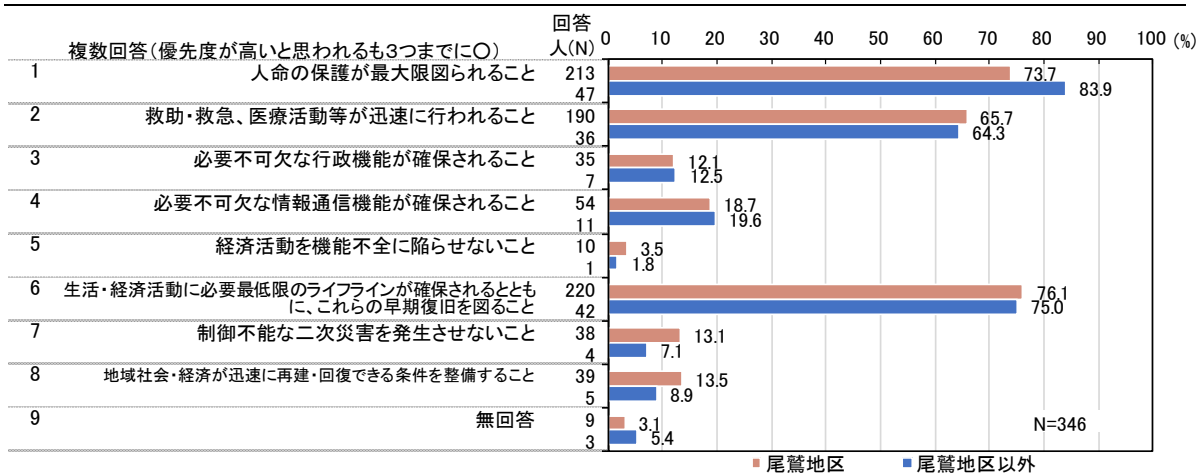
■問7×年齢クロス

年齢別に比較すると、どの年齢でも、「人命の保護が最大限図られること」、「生活・経済活動に必要な最低限のライフラインが確保されるとともに、これらの早期復旧を図ること」の割合は高くなっています。18歳以上～60歳未満では、「救助・救急、医療活動等が迅速に行われること」の割合が高くなっています。一方、60歳以上では、「人命の保護が最大限図られること」の割合が高くなっています。



■問7×居住地クロス

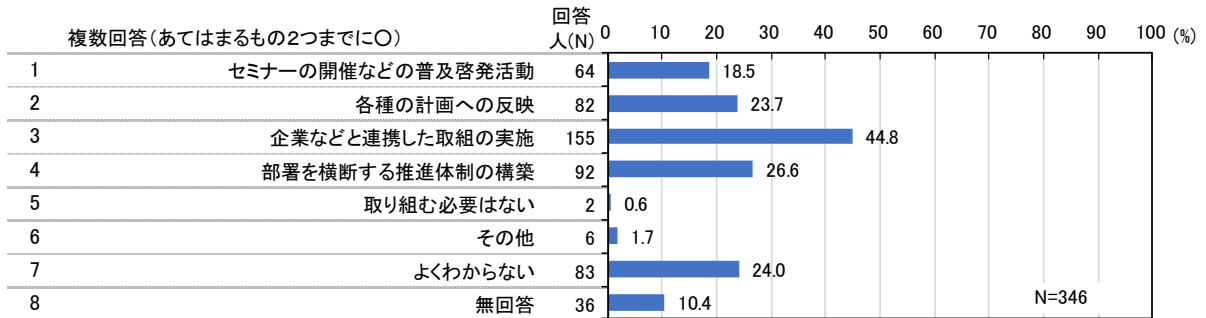
居住地別に比較すると、各項目で大きな傾向の差はありませんが、尾鷲地区以外では、「人命の保護が最大限図られること」の割合が高くなっています。



(6) 持続可能な社会づくりについて

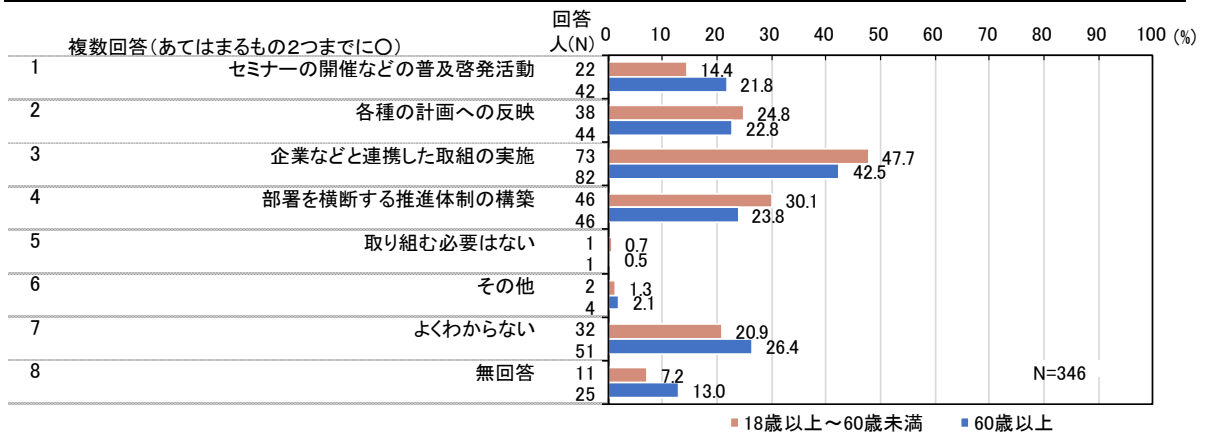
問8 持続可能な社会を創っていくため、本市のまちづくりではどのようなことに重点的に取り組むべきと思いますか。(あてはまるもの2つまでに○)

項目別に見ると、「企業などと連携した取組の実施」44.8%が最も高く、次いで「部署を横断する推進体制の構築」26.6%となっています。



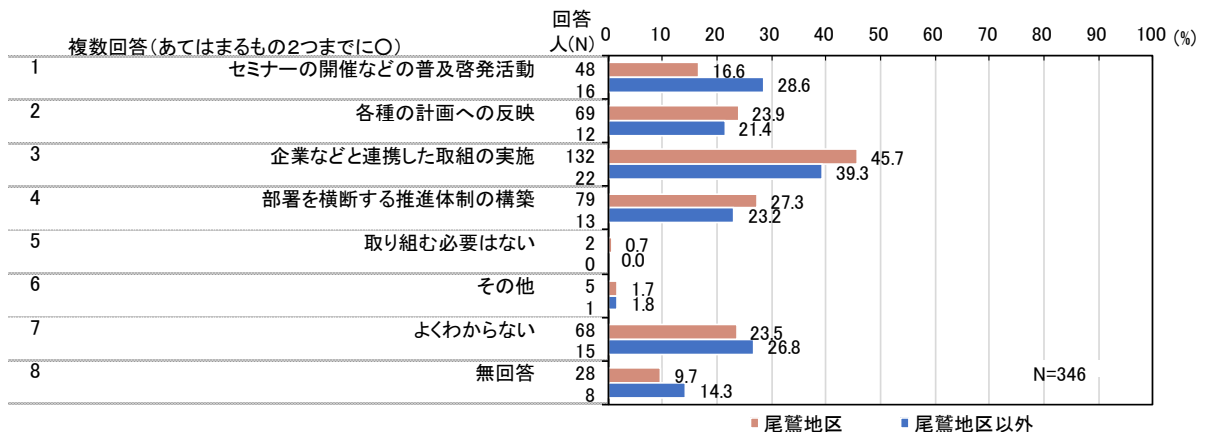
■問8×年齢クロス

年齢別に比較すると、18歳以上～60歳未満では、「企業などと連携した取組の実施」、「部署を横断する推進体制の構築」の割合が高くなっています。一方、60歳以上では、「セミナーの開催などの普及啓発活動」の割合が高くなっています。



■問8×居住地クロス

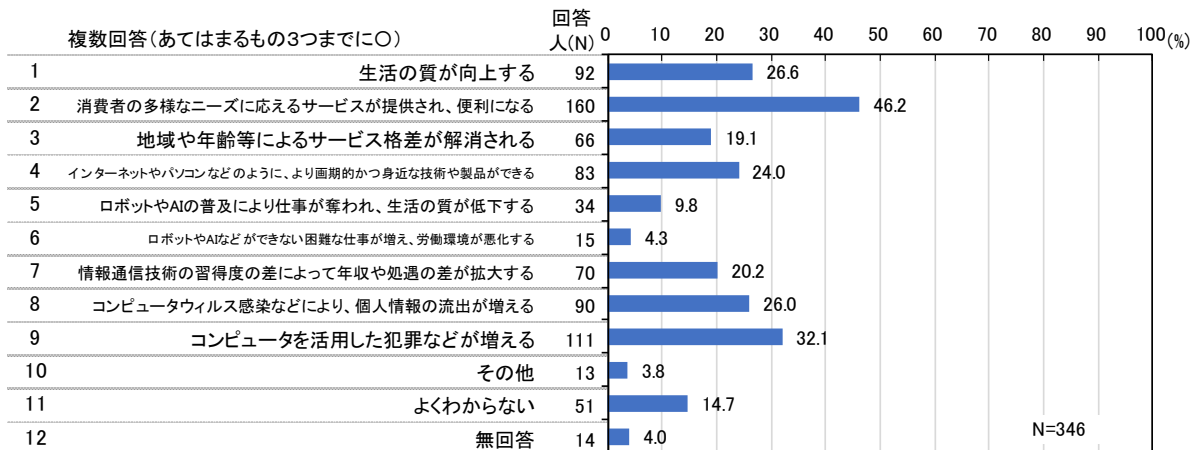
尾鷲地区では、「企業などと連携した取組の実施」の割合が高くなっています。尾鷲地区以外では、「セミナーの開催などの普及啓発活動」の割合が高くなっています。



(7) 先進技術の導入について

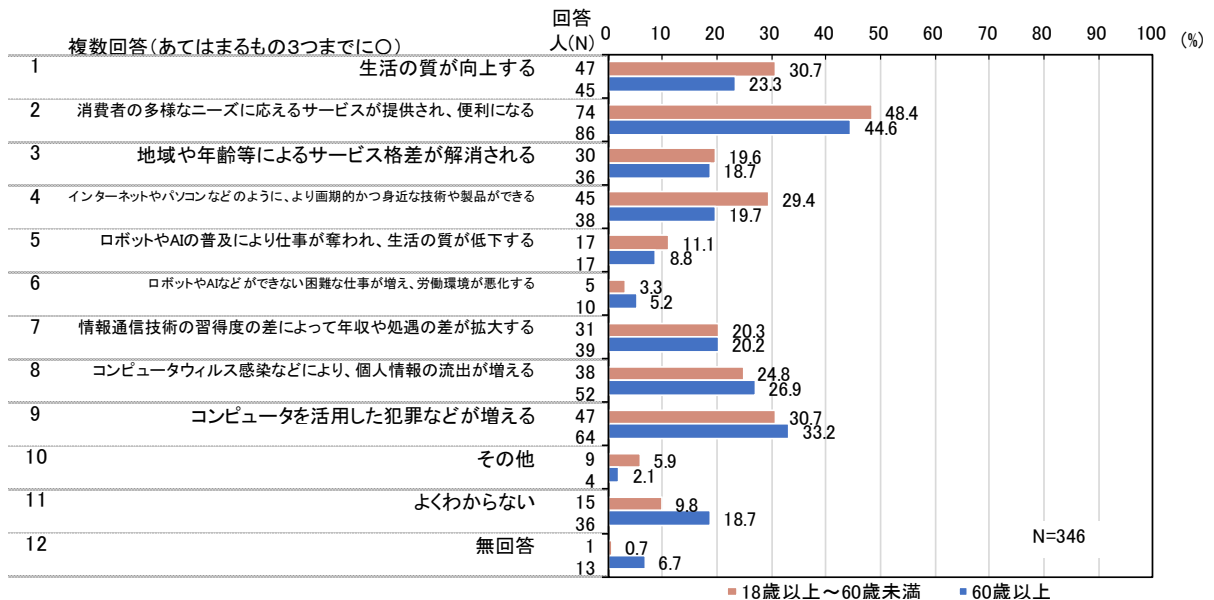
問9 あなたは、先進技術の導入について、どのような印象やイメージをもたれますか。
(あてはまるもの3つまでに○)

項目別に見ると、「消費者の多様なニーズに応えるサービスが提供され、便利になる」46.2%が最も高く、次いで「コンピュータを活用した犯罪などが増える」32.1%となっています。



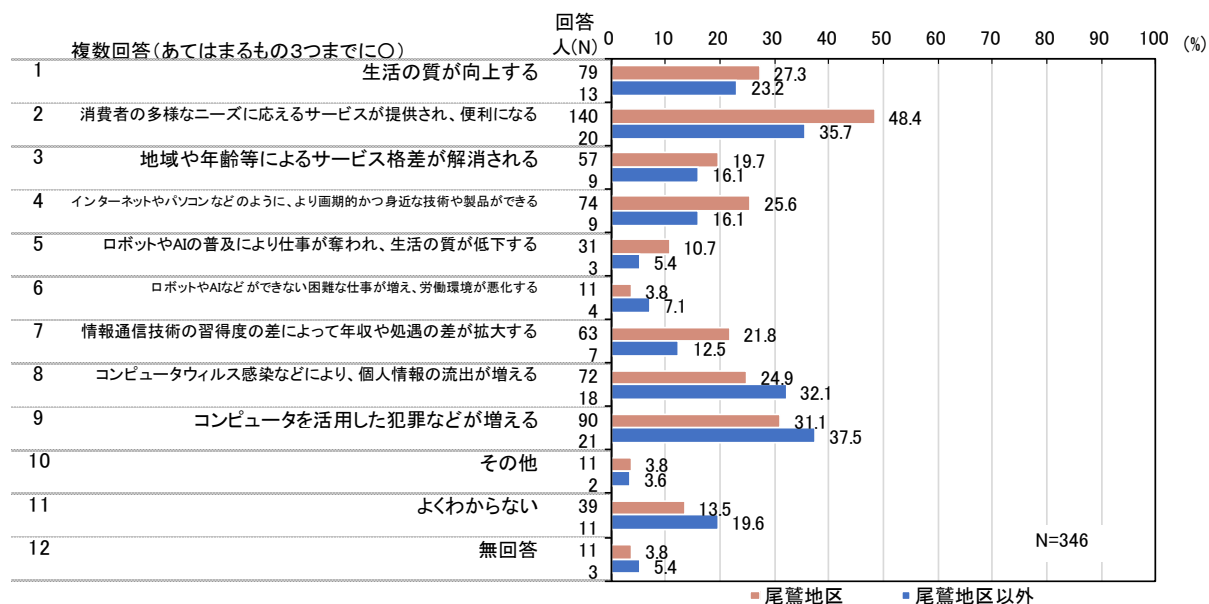
問9 × 年齢クロス

年齢別で比較すると、各項目で大きな傾向の差はありませんが、18歳以上～60歳未満では、「生活の質が向上する」、「消費者の多様なニーズに応えるサービスが提供され、便利になる」、「インターネットやパソコンなどのように、より画期的かつ身近な技術や製品ができる」など先進技術に対して良いイメージの項目が高い割合になっています。



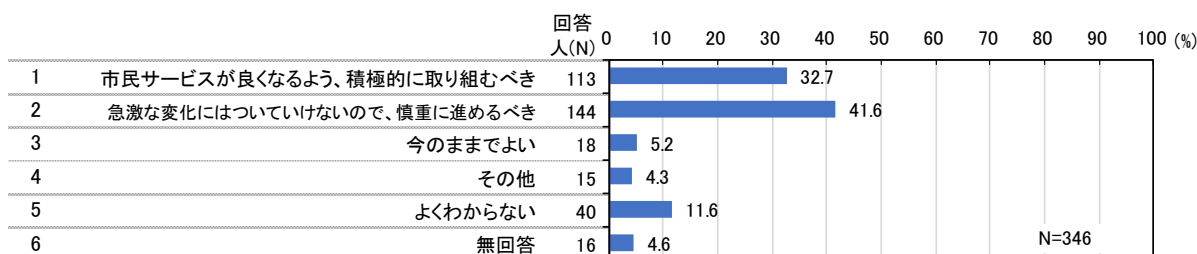
■問9×居住地クロス

居住地別に比較すると、尾鷲地区では、「消費者の多様なニーズに応えるサービスが提供され、便利になる」、「インターネットやパソコンなどのように、より画期的かつ身近な技術や製品ができる」など、多くの項目が高い割合になっています。尾鷲地区以外では、「コンピュータを活用した犯罪などが増える」、「コンピュータウィルス感染などにより、個人情報の流出が増える」など先進技術に対して良くないイメージの項目の割合が高い傾向があります。



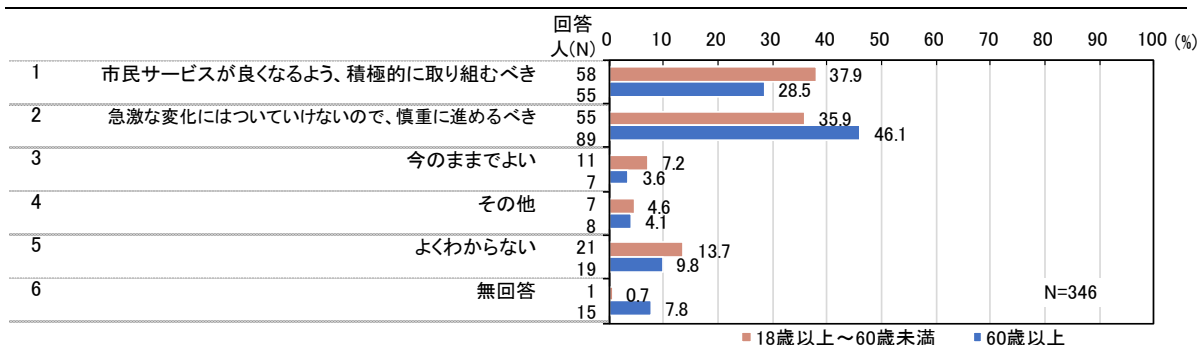
問 10 先進技術の導入により、行政サービスについては、「デジタル化による利便性向上」「インフラ管理コストの低減」などが期待されます。このような取り組みについて、どのように思いますか。

項目別に見ると、「急激な変化にはついていけないので、慎重に進めるべき」41.6%が最も高く、次いで「市民サービスが良くなるよう、積極的に取り組むべき」32.7%となっており、評価がわかれています。



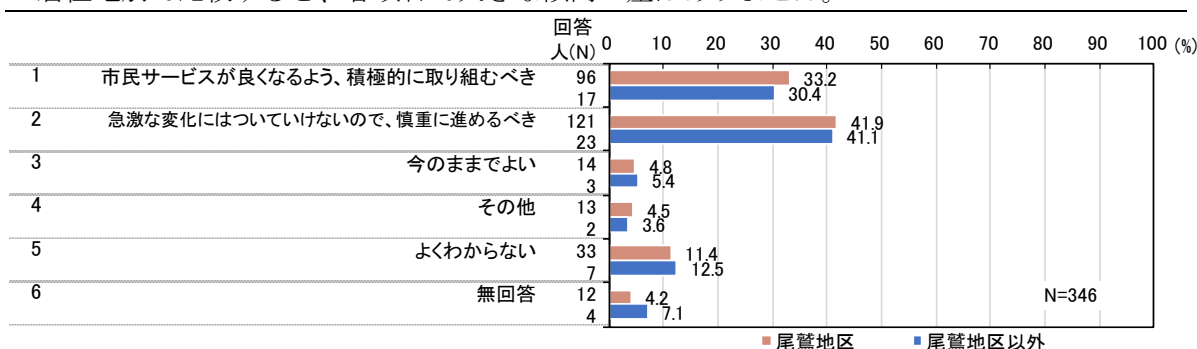
■問 10×年齢クロス

年齢別に比較すると、18歳以上～60歳未満では、「市民サービスが良くなるよう、積極的に取り組むべき」の割合が高くなっています。一方、60歳以上では、「急激な変化にはついていけないので、慎重に進めるべき」の割合が高くなっています。



■問 10×居住地クロス

居住地別で比較すると、各項目で大きな傾向の差はありません。



(8) 人口減少対策に関する現在の取組についてお伺いします

問 11 本市の人口は、現在約 1 万 8 千人で減少傾向です。このため、人口減少対策として以下のよう
な取り組みを実施しています。これらの取り組みについて、現在の「満足度」と今後の「重
要度」をお聞かせください。

1. 評価の算出方法

重要度・満足度により市の取り組みに対する市民の意向を相対的に分類することで、取り組みの
今後の方向性を検討する際の参考とするため、問 11 市の取り組みに対する満足度及び重要度での
結果をもとに、市民の市の取り組みに対する考え方を、次の計算方法により 4 つの分野に整理しま
した。

満足度の点数化については、「満足」＝5 点、「どちらかといえば満足」＝4 点、「普通」＝3 点、
「どちらかといえば不満」＝2 点、「不満」＝1 点として、「わからない」「不明・無回答」を除く有
効回答者数で除したものです。

同様に重要度については、「重要」＝5 点、「どちらかといえば重要」＝4 点、「現状のまま」＝3
点、「どちらかといえば重要」＝2 点、「重要でない」＝1 点として、「わからない」「不明・無回答」
を除く有効回答者数で除したものです。

【加重平均点の算出方法】 ※最大値 5～最小値 1

$$\text{満足度} = \frac{\text{「満足」} \times 5 + \text{「どちらかといえば満足」} \times 4 + \text{「普通」} \times 3 + \text{「どちらかといえば不満」} \times 2 + \text{「不満」} \times 1}{\text{「わからない」「不明・無回答」を除く有効回答数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{\text{「重要」} \times 5 + \text{「どちらかといえば重要」} \times 4 + \text{「現状のまま」} \times 3 + \text{「どちらかといえば重要でない」} \times 2 + \text{「重要でない」} \times 1}{\text{「わからない」「不明・無回答」を除く有効回答数}}$$

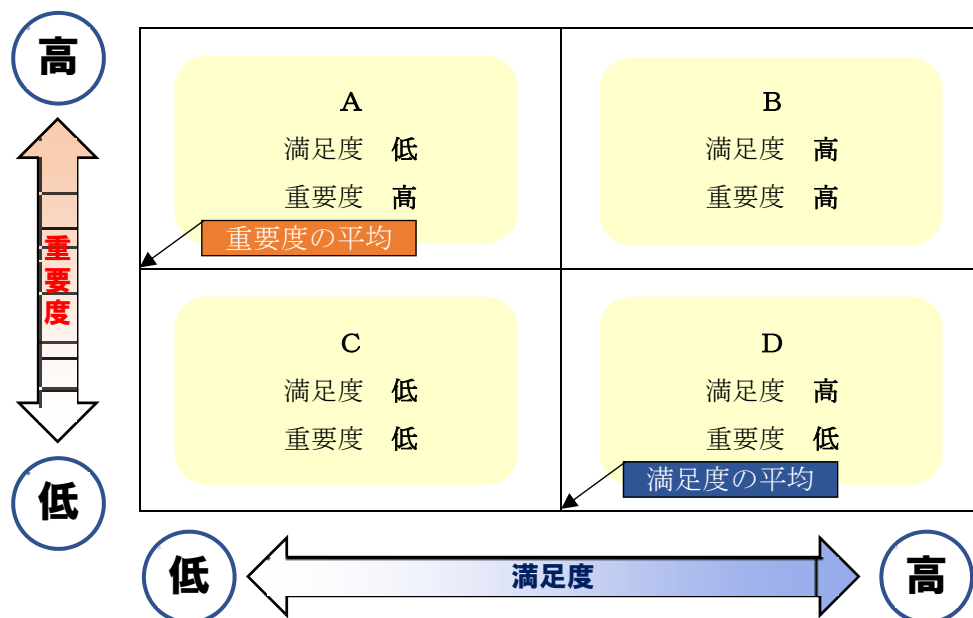
この計算から、満足度・重要度の平均点を算出し、取り組みごとの相対的な位置づけをより明ら
かにするために、全施策の平均点（重要度、満足度）の位置を軸としてグラフを作成しました。ま
た、各施策が属する 4 つの領域については、それぞれ、次のとおり位置づけています。

なお、取り組みの今後の方向性については、取り組みの重要度・満足度が低いとされた場合であ
っても、この結果だけでなく、将来を見据えた対応や緊急な対応の必要性などを考慮して検討を行
う必要があります。

2. グラフの見方

グラフは、縦軸に重要度、横軸に満足度を取り、各施策項目の点数を座標で示したものであり、満足度・重要度の平均を軸とし、各取り組みの方向性を4つの領域で示しています。

ただし、この領域は、あくまで相対的な位置関係を示すために便宜上設定した分類であるため、A～Dは絶対的な区分ではありません。



A. 重要度高・満足度低の領域（左上）

重要度が高いにもかかわらず、満足度が低く、優先して充実が求められている領域です。

B. 重要度高・満足度高の領域（右上）

満足度も重要度も高いため、継続して充実する必要がある領域です。

C. 重要度低・満足度低の領域（左下）

満足度も重要度も低いため、他の項目の優先順位を勘案しながら、満足度を向上していくべき領域です。

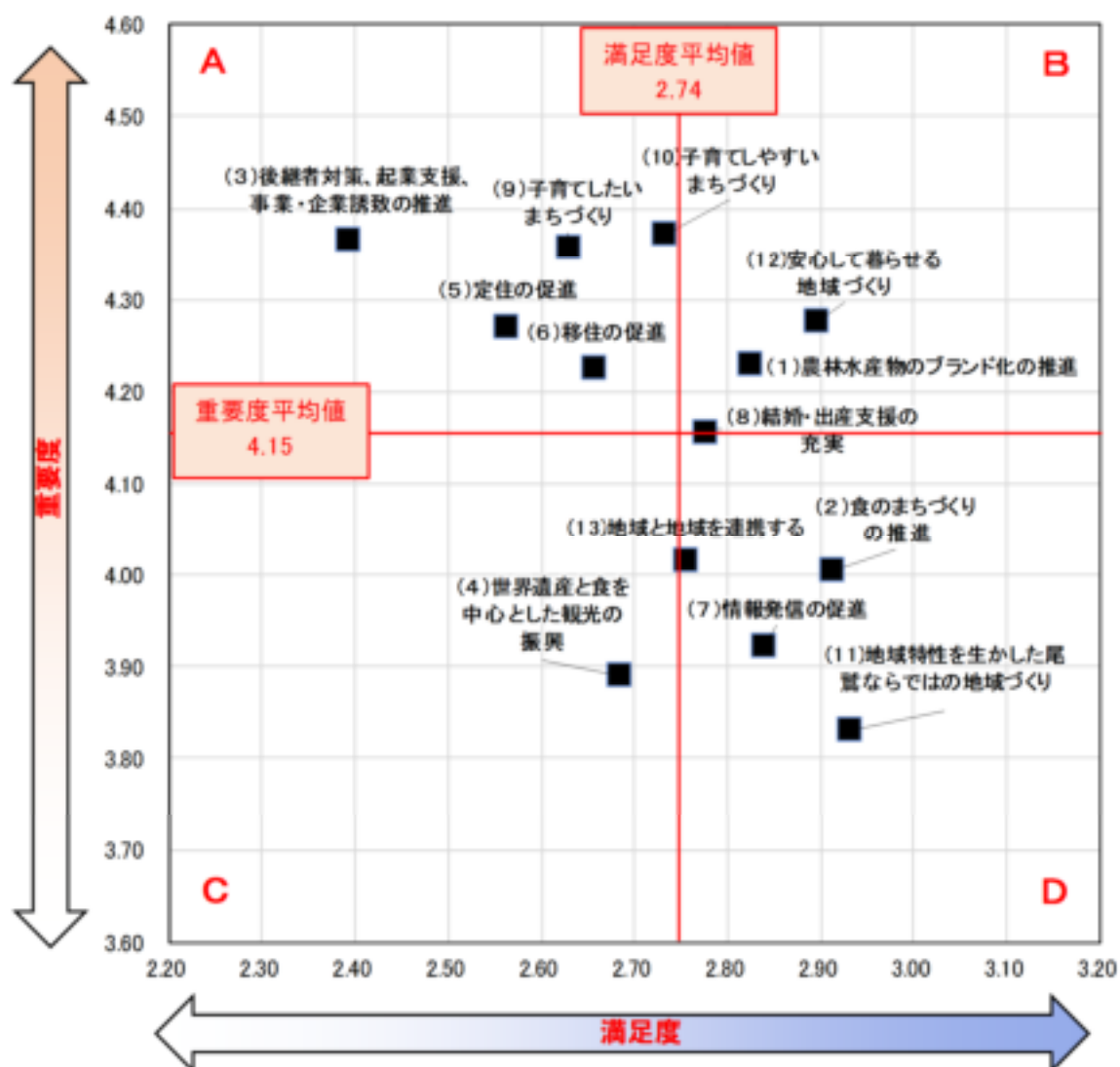
D. 重要度低・満足度高の領域（右下）

満足度は高く、重要度が低いため、今後場合によっては満足度の低い他の項目へ優先順位をシフトしていくことを検討する必要がある取り組みが属する領域です。

3. 満足度・重要度の散布図

満足度と重要度の散布図について、Aの領域に分類されているのは「(3)後継者対策、起業支援、事業・企業誘致の推進」、「(5)定住の促進」、「(6)移住の促進」、「(9)子育てしたいまちづくり」、「(10)子育てしやすいまちづくり」で、今後優先して充実することが求められている項目となります。

一方、重要度、満足度ともに高いBの領域には、「(1)農林水産物のブランド化の推進」、「(12)安心して暮らせる地域づくり」などの項目が分類されています。



■満足度・重要度一覧

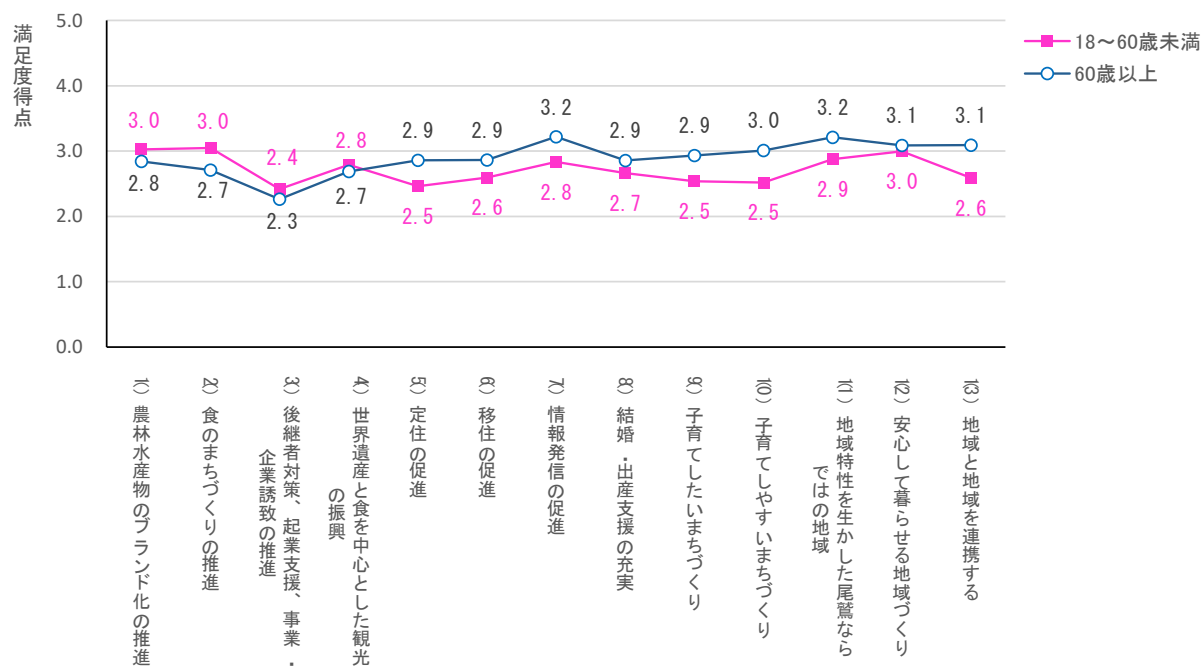
	満足度	重要度
(1) 農林水産物のブランド化の推進 農林水産業の振興を図り、地場産業の成長を支援。生産技術の高度化、高付加価値化など。	2.82	4.23
(2) 食のまちづくりの推進 尾鷲地域独特の食文化のPR、高付加価値化の取組を支援。食のイベント等の開催など。	2.91	4.00
(3) 後継者対策、起業支援、事業・企業誘致の推進 新規就業希望者の実地研修等、若い世代への受け入れ態勢の整備。農商工連携、6次産業化など。	2.39	4.36
(4) 世界遺産と食を中心とした観光の振興 着地型観光ツアー・各種イベント等の支援・実施。情報発信の充実など。	2.68	3.89
(5) 定住の促進 尾鷲高校との連携推進。若者の地域定着の推進など。	2.56	4.27
(6) 移住の促進 住まいや仕事探しの支援、移住相談、サポート体制の充実など。	2.66	4.23
(7) 情報発信の促進 尾鷲の自然や食などの魅力、移住者のライフスタイル等の生活情報を広く発信など。	2.84	3.92
(8) 結婚・出産支援の充実 結婚活動の支援、妊娠・出産に関する経済的負担の軽減及び妊娠期からの子育て支援など。	2.78	4.15
(9) 子育てしたいまちづくり 学校教育の充実、安心して子育てできる環境の構築、学力向上や情操教育の推進など。	2.63	4.36
(10) 子育てしやすいまちづくり 家庭、学校、職場、地域の連携による保育・教育環境の充実。延長保育などのサービス拡大など。	2.73	4.37
(11) 地域特性を生かした尾鷲ならではの地域づくり 各センター・コミュニティセンター機能の合理化・効率化。健康づくりの推進など。	2.93	3.83
(12) 安心して暮らせる地域づくり 防災体制の強化、防災訓練等による住民の防災・減災意識向上。安全安心な生活環境の確保など。	2.90	4.28
(13) 地域と地域を連携する 各地域間の交流等の連携強化。地域の実情に応じた移動手段の維持・確保など。	2.76	4.01

4. 満足度・重要度比較

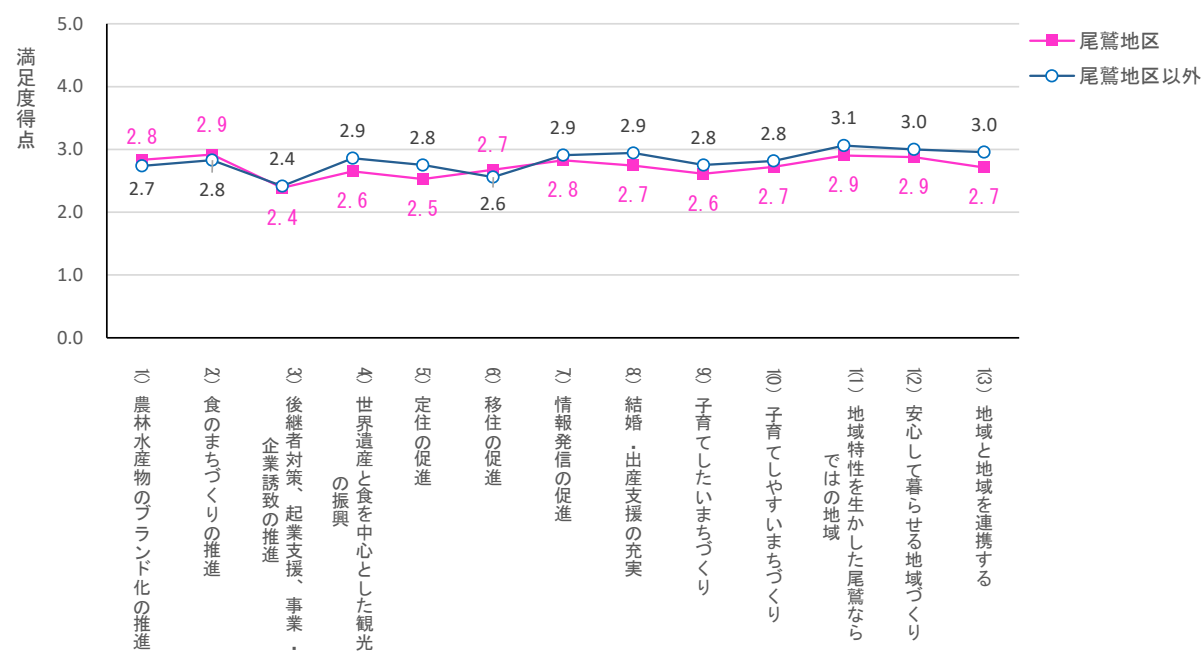
満足度について年齢別で比較すると、18～60 歳未満で得点が高いのは、「(1)農林水産物のブランド化の推進」、「(2)食のまちづくりの推進」、「(12)安心して暮らせる地域づくり」となっています。60 歳以上では、「(7)情報発信の促進」、「(11)地域特性を生かした尾鷲ならではの地域づくり」の得点が高くなっています。

居住地別での比較では、大きな得点差が見られませんが、「(3)後継者対策、起業支援、事業・企業誘致の推進」は尾鷲地区、尾鷲地区以外ともに低い満足度になっています。

■満足度 年齢階級別



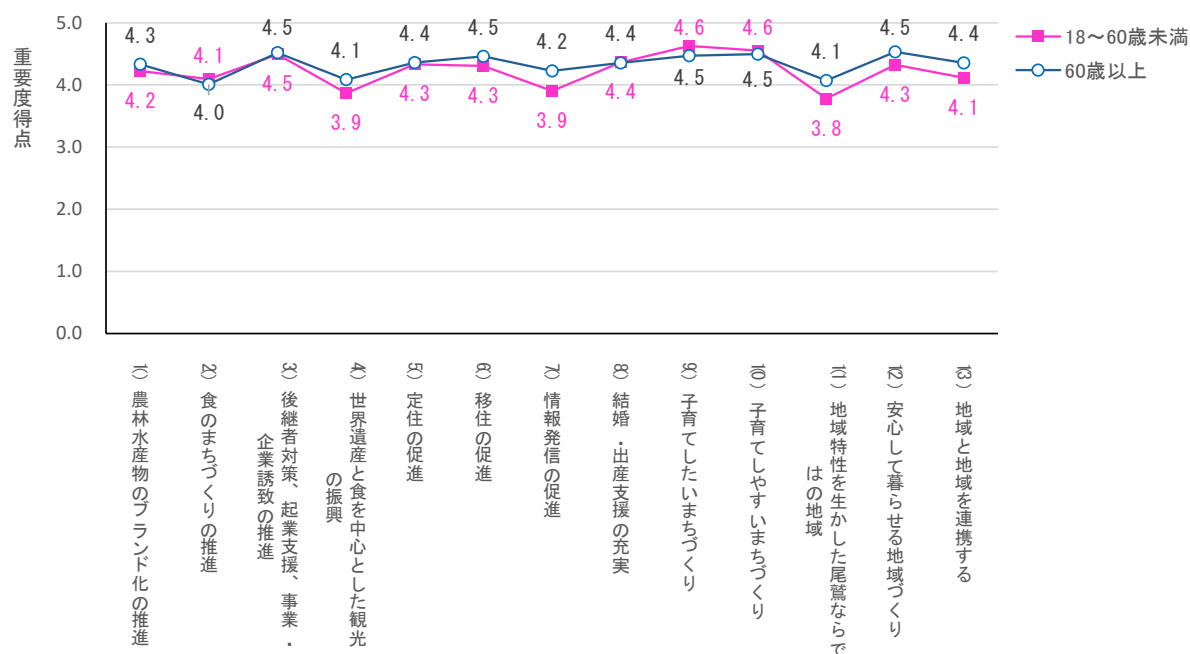
■満足度 居住地別



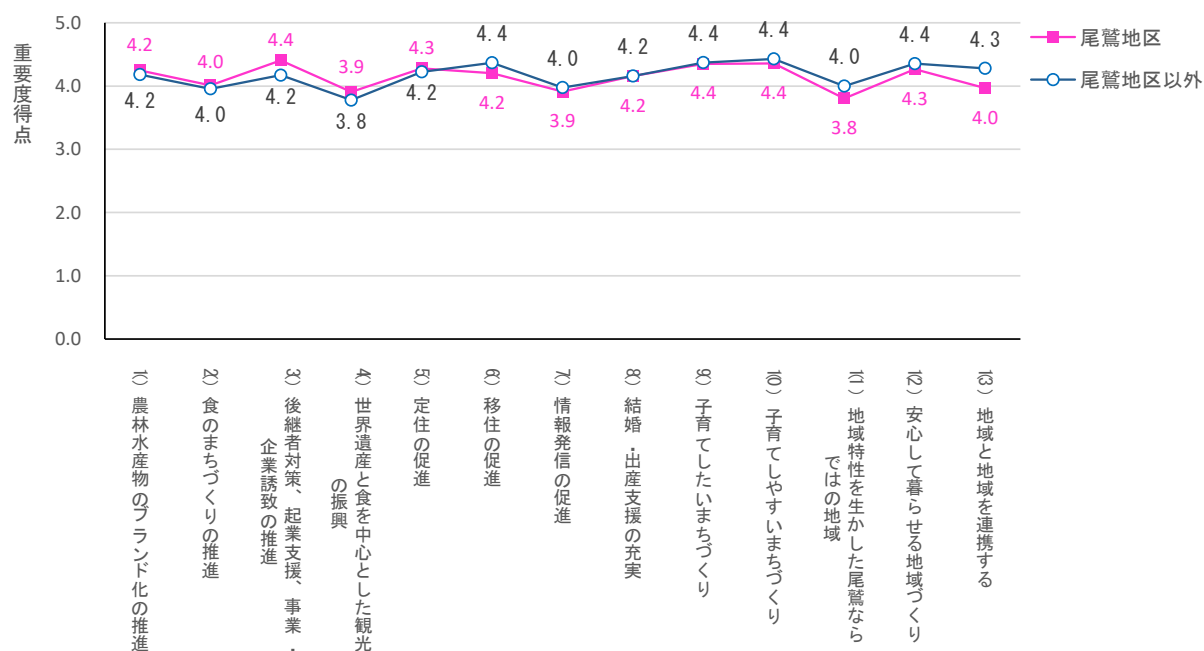
重要度について年齢別で比較すると、18～60 歳未満では、「(9)子育てしたいまちづくり」、
「(10)子育てしやすいまちづくり」の割合が高くなっています。

居住地別で比較すると、尾鷲地区、尾鷲地区以外ともに、「(9)子育てしたいまちづくり」
「(10)子育てしやすいまちづくり」の得点が高くなっています。

■重要度 年齢別



■重要度 居住地別



5. 個別の評価

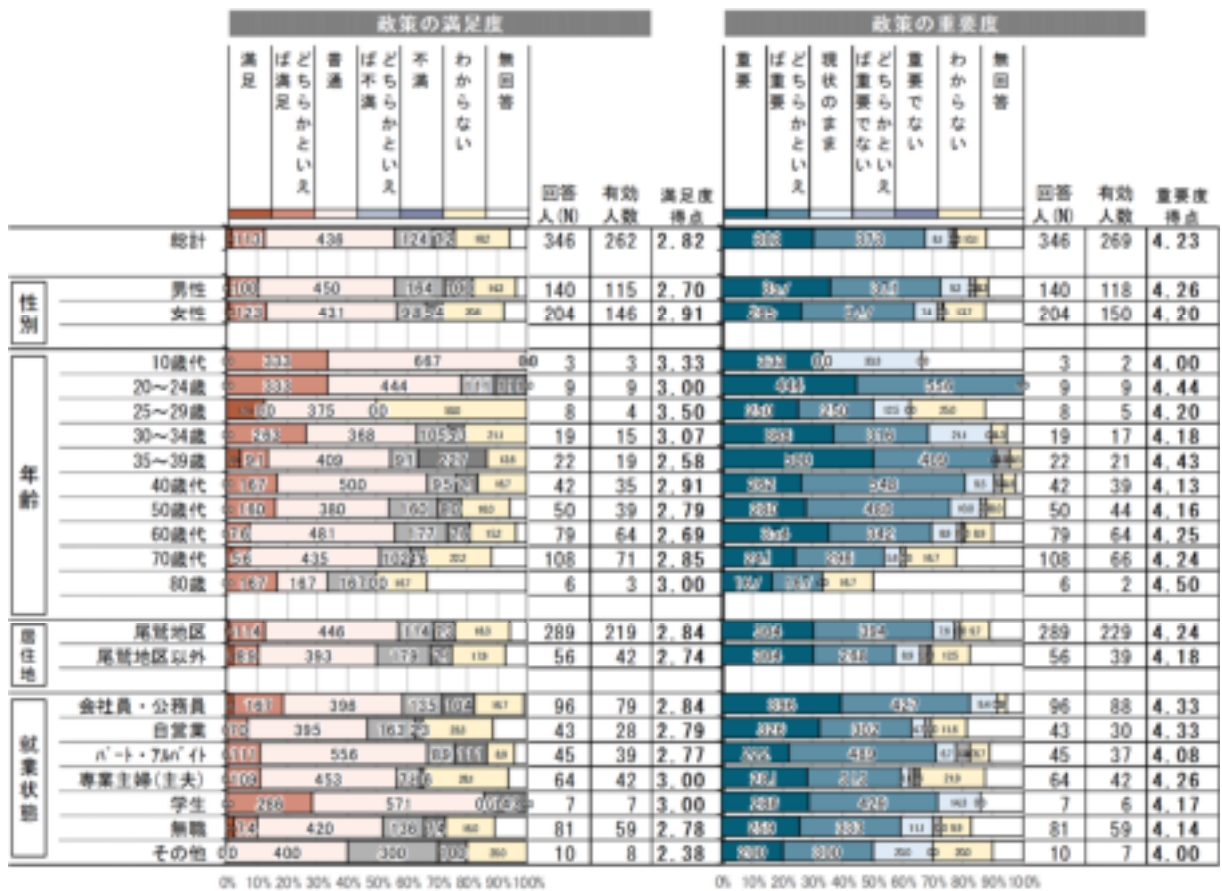
基本目標 1 安定した雇用を創出する

■問 11 (1) 農林水産物のブランド化の推進×属性クロス

農林水産物の振興を図り、地場産業の成長を支援。生産技術の高度化、高付加価値化など。

満足度を年齢別に見ると、年齢が若いほど「どちらかといえば満足」の割合が高い傾向があります。

重要度を年齢別に見ると、20～24 歳と 35～39 歳の年齢層で「重要」と考える割合が高くなっています。



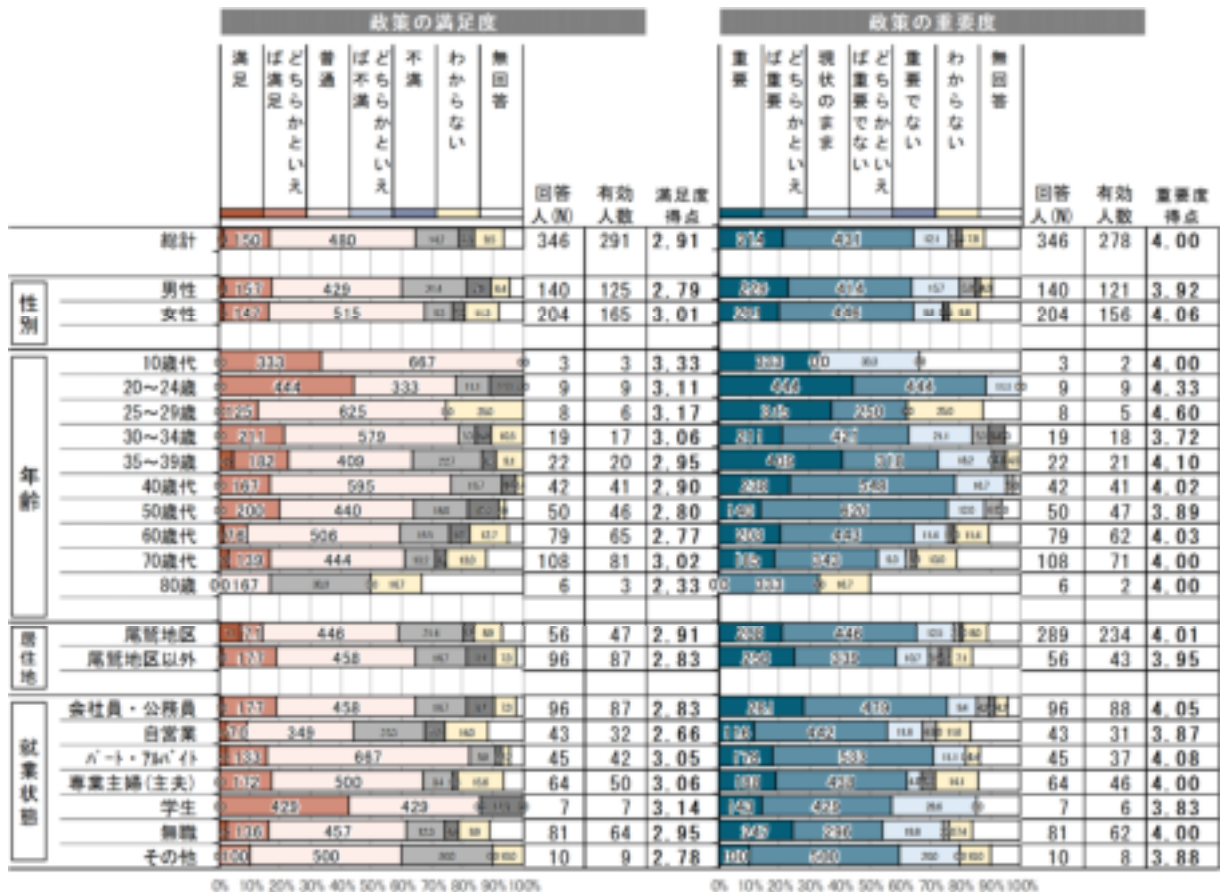
【注記】属性不明者があるため各属性の合計が総計とは異なる。

■問 11 （２）食のまちづくりの推進×属性クロス

尾鷲地域独特の食文化の PR、高付加価値化の取組を支援。食のイベント等の開催など。

満足度を年齢別に見ると、「どちらかといえば満足」の割合が高いのは、10 歳代と 20～24 歳、就業状態では学生と、若い世代の満足度が高い傾向があります。

重要度を属性別に見ると、「重要」と考えるのは 20～24 歳が最も高い割合になっています。



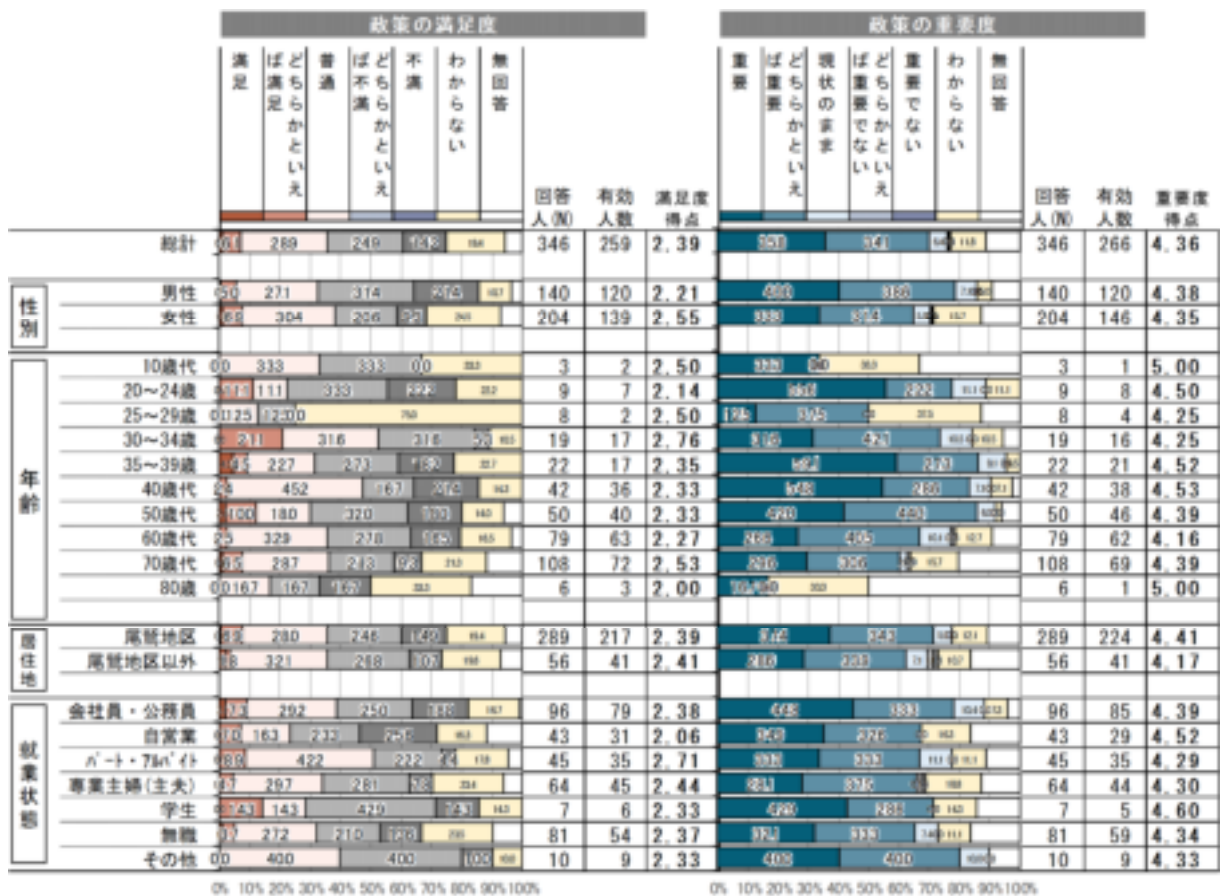
【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

■問 11 （３）後継者対策、起業支援、事業・企業誘致の推進×属性クロス

新規就業希望者の実地研修等、若い世代への受け入れ態勢の整備。農商工連携、６次産業化など。

満足度を属性別に見ると、属性による大きな傾向は見られませんが、どの属性においても、「どちらかといえば不満」、「不満」の割合が高い傾向があります。

重要度を年齢別に見ると、20～24 歳、35～39 歳、40 歳代で「重要」とする割合が高くなっています。



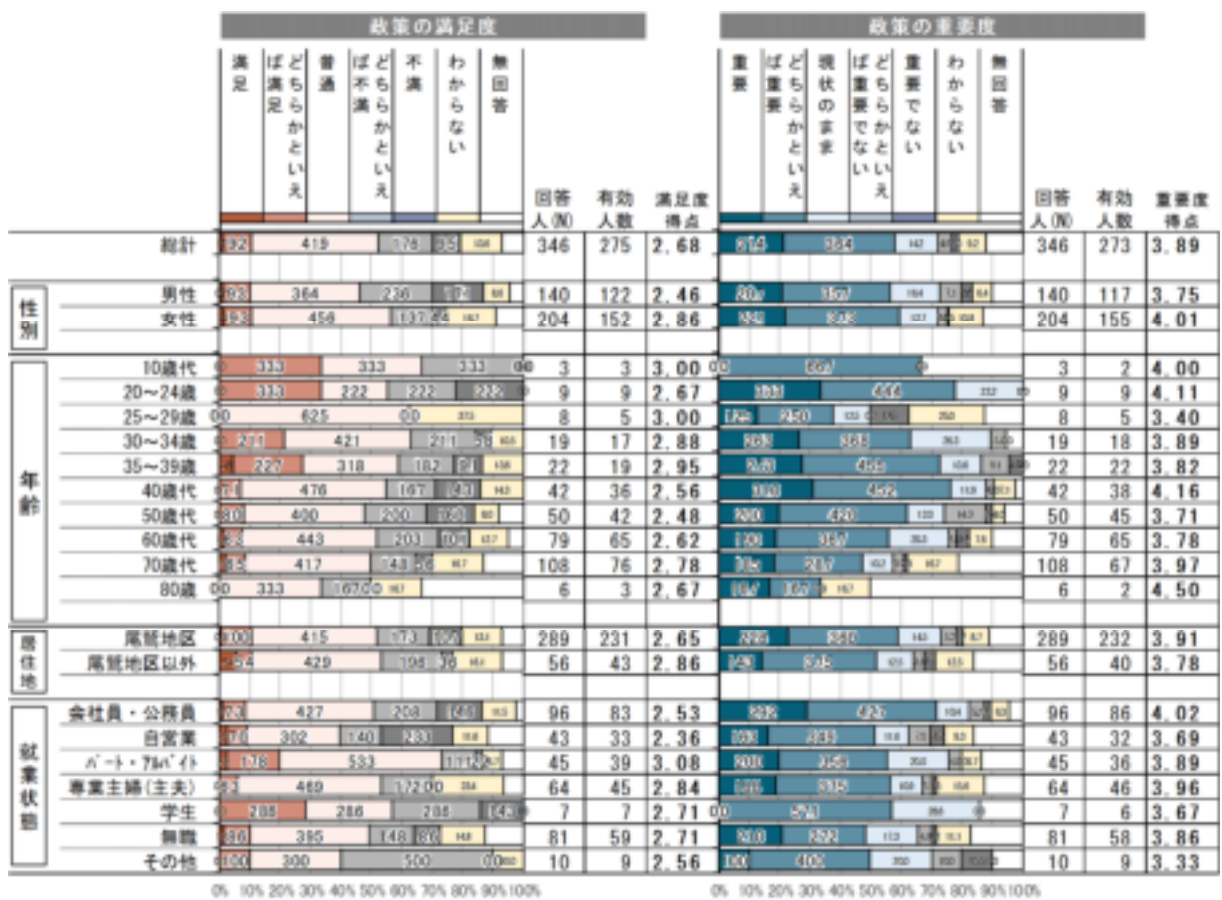
【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

■問11 （４）世界遺産と食を中心とした観光の振興×属性クロス

着地型観光ツアー・各種イベント等の支援・実施。情報発信の充実など。

満足度を年齢別に見ると、10歳代、20～24歳で「どちらかといえば満足」の割合が高くなっています。また就業状態別において学生の割合も高く、若い世代の割合が高い傾向が見られます。

重要度を年齢別に見ると、年齢が高いほど、「重要」、「どちらかといえば重要」の割合は低くなる傾向があります。



【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

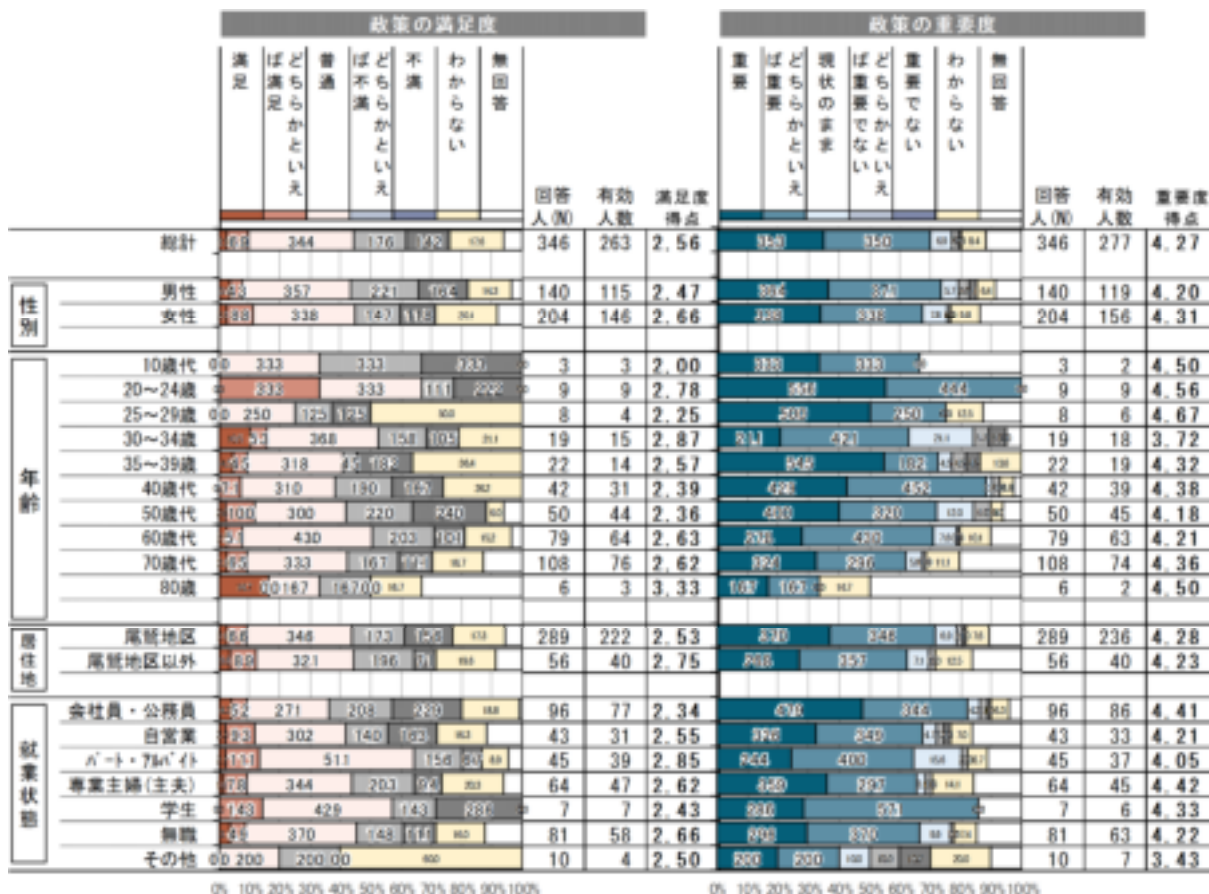
基本目標2 新しいひとの流れをつくる

■問11 (5) 定住の促進×属性クロス

住まいや仕事探しの支援、移住相談、サポート体制の充実など。

満足度を年齢別で見ると、20～24歳で「どちらかといえば満足」の割合が高くなっています。

重要度を年齢別で見ると、20～24歳、25～29歳と20代で「重要」と回答する割合が高くなっています。



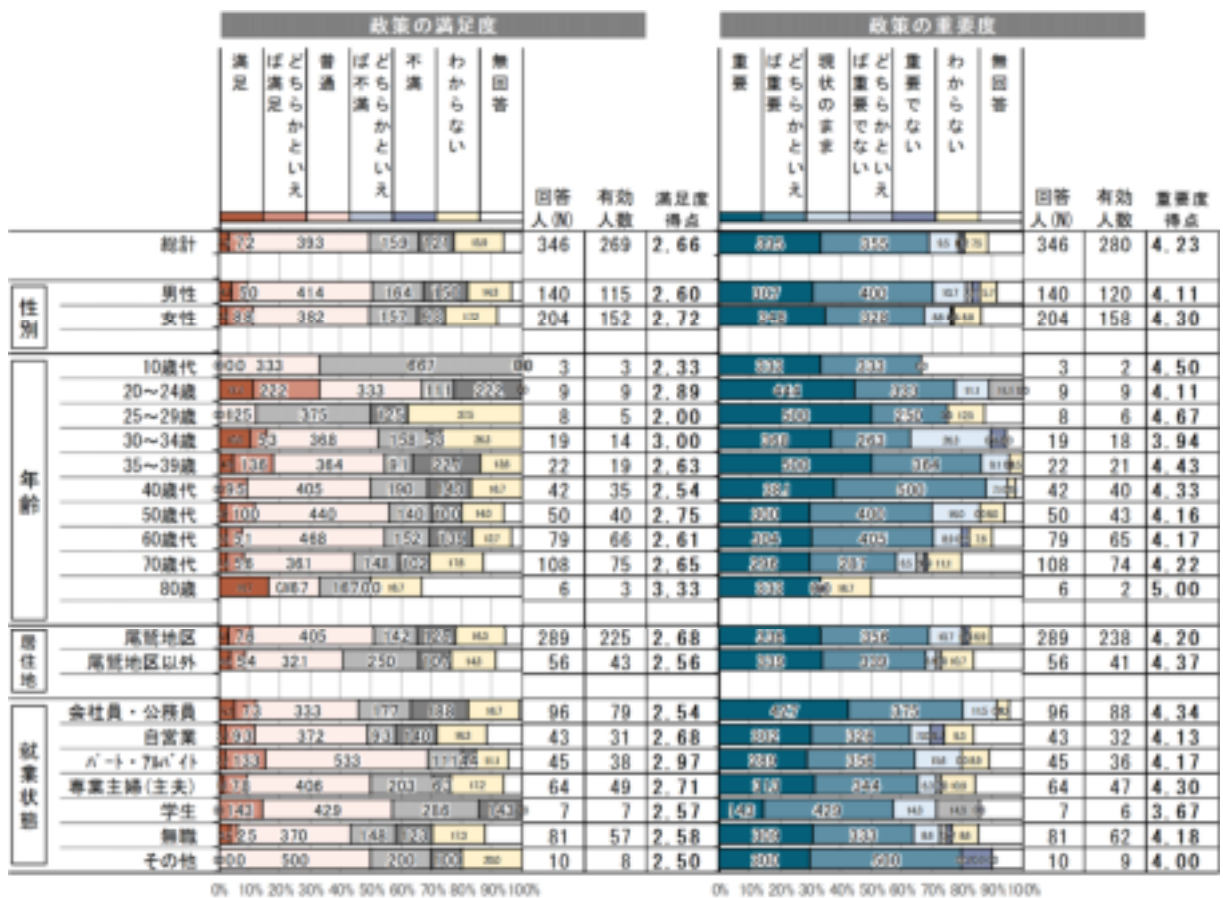
【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

■問 11 （6）移住の促進×属性クロス

住まいや仕事探しの支援、移住相談、サポート体制の充実など。

満足度を年齢別に見ると、20～24 歳で「満足」、「どちらかといえば満足」の割合が高くなっています。

重要度を年齢別に見ると、20～24 歳、25～29 歳、35～39 歳、40 歳代で「重要」、「どちらかといえば重要」と回答する割合が高くなっています。



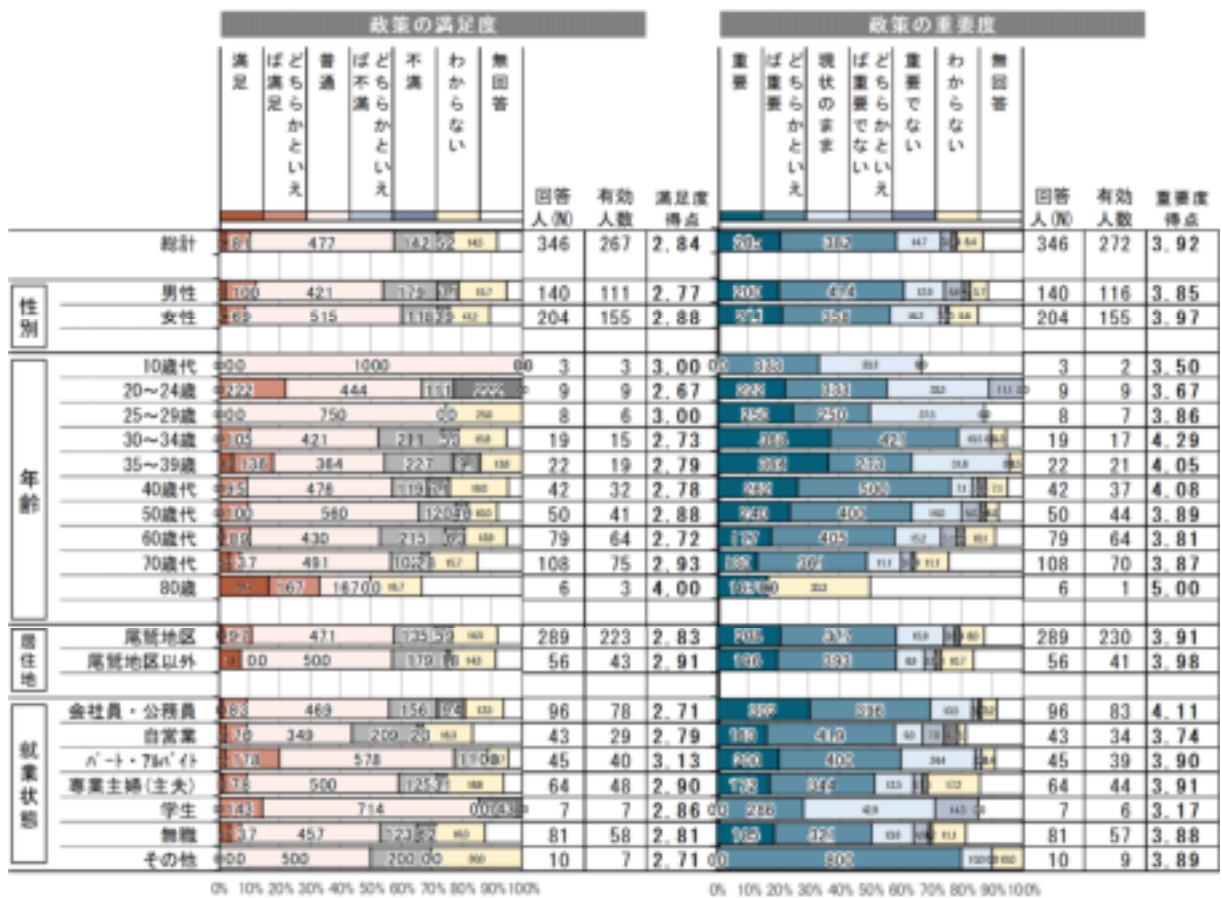
【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

■問 11 （7）情報発信の促進×属性クロス

尾鷲の自然や食などの魅力、移住者のライフスタイル等の生活情報を広く発信など。

満足度を年齢別に見ると、80歳で「満足」、「どちらかといえば満足」と回答する割合が高くなっています。

重要度を年齢別に見ると、30～34歳が「重要」、「どちらかといえば重要」と回答する割合が最も高く、年齢が高いほど「重要」の割合は低くなる傾向があります。



【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

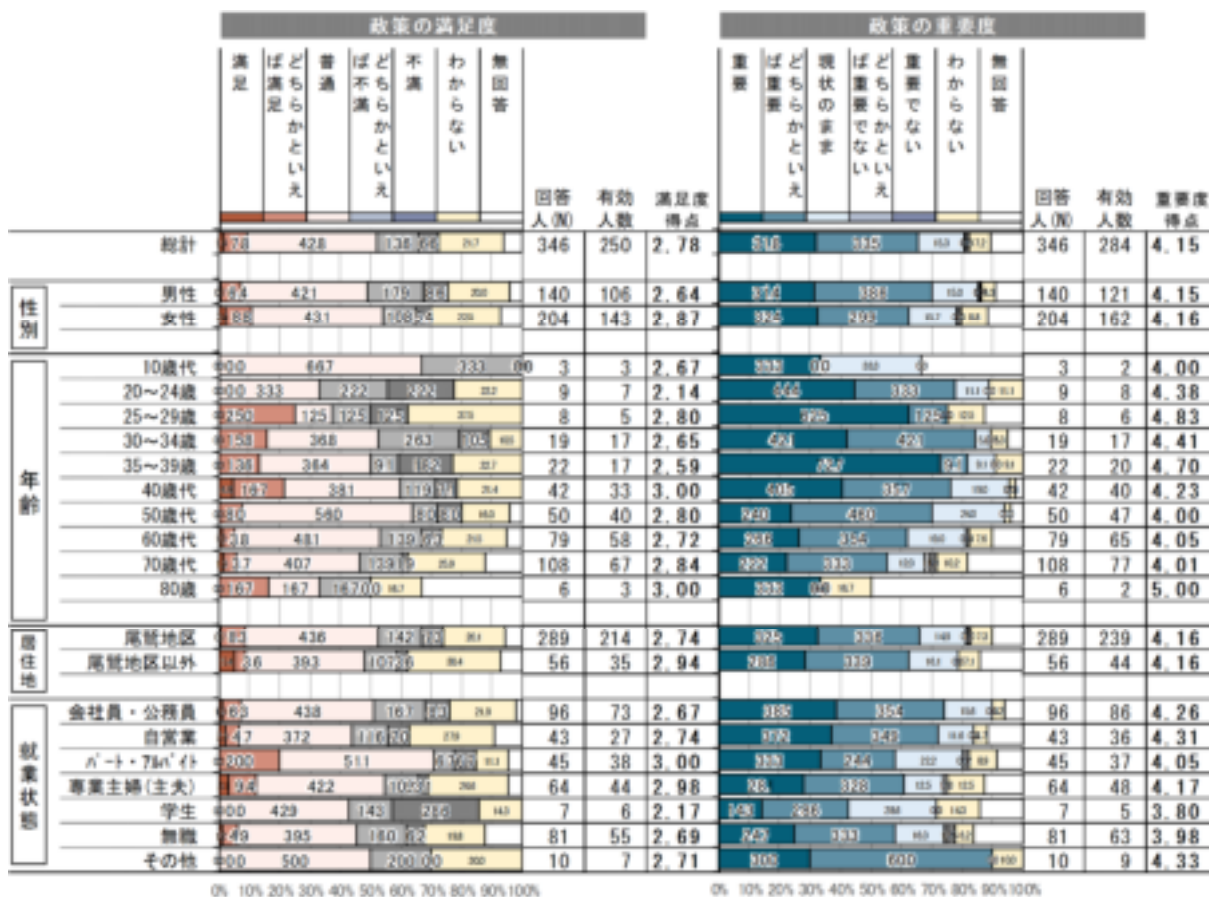
基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

■問11 (8) 結婚・出産支援の充実×属性クロス

結婚活動の支援、妊娠・出産に関する経済的負担の軽減及び妊娠期からの子育て支援など。

満足度を年齢別に見ると、25～29歳、40歳代で「どちらかといえば満足」と回答する割合が高くなっています。

重要度を年齢別に見ると、25～29歳、35～39歳で「重要」とする割合が高くなっています。



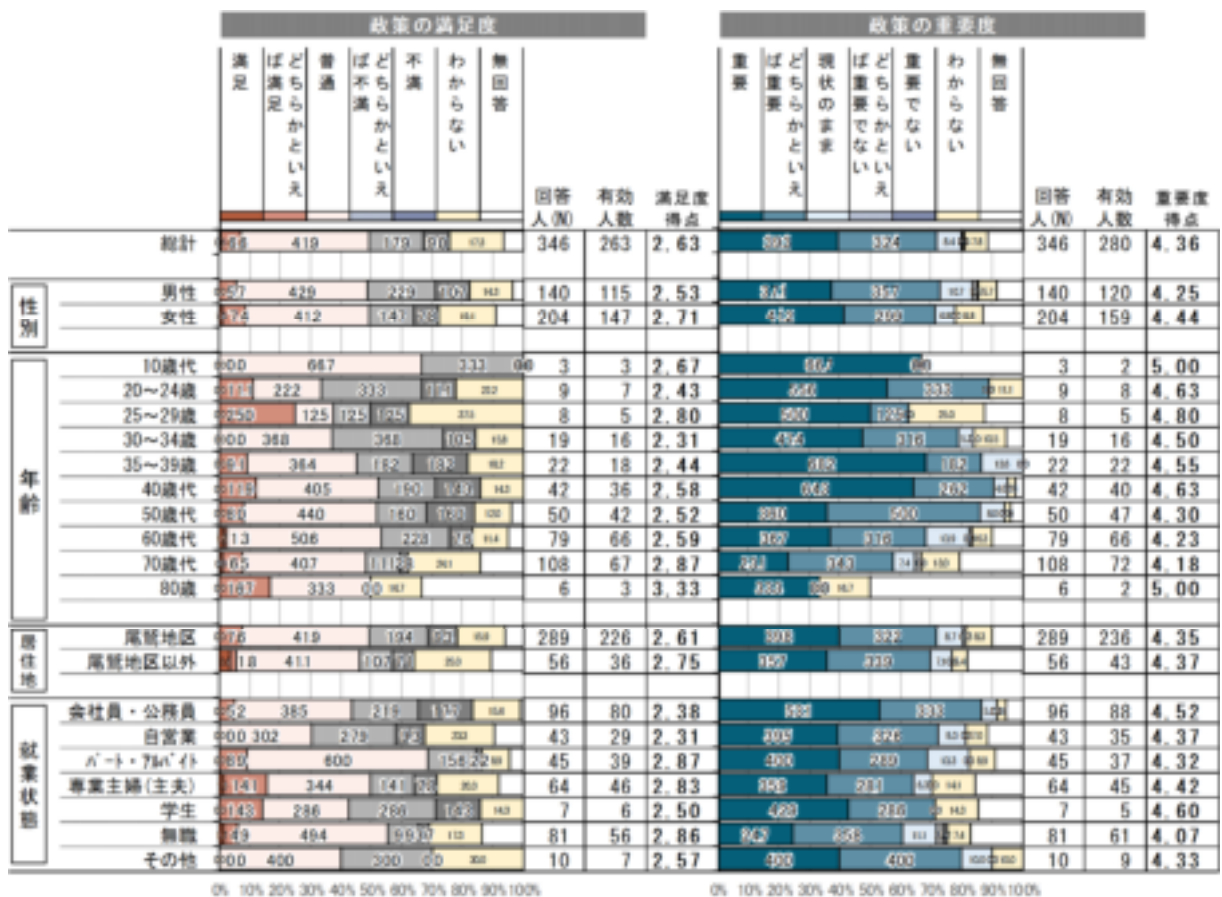
【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

■問 11 （9）子育てしたいまちづくり×属性クロス

学校教育の充実、安心して子育てできる環境の構築、学力向上や情操教育の推進など。

満足度を年齢別に見ると、「満足」、「どちらかといえば満足」を合わせると、40 歳代、50 歳代、60 歳代が高い割合になっており、現在子育て時期の 20～24 歳、30～34 歳では「どちらかといえば不満」、「不満」の割合が高くなっています。

重要度を年齢別に見ると、35～39 歳、40 歳代で「重要」と回答する割合が高くなっています。



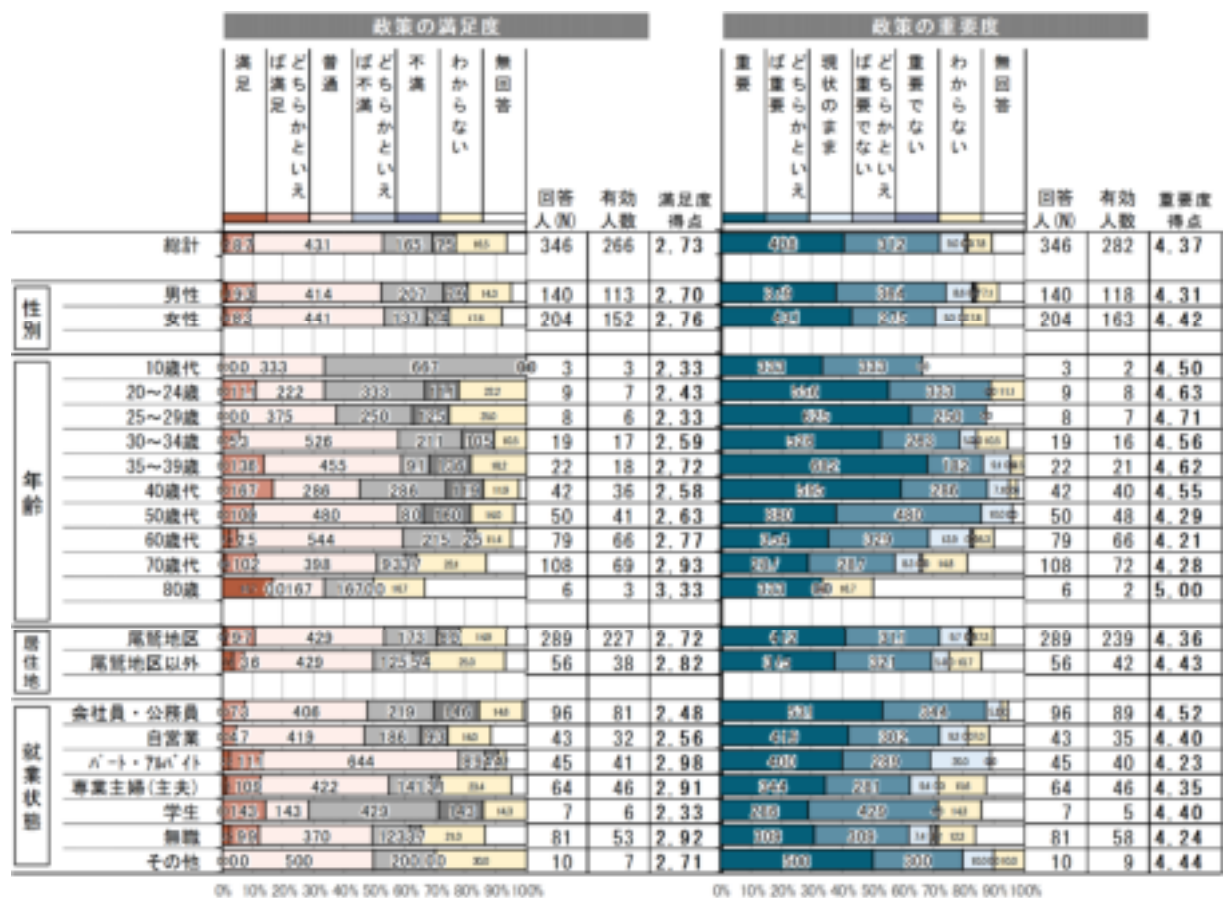
【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

■問 11 (10) 子育てしやすいまちづくり×属性クロス

家庭、学校、職場、地域の連携による保育・教育環境の充実。延長保育などのサービス拡大など。

満足度を年齢別に見ると、10 歳代、20～24 歳、25～29 歳、40 歳代で「どちらかといえば不満」「不満」と回答する割合が高くなっています。また、就業状態別では学生が「どちらかといえば不満」「不満」と回答する割合が高くなっています。

重要度を年齢別に見ると、25～29 歳、35～39 歳が「重要」とする割合が高く、年齢が高くなるにしたがって低い割合になります。



【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

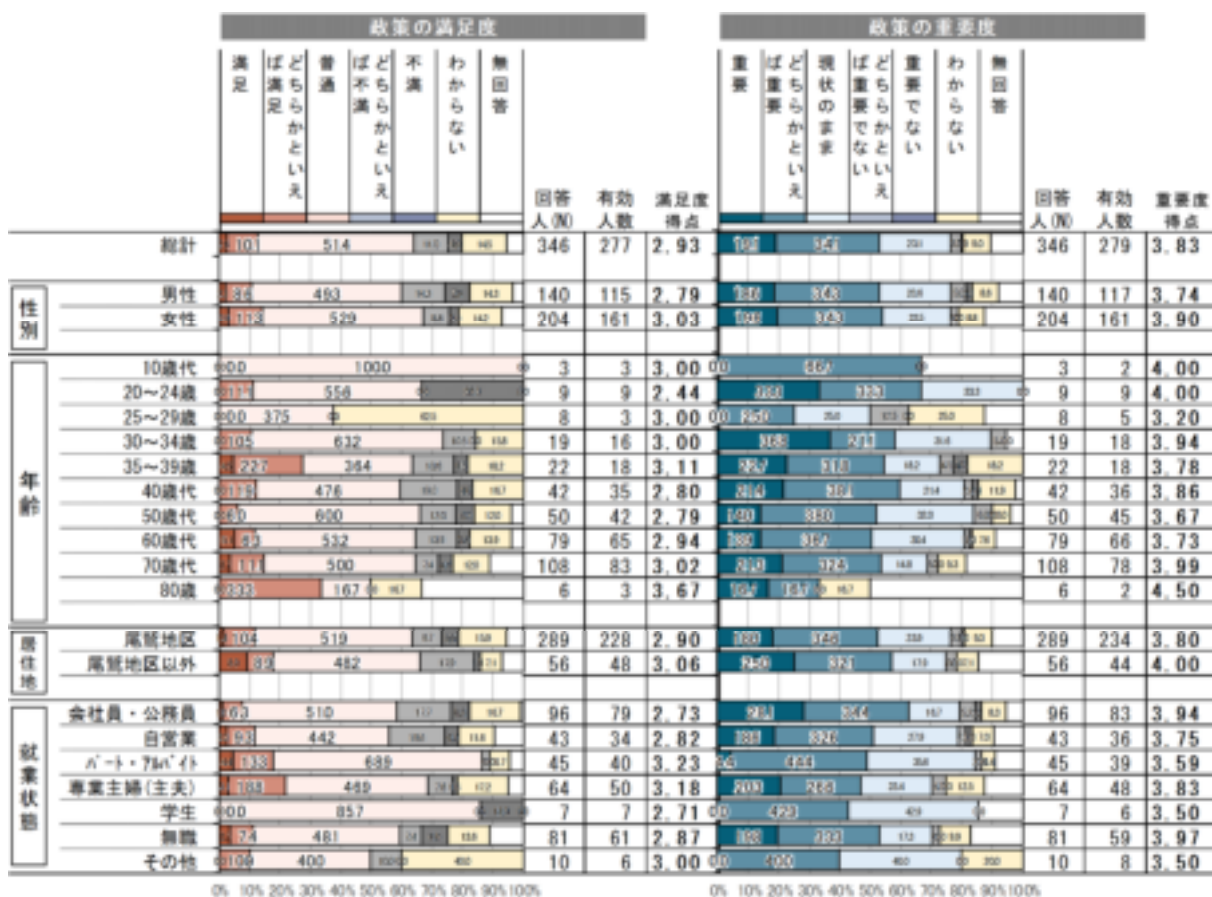
基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

■問 11 (11) 地域特性を生かした尾鷲ならではの地域づくり×属性クロス

各センター・コミュニティセンター機能の合理化・効率化。健康づくりの推進など。

満足度を年齢別に見ると、35～39 歳、80 歳で「どちらかといえば満足」と回答する割合が高くなっています。

重要度を属性別に見ると、全属性で「どちらかといえば重要」とする回答が多く見られます。



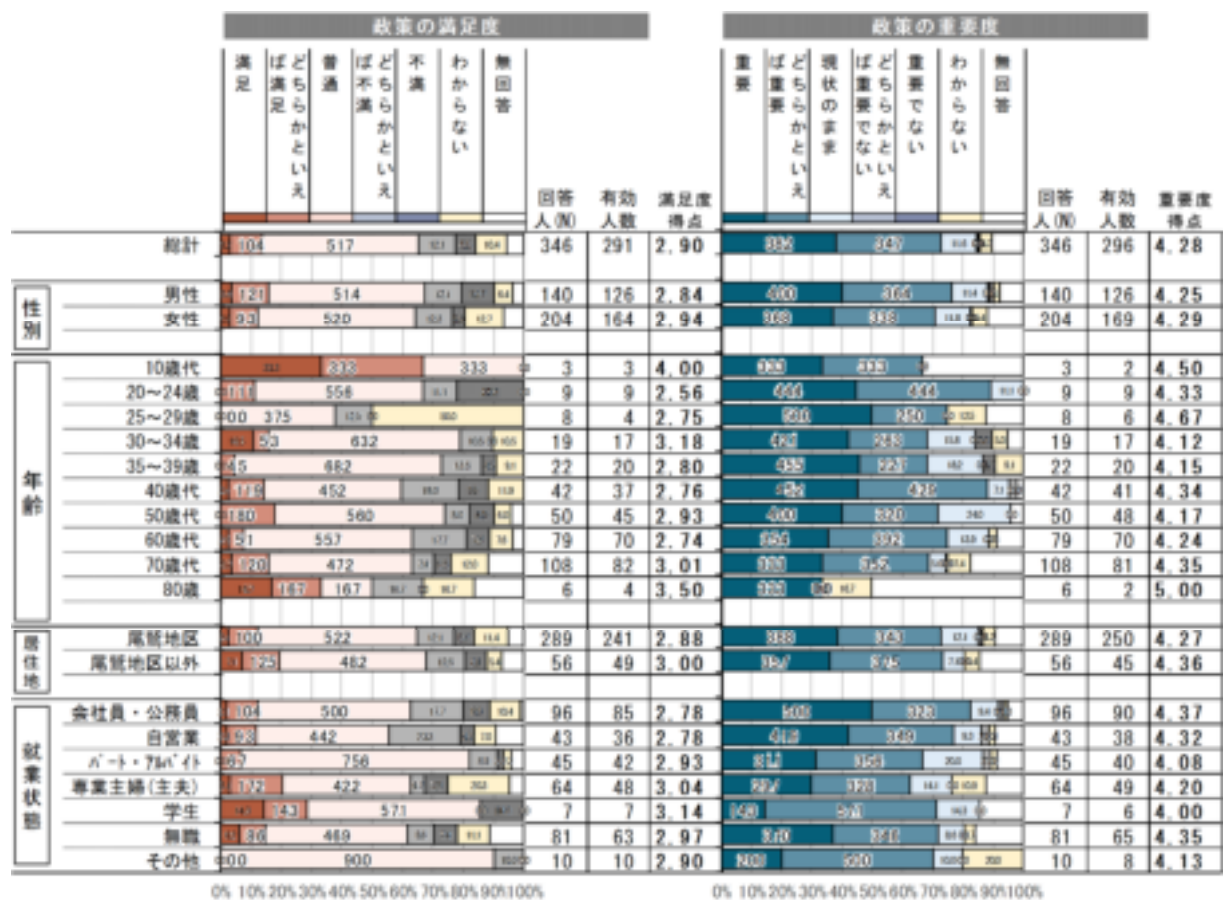
【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

■問 11 (12) 安心して暮らせる地域づくり×属性クロス

防災体制の強化、防災訓練等による住民の防災・減災意識向上。安全安心な生活環境の確保など。

満足度を年齢別に見ると、回答者数は少ないものの10歳代では「満足」、「どちらかといえば満足」と回答する割合が高くなっています。

重要度を年齢別で見ると20～24歳、40歳代が「重要」、「どちらかといえば重要」と回答する割合が高くなっています。



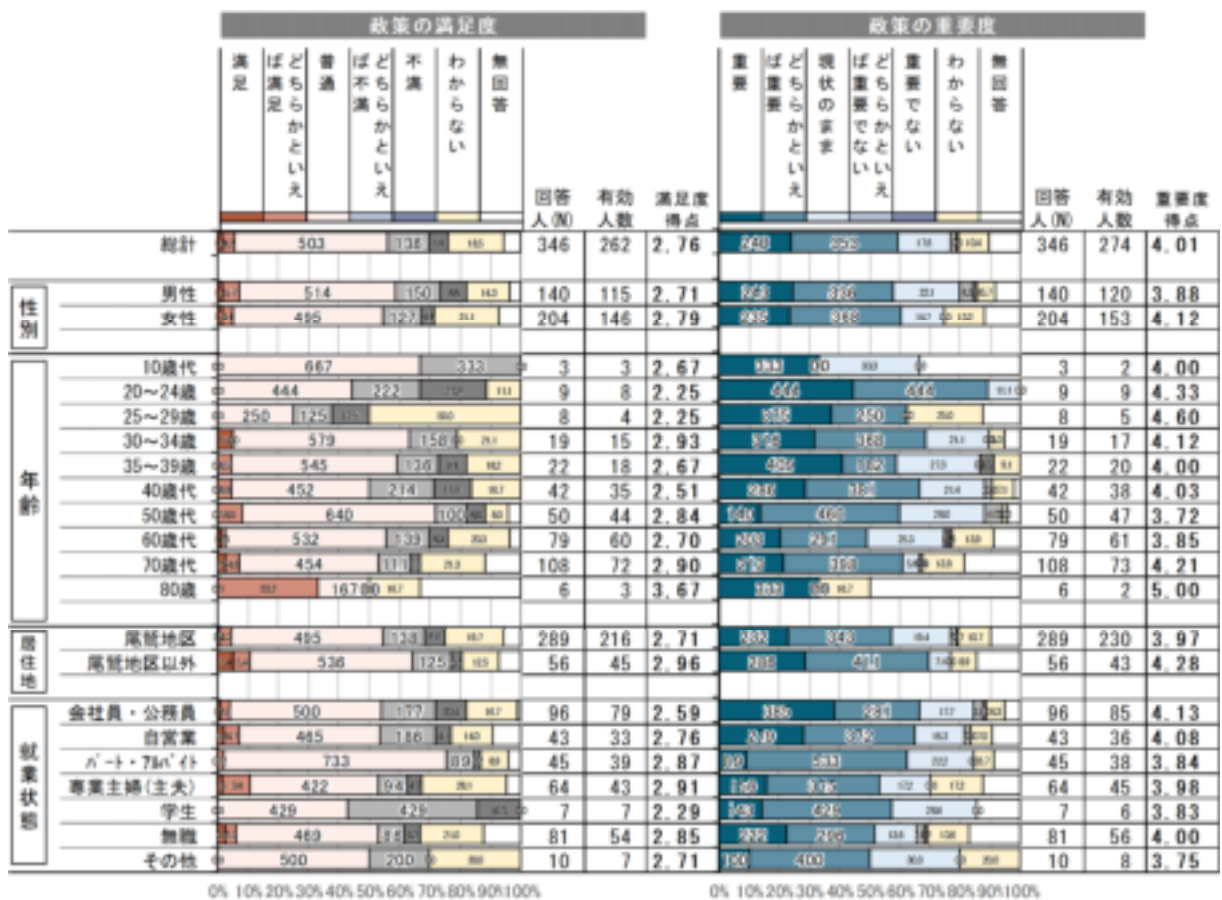
【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

■問 11 （13）地域と地域を連携する×属性クロス

各地域間の交流等の連携強化。地域の実情に応じた移動手段の維持・確保など。

満足度を年齢別に見ると、80 歳では「どちらかといえば満足」と回答する割合が高くなっています。また 20～24 歳では「どちらかといえば不満」、「不満」の割合が高くなっています。

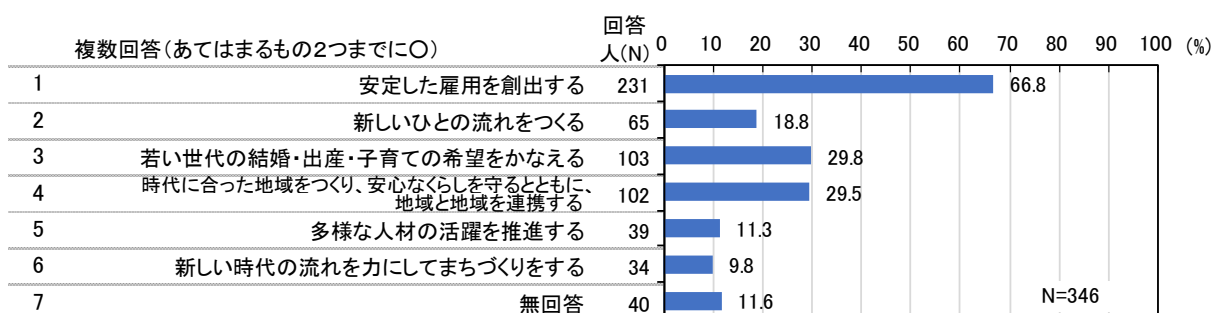
重要度を属性別に見ると、20～24 歳は「重要」、「どちらかといえば重要」と回答する割合が高くなっています。



【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

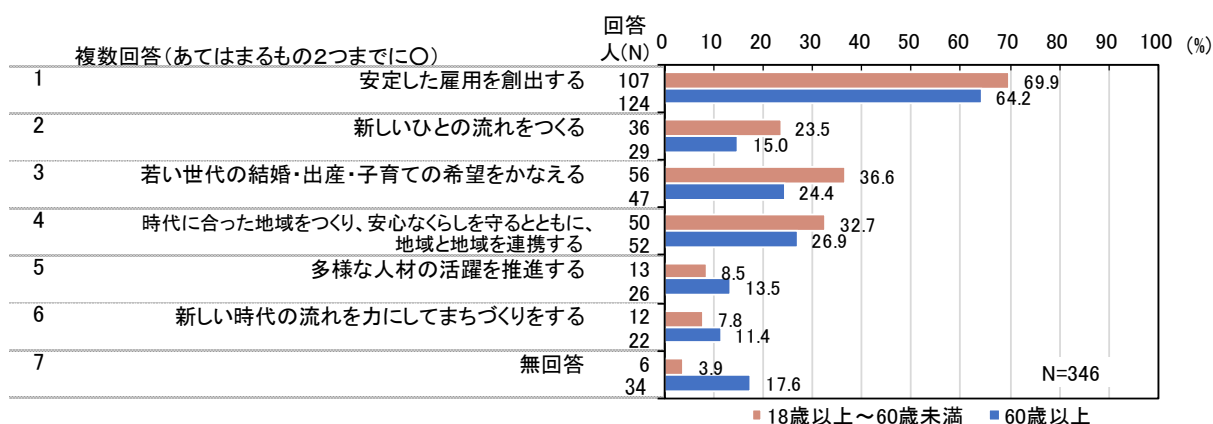
問 12 人口減少対策として、今後、どのような施策に重点的に取り組むべきと思いますか。
(2つまでに○)

項目別に見ると、「安定した雇用を創出する」66.8%が最も高く、次いで「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」29.8%、「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」29.5%となっています。



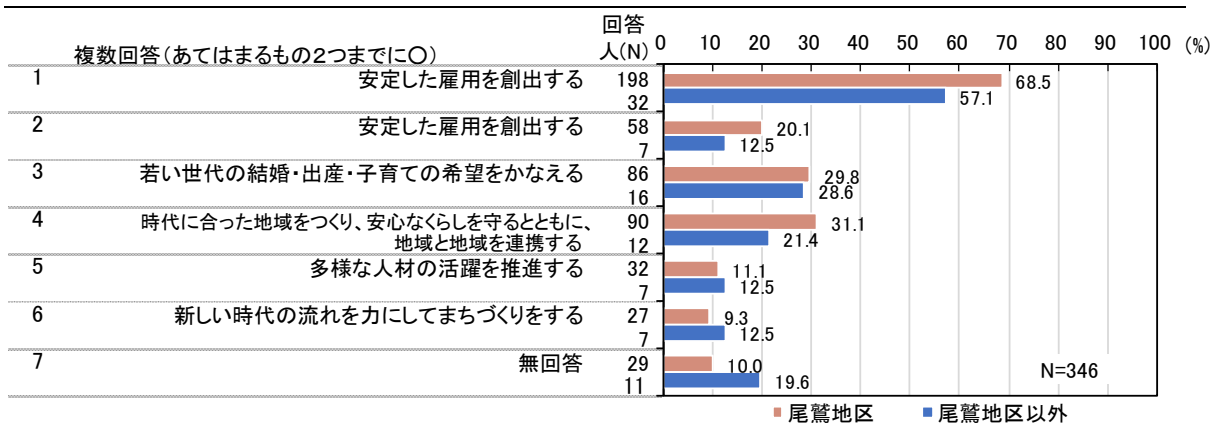
■問 12 × 年齢クロス

年齢別に比較すると、18歳以上～60歳未満では、「安定した雇用を創出する」、「新しいひとの流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」の4項目の割合が高くなっています。60歳以上では、「多様な人材の活躍を推進する」、「新しい時代の流れを力にしてまちづくりをする」の2項目の割合が高くなっています。



■問 12 ×居住地クロス

居住地別で比較すると、尾鷲地区では、「安定した雇用を創出する」、「新しいひとの流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」の4項目の割合が高くなっています。尾鷲地区以外では、「多様な人材の活躍を推進する」、「新しい時代の流れを力にしてまちづくりをする」の2項目の割合が高くなっています。



(9) 尾鷲三田火力発電所の跡地利用について伺います

問 13 現在、尾鷲三田火力発電所の跡地利用計画『おわせ S E A モデル グランドデザイン』が策定されています。計画では、

S 集客交流人口拡大（サービス・コンテンツの充実で市民も観光客も楽しめる場所へ）

E 新たなエネルギーの活用（再生可能エネルギーを活用した新たなエネルギー発生基地へ）

A 働く場所・雇用の創出（尾鷲の恵みと新たなエネルギーの有効活用で新ビジネスの創出へ）

を目的としています。

あなたは、上記のそれぞれについて、どのような施設、機能、活動ができればよいと思いますか。ご自由にお書きください。

S 集客交流人口拡大	
1	ショッピングモール等
2	有料海上公園か水族館
3	コストコ、IKEA など魅力ある施設の誘致。大規模な総合運動場をつくる。
4	紀北町のようなキャンプ場、スーパーセンター
5	奈良県まで道路を開通させれば、大阪、奈良、京都などからの人の交流が増え人口の拡大につながります。
6	海が近すぎて箱をつくるのはどうかと思います。
7	運動ができる公園
8	公園、テーマパーク、憩いの場
9	つり公園と多目的公園と尾鷲の食を楽しめるレストランを作る。
10	津波対策がなければかんがえられない。
11	サザエ、アワビ等の養殖。釣りができる場所。
12	子どもも大人も楽しめるアスレチックやジム、プールを備えた施設。
13	静岡県の沼津や焼津にあるような「魚」の魅力をアピールできるような食の集客施設の建設。
14	いらない。
15	くらげの水族館。貸しギャラリー(美術館を兼ねてもよいかも)。
16	せっかく海が有るのだから家族づれで楽しめるような施設が出来れば良いと思う。
17	地産地消の特産物の売出
18	広い公園(スポーツができ遊具がたくさんある)
19	集客が常に臨めるような場所を考える。
20	自然公園
21	キャンピング海山のような宿泊施設、釣りや潮干狩りなどのレジャーを楽しめる体験型のレジャー施設、他地域からの観光客を誘致できるように。
22	万全な津波対策が大前提。スポーツ施設の集約。
23	他地域の方利用できる施設(合宿や遠征、研修所などとして利用できるもので)。他地域も地元の方々も通える大学、専門学校(そこからの就職先も)。
24	看護大学誘致、屋台村
25	総合福祉センター
26	東南海地震が過ぎるまで検討しておく。
27	海上自衛隊等
28	広い公園、駐車場の整備、スポーツ施設の充実
29	今までにないまったく新しい施設
30	市民(特に高齢者)が気楽に行けるような公園や軽スポーツができる施設や簡単な飲食ができる施設を作る。(高齢者が移動できる手段を合わせ工夫する必要あり)
31	世界遺産熊野古道を生かした取り組みをもっともっとやるべき。
32	地産地消を生かしたレストランなど。公園や雨の日でも利用できる室内施設があればよい。
33	いただき市とは別に尾鷲(輪内も含め)の B 級グルメや熊野古道センターでするマルシェなどがあつたら良い。(各店舗のまかないグルメも良い)
34	観光客も楽しめる、と言うならコロナ対策は徹底してほしいです。(まずは市民のことを考えてほしい)
35	これしかないでしょう！あとは内容しだい。
36	大型アミューズメント施設の誘致、キャンピングカートのための有料コンセント設備、ラウンドワンなど観光ホテルの誘致、キッズニア。
37	複合型商業施設
38	避難場所確定の上での使用だと思います。

39	子どもが遊べる公園や場所が欲しい。
40	芸能人のイベント、フリーマーケット、観覧車の1つでもある遊園地、尾鷲のシンボルとなり松阪～新宮の人も来てくれる。
41	伊勢のおはらい町のような尾鷲の町なみをつくり集客交流人口を拡大する。
42	人口の減少が止まらない。
43	高速道路もほぼ完成したのだから、議員先生、商工会諸氏、知恵をしばって下さい。
44	水族館または複合エンターテインメント空間。
45	ドックラン
46	観光、尾鷲市の見所、体験できる所など。川の整備(矢の浜)、宿泊所(キャンプ施設)
47	源泉おわせ温泉プール、遊散歩公園。
48	車中での映画が見れる施設、観光客は集めたいけどコロナがあるから。
49	S・E・A 全て今以上の充実を期待しますが、一番必要だと思うのは、市民が健康的に自由に憩うことができる場所にしていきたい。体、心、頭を高めることができる場にしていきたい。市民が自分の街を誇れることが大事で、それがあれば他所からの人がおのずと集まってくる。その先頭に立ってプライドを持って市職員が全力で働くことを期待します。
50	人口オーナスの現社会で新たな施設を作り、そこに投資(税金投入)しても後世につけを残すだけでは？全国でも箱物を作り、維持管理に費用(税金)が掛かっているのが現状では？(民間が施設を作るのであれば別だが)
51	外部の人を引きよせる他には無い魅力を備えた施設を思い切って設置すべきです。
52	42号でバスは見るものが出来なくなりました。市はまだ集客交流人口拡大を考えているなんて。
53	集客は尾鷲らしさをだした、どこにもないものを作り、「遠出しても行きたいと思える場所」が良いと思います。
54	SNS 映える風景があると思うので、上手にそれを活用する。例えば、映画やTV 撮影を呼ぶなど。その後をうまく活用する。海外へも発信。広報宣伝活用。
55	外部の人だけでなく、市民も利用、楽しめる場所
56	マリーナ、スポーツジム
57	大型ショッピングセンター
58	ヤーヤ祭は、テレビでも放映され知られているが、毎年同じやり方で何の工夫もされていない。もう少し工夫をし集客を図る必要が有る。
59	簡単なことでない。継続管理を考えるべき。「欲しい」だけではダメ。後世につけを残すな。まず魅力づくりに汗をかくべき。
60	三重北部から休日に紀伊長島のマンボウに来た人達は尾鷲に来てもさほど変わらないのでと帰っていく。
61	テーマパーク、ショッピングモール、アスレチック、プール、尾鷲でしか体験できないもの。
62	イオンモールなど大型の商業施設
63	若者が集まれるような手軽な TAKEOUT や軽食などの SHOP。
64	総合運動施設
65	跡地利用の計画を全く進まずと聞いた。
66	市民が交流できる公園。雨の日でも遊べる尾鷲ひの木を利用した木のおうち。
67	現在の尾鷲市において、実施していない、実施できない土地利用をこの跡地で実現して欲しい。南北の IC が接続された後の尾鷲らしさを発信できるコンテンツが必要。
68	子どもが遊べる場所。イベントが開催できる場所。
69	思い浮かばないが、たくさんの人が楽しめる場所、ショッピング、映画、レストラン街、健康ランド
70	尾鷲産商品の開発に伴う、観光客の昼食事等によってもらう施設。地域住民もいける施設。イベントも開催。(各企業の協力による雇用拡大)
71	釣りができる施設や、コテージみたいなキャンプ場。
72	観光客が何回でも来たいと思う施設を作ってほしい。
73	大規模フードコートのような場所が欲しいです。ミスタードーナツ、ケンタッキー、サーティーワン等若者が好きそうな店があれば良いのでは？
74	海、山、食、公園を1つにした施設
75	プール
76	公園の整備
77	観光したい所へ、花を植えたり、尾鷲の人達が作った品物、名物に成るような新しい物作りや食べ物等、尾鷲の名品が少なくなっている。
78	尾鷲には自然がいっぱいある。知恵出しあってお金はあまり使わず進めては。
79	子どもが遊べる場所の確保。
80	海洋公園、遊覧船、釣り堀、舟釣り、海舟業の拠点基地、海産物(主に魚)売店、魚料理をメインとする飲食店、魚貝類、海洋に関する研究所の誘致、海洋をテーマにした芸術作品展示館。
81	尾鷲の特色を活かして漁業、林業、尾鷲ヒノキの木工品など販売や体験。

82	誰もが行きたいと思う、大きな目玉を作って集客を考える。
83	スポーツジムの設置
84	海、山の自然を活用する。
85	キャンプ場、つり堀り、遊園地、公園、子ども達と遊べる所
86	野球場、テニスコート、わんぱく広場(芝生、遊具等)
87	集客交流人口拡大については、町内の商店と充分相談して一点に集中しない事が大事と思う。
88	今後、観光は様変わりしていくと思います。新しい未来に向けた「観光」を考えていかななくてはならないと思います。今ある自然と自然の物を大切に保存しつつ、新しい「箱物」はもう必要ないと思います。
89	海を利用したレジャー施設、漁業体験等
90	子どもが遊べるような所、津波がおきても逃げられるような作りに。
91	外部へのPRし、魅力的な施設、イベント(尾鷲節コンクール)の発信。
92	海～跡地～川～山をつなぐ自然体験ゾーンがほしい。地元の子が安心して遊べる広場。
93	アミューズメント施設、学習施設。例. 水族館、複合スポーツ施設、その他アミューズメント(サバイバルゲームフィールド)
94	遊びにしても、買い物にしても市外に出ることが多いです。外出すればついでに食事を済ませて帰ったりして、コロナ以前は休日尾鷲ですごすことはほとんどありませんでした。大きな公園でも商業施設でも良いので、そこに行くことが目的となるような場所が必要だと思います。若い人も魅力を感じるまちにならないと人は集まらないと思います。
95	公園、自然体験が楽しめ、市内の駐車エリア、森林キャンプ場など。
96	下手に高いお金をかけて施設を作るのは疑問。津波の危険性がある場所だから。だったら景色もいいたろうし、子ども達の為に球場とか公園を作ってほしい。
97	尾鷲には公園が少ないと思うので、親も子も安心して遊べる公園がほしいです。(熊野や新宮の公園までよく行っています。不便です)
98	旅館等、観光客が楽しめる場所へ
99	スポーツ施設の整備による合宿、大会の誘致。
100	尾鷲への集客のため食博施設。
101	自然を活かしたキャンプ施設やアスレチックなどの遊べる場
102	お魚市場併設の道の駅(例えば、愛知県の豊浜の魚ひろば、敦賀市の日本海さかなの街、石川県の徳光 PA 等)、海釣り公園
103	市議会等の意見、考えを参考にしたい。
104	小さな子どもから大人まで利用できる公園、スポーツ施設。
105	広い駐車場、その上で公園。
106	市民文化会館と連動したイベントを行うために、跡地の会館側に大規模駐車場と広場を設置する。
107	情報の発信！
108	自然を目当ての観光客はお金を地元におとしにくい印象があり、又私達尾鷲人だけではなく、本当に自然だけがそこにあったとしてもそれだけでは楽しめない。やはり人工的なテーマパークのようなものが必要。
109	海を存分に生かした観光施設なら良いと思う。
110	自衛隊
111	コストコなど大きな施設の誘致。中途半端な施設なら無い方がよい。
112	地元だけでなく他県からもたくさんの人が楽しめる場所。
113	市内の人も市外の人も立ち寄りたくなる、遊戯施設等の設置。
114	遊ぶところがほしいです。
115	がんばって考えてほしいです。私は考えられませんが、アイデアマンが尾鷲にもいるはず。若者や頭のやわらかい人(RS さん)、考えだしてくれないですかね。
116	尾鷲・熊野間の高速開通、津波、自然を生かすにいい環境などから市より民間の会社などに条件付きの土地売却が最良だと思う。
117	津波が来た場合に被害を受ける場所なので、三田火力発電所の跡地に施設を建てることはやめてください。
118	図書館
119	自然を生かしたアスレチック。体を動かせる場(子ども～高齢者まで)子どもと高齢者がつながる場
120	だれでも楽しめる公園づくりとモニュメント。
121	津波の心配されているが、火力跡地でだいじょうぶなのか？
122	市民だけでなく、市外や県外から小さい子どもが来たがるような施設を作ってほしい。子どもと一緒に来た保護者にお金を使ってもらえるような物を作ってほしい。
123	大きな公園、ジョギングしたり、憩いの場
124	誰もが立ちよりたくなるような商業施設ができれば、若い人も来たくなくと思います。
125	海と遊ぶ多目的広場、その中でエネルギー施設や働く場が出来る。なにもしないで広場のままでも良い。利用する人が考えて使う。
126	全国皆同じ競争きびしい。当市は海の資源の活用しかないのでは。魚、ヒノキ、シダ。

127	多種多様な業種とつながる事で、若い人の未来を作る。
128	高校を卒業した人が進学できる学校、進学先。

E 新たなエネルギーの活用	
1	大型太陽光パネル
2	地熱発電以外は無駄だと思う。
3	休日に子どもたちが学習できるような施設
4	企業の誘致
5	太陽光電をそなえた避難ビル。(津波対策)
6	津波対策がなければかえられない。
7	太陽光発電設備を遊戯施設に併設して電力供給する。
8	たくさんの人々を雇用できる設備の誘致・建設。
9	再生可能=太陽光とならないように。
10	太陽光電気の普及
11	光・風・水素などあらゆる方面を検討する。
12	風力、水力、太陽光発電
13	働く場をつくり、他地域も地元の方も生活していけるようにする。
14	ゴミ処理施設による電気エネルギーの創出
15	東南海地震が過ぎるまで検討しておく。
16	現状では、ソーラーシステムの導入。
17	自然を守り、安全安心なエネルギー
18	太陽光発電、海洋風力発電、バイオマス発電
19	太陽光発電
20	太陽光発電を利用した施設づくり。
21	バイオエネルギーを作りだすのは、どんな事に使えるエネルギーなのか、若者にも分かりやすい説明がほしい。
22	必要なし
23	ソーラーパネル
24	乳幼児～小学生くらいまでのプール
25	雨のテーマ館の様な新たなエネルギーを想像体験できる施設の活用。
26	太陽光発電
27	高速道路もほぼ完成したのだから、議員先生、商工会諸氏、知恵をしばって下さい。
28	再生可能エネルギーは必要と思うが、主体は行政がやるのか？民間がやるのかで違ってくるのでは？民間がやるのであれば少なからず採算性がなければ投資しないと思うが。
29	地域の資源ではある木材も利用したバイオマス発電等に取り組むことにより森林資源の活性化もはかれると思われる。
30	伊勢湾台風での名古屋港区を見れば、海岸に木材を考えるなんて国土強靱化に反しています。
31	環境にやさしいエネルギーの活用
32	自然エネルギーを活用
33	新たなエネルギー施設の研究所等の設置。(例えば尾鷲の海を活用した海洋発電設備等)
34	従来の技術でなくもっと新しいものにしてほしい。中電の研究開発施設でも可。
35	子どもから大人まで遊べる場所。いつでも安らげるような場所、温感マッサージのようなイス等、体験型テーマパーク、健康ランド、温泉。
36	太陽光パネルを施設の屋根につけるとスペースも有効活用できると思う。
37	油などの再利用
38	尾鷲市は何をやっているのですか？グランピング等の利用くらいしかない。
39	風力は困難と考えるので、太陽光発電やバイオマス発電の誘致。バイオマス発電は原材料によっては港湾の利用活性化も期待できる。
40	？太陽光エネルギーの活用
41	農林水産業(自然の無害なもの)から出る廃棄物を利用した発電設備。
42	人力で自転車をこいで電気で作るみたいな楽しいエネルギーを作れる面白実験的な施設があれば子ども連れでも行きやすいです。
43	太陽光発電と農業の組み合わせ
44	自然を生かしたエネルギーの再生
45	太陽を利用した方法。(発電)
46	太陽光発電
47	田畑、山、海、人手不足、活用出来んかなー。

48	尾鷲市のだけで電気などはまかなえる施設。
49	海、山、を利用した事業の推進。
50	太陽光発電等の設置
51	太陽光発電で得られた電気を利用し、海水又は淡水を電気分解して水素を得る事業の開始。
52	新たなエネルギー資源は何になるのだろうか？期待します。
53	波力・潮力発電、太陽光発電
54	跡地に太陽光発電は設置しない方がいい。場所がもったいないし、集客施設にそぐわない。(建物の屋根は可)
55	温暖化により、石炭火力発電も難しく、原発は反対だし、尾鷲のみならず新エネルギーとても難しい。
56	エネルギーと言えば太陽光発電を思い浮かべるが、それだけはやめてほしい。破損した場合、設置費用もすべて税金の無駄になる。雇用も生まないし、災害等で破損、10 年後の廃棄問題がある、将来性は無いと思う。
57	南海トラフがいつ来るかわからないのに、作るには場所が悪いとか考えないのでしょうか？
58	市議会等の意見、考えを参考にしたい。
59	再生可能エネルギーを活用した発生基地の推進と地産地消エネルギーの創出。
60	花など育て見学できるようにする。
61	害の少ない新しいエネルギーができれば良いと思いますが、土地が低い分津波に対応できる高さを考えなければいけないと思います。
62	屋根型ソーラーパネル工場、新型風力発電設置、電力の地産地消。
63	必要ない。
64	バイオマス発電
65	地熱発電
66	正直、尾鷲は狭いのでエネルギーを作る事を考えるのはムダだと思う。
67	近隣住民との関係で、これむずかしいかもしれませんね。どうでしょう。
68	尾鷲・熊野間の高速開通、津波、自然を生かしていく環境などから市より民間の会社などに条件付きの土地売却が最良だと思う。
69	津波が来た場合に被害を受ける場所なので、三田火力発電所の跡地に施設を建てることはやめてください。
70	バイオマス発電、風力発電。
71	津波の心配されているが、火力跡地でだいじょうぶなのか？
72	環境にやさしいきれいなエネルギーを作って、子や孫が尾鷲をきれいだと誇れるようにしてほしい。
73	温水プール
74	尾鷲の気候を生かす。

A 働く場所・雇用の創出	
1	若者が尾鷲で働ける工場、会社が出来るとよい。
2	ショッピングモールでの雇用
3	何かしらの施設ができれば雇用も生じると。
4	大企業(トヨタなど)の工場や支店。
5	せまい土地の尾鷲市の殻の中で考えるより、奈良県まで道路を開通させれば、人事交流も増え働く場所や雇用の場も生まれてくると考えます。
6	高齢者が働けるような施設
7	レストランと公園整備で雇用を創出する。
8	津波対策がなければかんがえられない。
9	国会の人ありがとう。
10	尾鷲市内の小・中学校の為の給食センター・配送センターを作る。
11	たくさんの人々を雇用できる設備の誘致・建設。
12	企業誘致で雇用拡大。
13	若い人達が働く場所が有れば良いと思う。
14	施設人員、地産地消への人員
15	海産物を使った市場(一般の人用)や飲食店を作る。
16	広大な跡地を利用したの働きやすい企業誘致。
17	公園、アスレチック、プール等
18	万全な津波対策が大前提。国・県の研究(防災等)施設。
19	働く場をつくって若い方や他地域の方からくらせる環境をつくる。企業と連携して地元資源を活かす。
20	ボランティア活動創出
21	東南海地震が過ぎるまで検討しておく。
22	海上自衛隊等で付随する。

23	企業誘致が最大の施策
24	若い人が働きたいような場所
25	尾鷲ならではの事業を開発し、それらの事業者に場所を与えるべき。
26	働く場所の創出。物産展などができるスペース。
27	尾鷲ヒノキをもっと取り上げてやるべき。尾鷲ヒノキが売れば働く場所、雇用の創出につながる。
28	宿泊施設、託児所(土日、祝日、長期休日夏休み等に特化したもの)
29	現状どこもコロナ禍できびしい雇用状況だからこそ新卒を受け入れる体制が出来れば良い。そうするには、事業者に対して市、行政のフォローが必要だと思います。
30	雇用が期待できる企業が誘致できればベストですが、防災面から無理か？よって現実性に欠ける。
31	海藻の陸上養殖、昆虫食のための養殖施設。
32	天候・気温に左右されない野菜を作る工場の建設。
33	大型衣料店
34	地元や市外の若い方が働きやすい場所、雇用をつくり出す事が大事である。
35	来てくれる企業があるか。
36	高速道路もほぼ完成したのだから、議員先生、商工会諸氏、知恵をしばって下さい。
37	人口増の為に働く場所を広げて欲しい。
38	高校卒業して働くのに若者に人気ある職種があれば創出してほしい。
39	現状、尾鷲市で働く場所が少なく、若い人が県内や県外に就職しているのが現状、全国的に人口減少・少子高齢化は顕著で今回のコロナ禍で今後ますます拍車が掛かることは間違いないと思う。労働人口が減少傾向で働く場所を増やしても働く人が少なくなりあまり意味がないように感じるが、一層のこと批判を承知で言わせてもらおうと超高齢化に伴って高齢者が終の棲家にしてもらうような施策も今後は必要ではないか？それに伴い、介護職等、従事する人が増えて結果、人口増が望め、少しでも税収が上がるのでは？
40	外部の人を引きつけ且つ市内の人材を登用出来る施設が望ましいと思われることから、どこにでもあるような施設では無い特色のある施設が欲しい！
41	おわせ SEA モデルを白紙にしては。
42	働く場所
43	海外企業の誘致も含め既存のものとはコラボ。古き良き時代の尾鷲のにぎわいの再現。食やレジャー。
44	尾鷲の自然、産物をフル活用に生かす(すばらしさ)！働く場を作れないか。
45	他府県からも期待される雇用環境
46	若い人が働ける場所を
47	市営レストラン
48	防災、安全の体験型研修施設の建設をし、県内外からの研修生を受け入れ活性化を図る。
49	若い方の魅力的のある仕事、何かありませんか？
50	大規模雇用を望むのは、時代的にも無理。人材確保も難しい。地場産業以外の新分野。
51	地元産の物を使った総菜、弁当、食堂、さんま寿司、めはり寿司、おにぎり、ワークショップ
52	新たな施設ができると市内や市外からも働きに人が来ると思う。
53	HAND MADE SHOP など個人が出店できる店など。
54	グランピングの際、市内の飲食店、物産販売など市内の店が出店できればいいと思う。
55	新企業の誘致
56	海を利用する企業、海に関係なければテレワークなど IoT を利用する企業のように、時代をけん引している企業等の誘致が重要。
57	SE と関連させて。
58	電気自動車のような今後工場が来てほしい。海上輸送による部品輸送。(安全な工場に来てもらう)
59	若者が地元で働ける場になればよい。
60	幅広い年齢層の雇用ができればいいですね。
61	大規模フードコート等とにかく働ける場所を増やす必要がある気がします。
62	市役所、議員のコネではない人たちが働ける場所を期待する。
63	企業誘致
64	企業の誘致
65	企業誘致しかない。
66	正社員で働く場所を作る。(会社設立)バイトやパートはだめ。
67	尾鷲には放置された山林多く有、法律を少し入れて、雑木、間引木等の活用がされたらいいんだか。
68	色々な職場の雇用。
69	とにかく働く場所の充実をはかるのが一番だと思います。
70	レジャー施設やショッピングセンター、市外からも人が来れるような場所にほしい。
71	企業や学校等の誘致ができればいいのですが。
72	漁(水産物)、農産物の生産基地と集落を合わせる。
73	S と E の事業が回れば、おのずと結果はついてくる。

74	尾鷲は田舎です。癒される場所です。檜の木のおいにおいやされます。リラックス出来る場所として、自然を取り入れた、空間を売りにできませんか？野菜、魚、料理などマッチングすれば良い。
75	最重要だと思う。
76	施設、工場の建設
77	若者の仕事の間をつくってほしい。
78	土を使わない植物(野菜)の栽培工場、養殖(陸上、巨大水槽→食へ)はよいと思う。
79	IT 事業、何とかならないのか？
80	マリン系実習型専門学校の創設。例. 水産、海技師育成等
81	以前新聞で自衛隊誘致の記事を見たが、良いと思う。国からの予算もつくし雇用、商的流通も生まれる。集客交流人口拡大を考えても良いと思う。海が近いので海上自衛隊が良いと思う。
82	働く場所も必要ですが、子どもを安心して預けられる場所がないと働けない方もいると思います。特に学童保育は低学年のうちから利用が打ち切られて困っている人が多いです。
83	雇用の場所としては欲しい所ですが、でしたら尾鷲は海の近くに食べる所が無く、観光客が困ってる印象なので、道の駅的な物が限度では？
84	市議会等の意見、考えを参考にしたい。
85	企業誘致を！
86	中電に近い、大手企業の誘致。
87	つりばりだけではもうからないので、会議室やダンスなどの貸し部屋を安く作り、同時に管理して人件費を少なく計画する。
88	高齢者でも働ける仕事の誘致。
89	優先順位では A が優先 1 位、それから E で良いと思う。
90	紀州地域の中核となる商業施設。
91	海上保安学校や漁業専門学校で若者を集める。
92	バイオマス発電
93	アボカド生産業
94	大きな施設の誘致以外、尾鷲発信では成功はないと思う。
95	魚や貝、海藻の海上養殖をやって市民を雇用する。→商品のブランド化。
96	尾鷲・熊野間の高速開通、津波、自然を生かしくい環境などから市より民間の会社などに条件付きの土地売却が最良だと思う。
97	津波が来た場合に被害を受ける場所なので、三田火力発電所の跡地に施設を建てることはやめてください。
98	バイオマス発電、風力発電。
99	津波の心配されているが、火力跡地でだいじょうぶなのか？
100	市民はもちろん、県外からも就職したいと思えるような働く場所を作ってほしい。
101	自然を生かしたキャンプ場
102	子どもがいても安心して働ける所をもっとつくってほしいです。
103	各種学校、教習所、養成所、研究所、各種スポーツ合宿施設、観光定置、数年間、数か月滞在型の活動施設、造船所、水産庁や気象庁等の関連施設等を誘致。(書くところがないため次の機会に回す)
104	多種多様な業種とつながる事で、若い人の未来を作る。

(10) 今後のまちづくりのキーワードについて

問 14 第7次尾鷲市総合計画の策定にあたり、将来のまちづくりの目標となるキーワードがあれば、お答えください。

将来のまちづくりの目標となるキーワード	
1	現在、熊野、北勢町に何かと負けている感じがする為、尾鷲ならではのまちづくりを考え中。
2	財政確保する。
3	安心・安全な町
4	健全な街
5	今の小学生・中高生がこのまちで働き、暮らしたいと思えるまちづくり
6	奈良県まで道路を開通させれば人事交流もさかんになり、働く場所や雇用の創出もあります。せまい尾鷲市の中でゴチャゴチャ問答しているよりも、もっと大きな視野に立って考えていただきたい！
7	ストレスためずに笑顔になれるよう
8	生活保護者のパチンコ等の時間、何か1つでもボランティア(市民に役に立つ)を促し、体を動かし病気になるように工夫、アイディアを！
9	子育て世代を応援する
10	個人の質上げる
11	人口が増加する街
12	職員の意識向上。隣町等への市民サービス等の研修(長期)実施。
13	火力の跡地が有意義に利用できてほしいです。
14	対等な人間関係
15	子どもを育てやすい、年をとっても暮らしやすいまち
16	安心・安全・安定の町づくり
17	最先端技術
18	ホッとできる街おわせ！田舎を楽しむ！
19	活力のあるまちづくり
20	ゆるがないまち(教育・災害・医療・経済など)
21	お年寄りが生き生きとした活動が出来る町づくり
22	東南海地震が過ぎるまで検討しておく。
23	何を目標とするのか。すべての希望を考えない、かなえない、一部のみ。
24	忍耐、根性、尾鷲人の意地
25	安心と安全
26	安定して生活できる町づくり
27	高齢者が住みやすいまち
28	例題の通りだと思います。
29	人口増加
30	子育てしやすいまち！他の市や県と比較してしまうが、新生児・幼児を子育て中の家庭には無料ゴミ袋しかくれないのか。経済が疲弊している中、何もしてもらえないのは、ツライ。
31	シニアが安心して住み続けられる町
32	・・・が日本一のまち
33	子ども達の声が聞こえる町に
34	尾鷲市内で親子で過ごせる時間を大事にしたい。
35	若者の働く場所を作る事。
36	災害に強く、高齢者、若者が安心して健やかに暮らせるまち
37	近辺の市町が合併して、人口5万人以上の市を作る。(紀北町、尾鷲市、熊野市等の合併)
38	市議の定数を減らす事。いなかゆえしがらみのあるのは理解できるが、質の高い議員を望む。
39	若者世代が安心して暮らせるまち
40	いこいの町尾鷲
41	子どもがたくさんいて、活気のある町！
42	尾鷲節の歌詞にもある様に、♪おわせよいとこ♪ヤッサホウエー♪(踊りも市民が皆昔から知っているように皆楽しめるようにと)
43	おわせ温泉ホテル等
44	みんなが安心して健やかに暮らせるまち
45	どの年代、どの地域の市民も尾鷲市民であることに喜び、誇りを感じられる町づくり
46	みんなが心豊かな生活を送れるまちづくり

47	生涯現役で働けるような職場の確保と老人でも楽しく動き回れるスポーツ施設等の建設を望みたい。
48	間 13 跡地をリニア残土でかさ上げ(有料とする)。大学誘致することにより、人口の増加、働く場所、雇用が生まれます。財政の健全化にもなります。
49	みんなが愛せる故郷
50	住みたい 住んでみたい 行きたいまち 尾鷲
51	活気づくまちづくり
52	笑顔があればなんでもできる
53	安心・安全
54	みんなが参加する魅力づくり、新しい宝物の発掘。尾鷲の自然、ヒノキ、魚が良いと自分で思っているだけではダメ。世の中にはもっともっと良いものがある。さらに高めていかねば衰退するばかり。
55	若い層からアイディアを SNS を使って募集。
56	習慣を大切にしつつも新しいことに取り組んでいく。
57	災害時に迅速に対応できるまち
58	災害に強く、尾鷲の良さを楽しめる街づくり
59	自慢できるまち尾鷲！
60	誰もが「好きだ」と思う魅力ある尾鷲の町
61	(人間だけでなく全ての生き物)いきるもの、みんなが安心して希望をもって暮らせるまち
62	防災重視
63	若者が働ける場がもっとあったら良いと思います。
64	活気のあるまちづくり、気遣いのできるまちづくり
65	老人さん目線での生活がしやすい街になってほしい
66	尾鷲市営で財政を豊かに
67	農業と漁業の尾鷲、県外にもう少しアピールをお願いします。
68	人口流出をふせぎ、若い人達が残ってくれて老人をささえてくれるような町になってほしい。
69	子どもの声が聞こえる町
70	上の人の意見もいいが、時には、区民、自治会の声も聞いては。
71	誰とでも挨拶しあえる安心なまち
72	若い人達が生き生きと働き、子育て等が充実した町づくり
73	尾鷲市内の中心街ばかり目がいくが、河井、松本、行ノ浦にもっと街灯をつけてほしい。15、6 年前から市の方をお願いしていますが今でも実行してくれません。
74	高齢になっても安心して生活できるやさしい街
75	学校を卒業して就職、ほとんど県外へ行く。尾鷲で働ける様、若者を支援する。特に市役所、定年で退職、あとは若者にバトンタッチ。
76	市が市民の声を聞いてくれるまちづくり
77	子育てや教育を支援してくれるまち
78	小さくとも安全なまち
79	老人の活用。老人に外にでて活動する機会を創生してほしい。
80	すべての世代が共に支えあうまち
81	人口流出を止める、何らかの働く場所の新設
82	元気なまちを取り戻す
83	火力発電所がなくなる今、「環境を重視し住みやすく自然豊かな、安全安心な町」にしてほしい。
84	子どももお年寄りものびのび暮らせる尾鷲
85	きれいな街作り(火力東邦の跡地を含めて)
86	災害に強い町
87	近い将来、超高齢化は避けられないので、落ちこぼれることなく、なんとかおだやかに過ごせるまちにお願いしたい。
88	若者が定着するノビノビと暮らせるまち
89	じつくりと住めるまち(落ち着いたくらし、安心したくらしができるまち)派手さはなくてよい
90	市民全員に聞いて下さい
91	やさしい気持ちで過ごせる町
92	帰るのが楽しみな街おわせ
93	自然と共に創るひとのいのち
94	STOP 人口減
95	災害、詐欺被害ゼロのまち
96	若者
97	市民の負担が少ない町！
98	市の財政に無理のない 安定したまち
99	みんなが笑顔でいられるような暮らしやすいまち

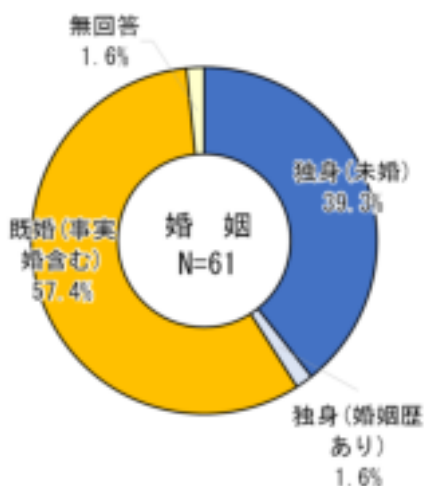
100	人が集まってくる事を何より優先する町
101	他人(ひと)にやさしい町
102	高齢化に対する医療の充実。
103	若者から高齢者まで安心して暮らせる市
104	ひとりでも安心して過ごせる。
105	安心して子育てができるまち
106	教育、学べる町づくり
107	みんなが支え合い安心して暮らせるまち。
108	漁業の6次産業化等、発想の転換を図り、地場産業の活性化を図る。
109	バイオマス発電、風力発電。
110	がいなもんじゃ おわせ
111	子や孫が暮らしていきたいと思えるまち
112	ヤル気のある人材
113	上記に加えて活力あるまちづくりが重要かと思います。
114	若い人が仕事を選べるまち
115	働く場所がもっと増えて、子どもの教育面でも金銭的な余裕がもう少しあれば、子供が抱く夢を実現させてあげられると思います。

(11) 結婚についてお伺いします

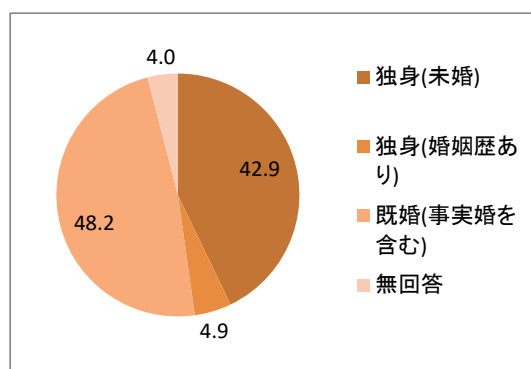
《ここからは、18歳以上40歳未満の方にお聞きします。他の方は、問21にお進みください。》
 ※前回調査（平成27年7月実施。18歳以上40歳未満の1,000人を対象に224人の回答。）と比較しています。

問15 あなたは、現在、結婚していますか。

回答者61人のうち、「独身（未婚）」が39.3%24人、「独身（婚姻歴あり）」が1.6%1人、「既婚（事実婚含む）」が57.4%35人、無回答が1.6%1人となっています。前回と同様の傾向です。



《前回調査》

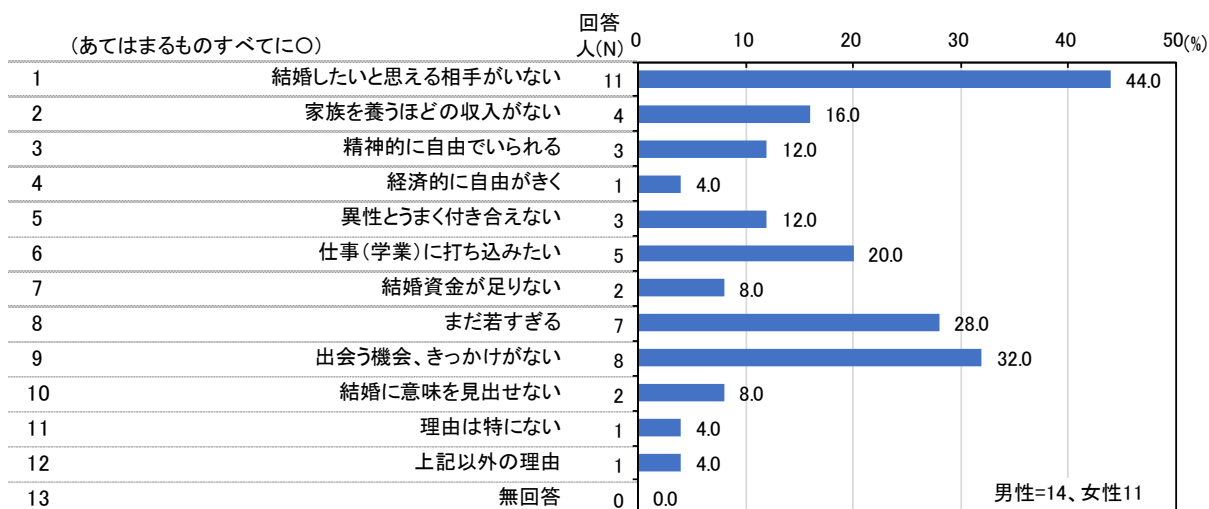


《独身の方への設問 15-1, 2, 3》

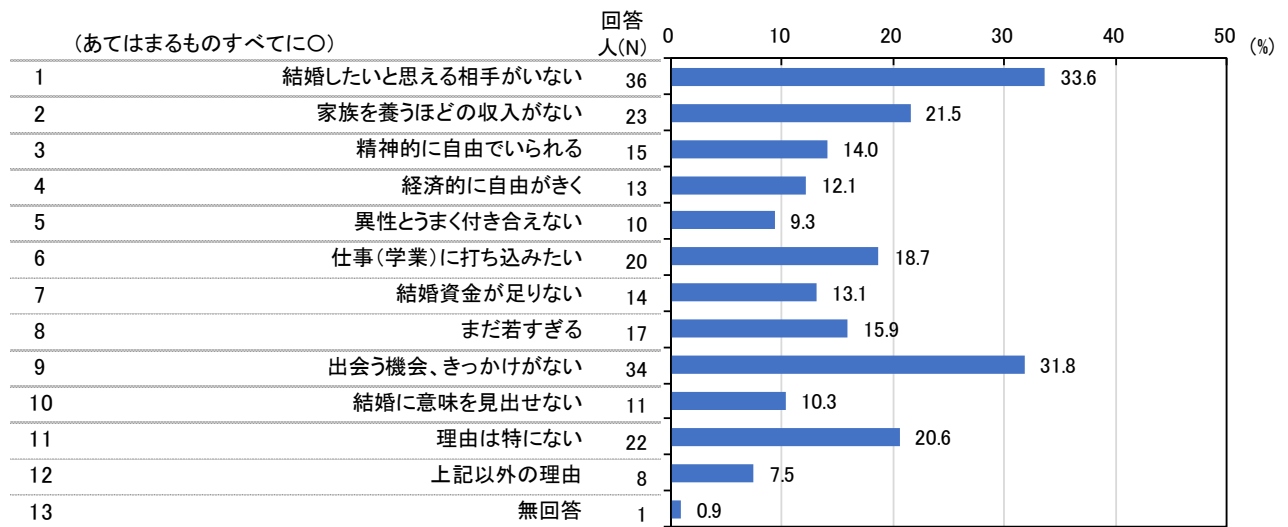
問15-1 現在、結婚していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

項目別に見ると、「結婚したいと思える相手がいらない」44.0%が最も高く、次いで「出会う機会、きっかけがない」32.0%、「まだ若すぎる」28.0%となっています。

前回とほぼ同様の傾向ですが、「結婚したいと思える相手がいらない」の割合が前回よりも高くなっています。

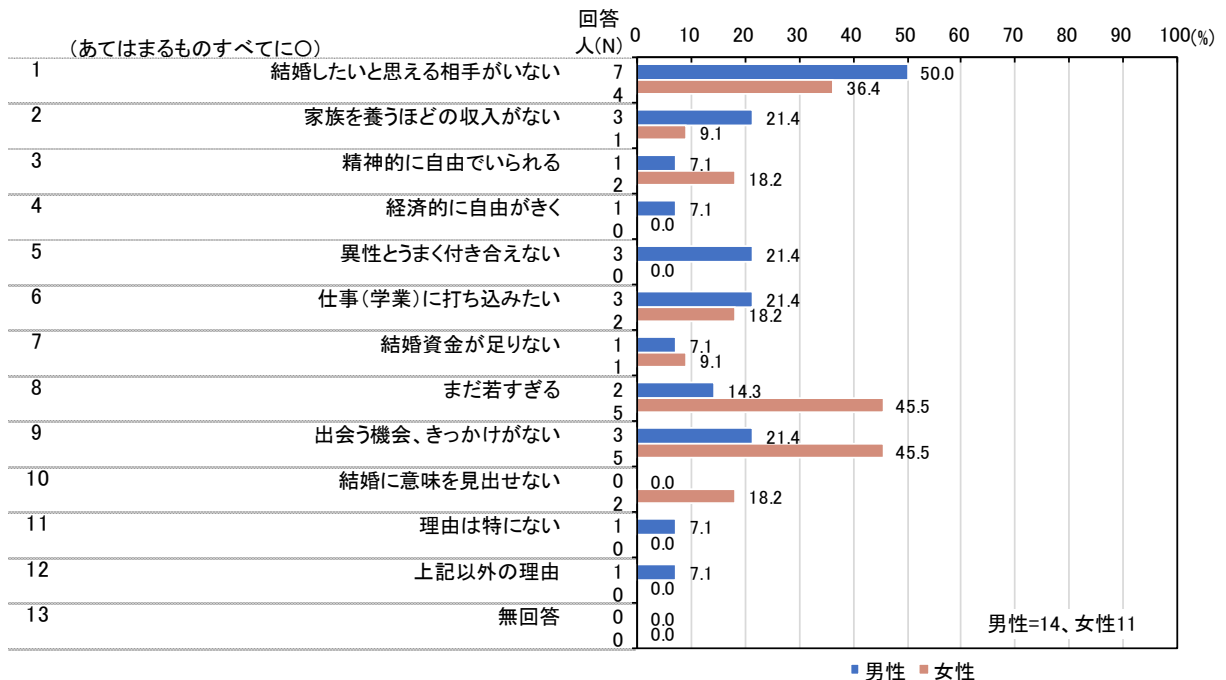


《前回調査》



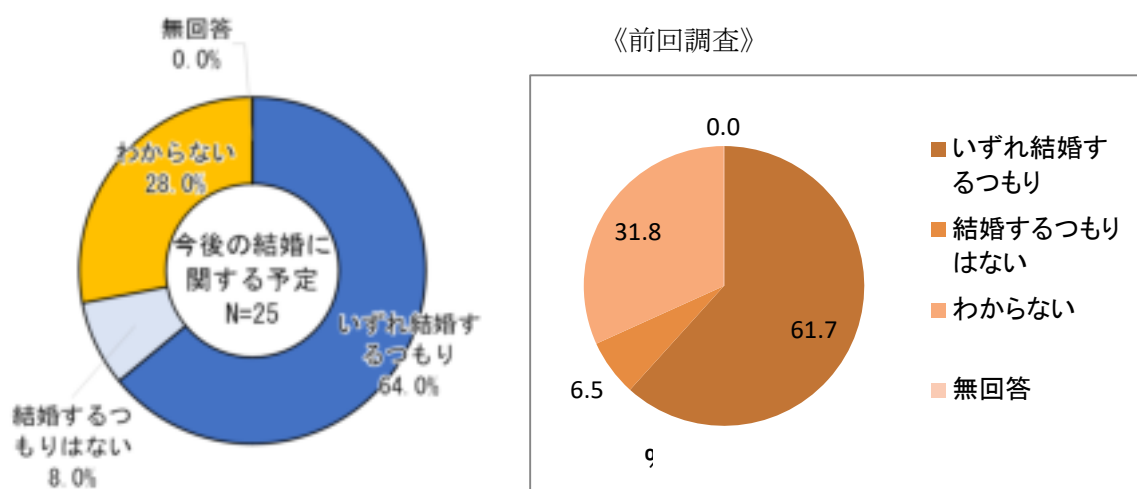
■問 15-1 × 性別クロス

性別で比較すると、男性では「結婚したいと思える相手がいない」、「家族を養うほどの収入がない」、「異性とうまく付き合えない」などの割合が高く、女性では「精神的に自由でいられる」、「まだ若すぎる」、「出会う機会、きっかけがない」が高い割合になっています。



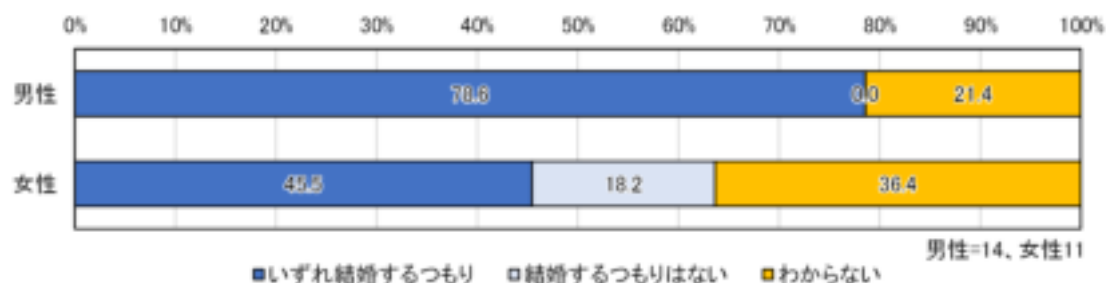
問 15-2 今後の結婚に関するあなたの希望は次のうち、どれにあてはまりますか。

回答者 25 人のうち、「いずれ結婚するつもり」が 64.0%16 人、「結婚するつもりはない」が 8.0% 2 人、「わからない」が 28.0% 7 人となっています。前回と同様の傾向です。



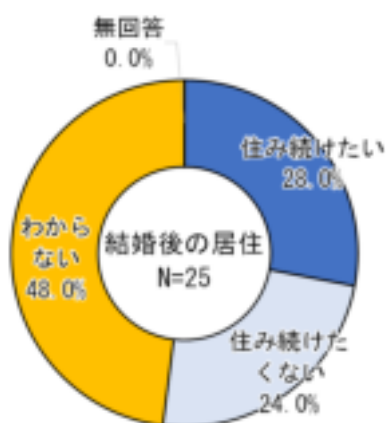
■問 15-2×性別クロス

性別で比較すると、男性では「いずれ結婚するつもり」78.6%の割合が高く、女性では「いずれ結婚するつもり」45.5%、「結婚するつもりはない」18.2%となっています。

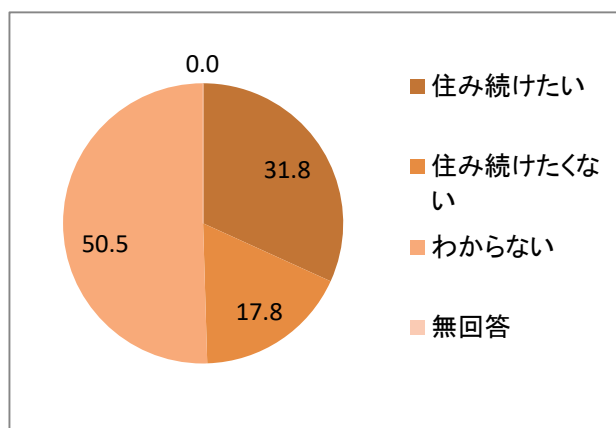


問 15-3 結婚後も尾鷲市に住み続けたいと思いますか。

回答者 25 人のうち、「住み続けたい」が 28.0% 7 人、「住み続けたくない」が 24.0% 6 人、「わからない」が 48.0% 12 人となっています。前回と同様の傾向です。

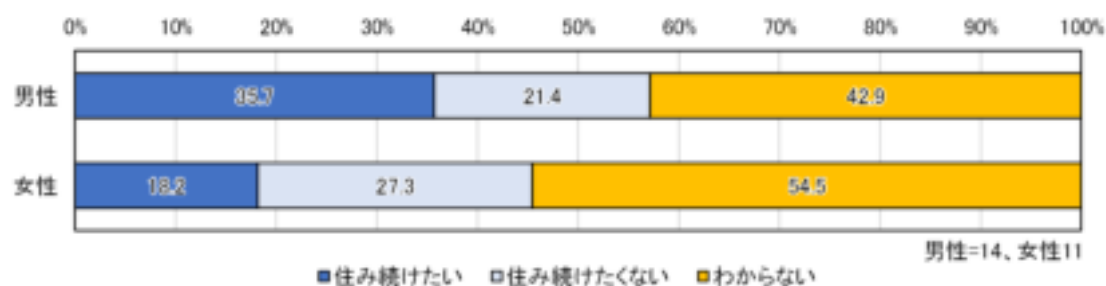


《前回調査》



■問 15-3×性別クロス

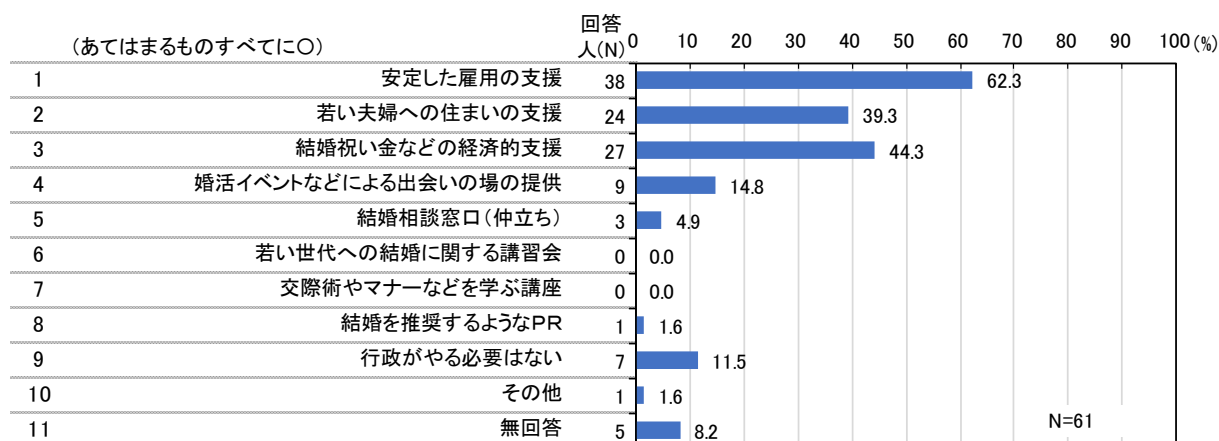
性別で比較すると、男性は、「住み続けたい」35.7%の割合が高く、女性は、「住み続けたい」は18.2%と低い割合になっており、「わからない」54.5%が高い割合になっています。



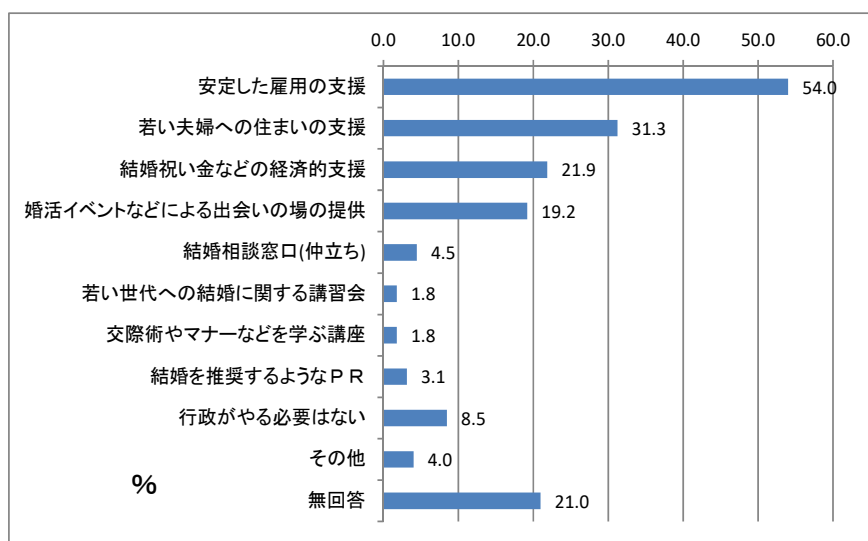
問 16 尾鷲市が重点的に取り組むべき結婚支援事業は何だと思われますか。

(あてはまるものすべてに○)

項目別に見ると、「安定した雇用の支援」62.3%が最も高く、次いで「結婚祝い金などの経済的支援」44.3%、「若い夫婦への住まいの支援」39.3%となっています。前回も「安定した雇用の支援」が最も多く、概ね同様の傾向です。

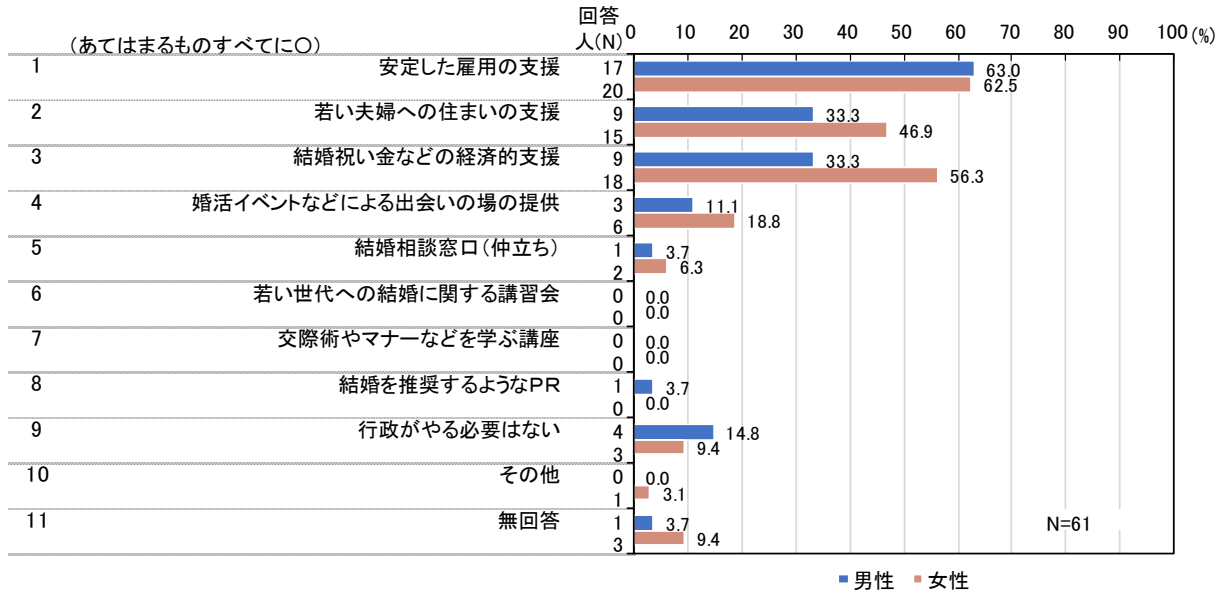


《前回調査》



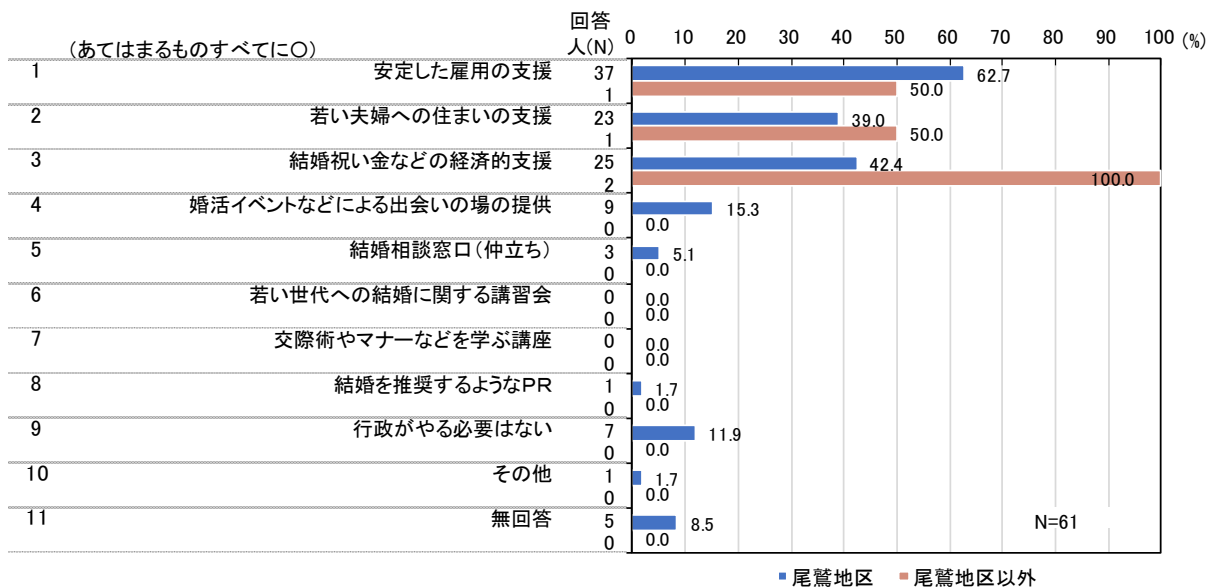
■問 16×性別クロス

男性女性ともに、「安定した雇用の支援」の割合が高く、男性は63.0%、女性は62.5%となっています。性別で比較すると男性は、「行政がやる必要はない」の割合が高く、女性は「若い夫婦への住まいの支援」、「結婚祝い金などの経済的支援」、「婚活イベントなどによる出会いの場の提供」と具体的な希望が明確です。



■問 16×居住地別クロス

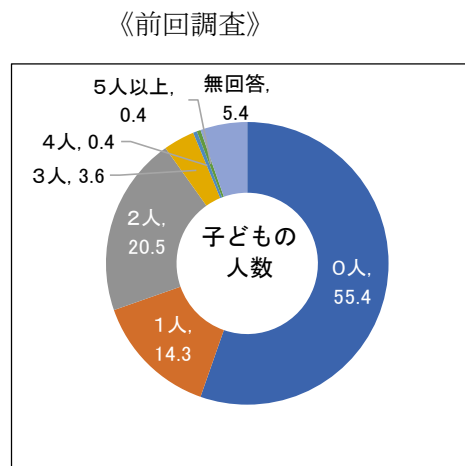
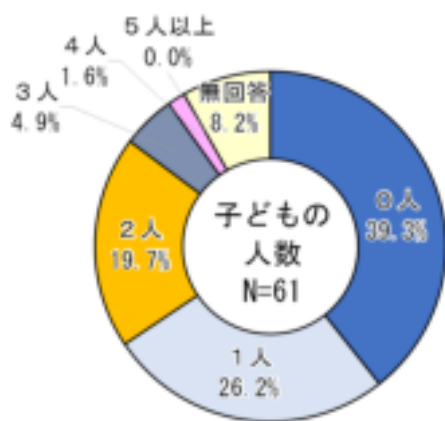
居住地別で比較すると、尾鷲地区では、「安定した雇用の支援」の割合が高くなっています。尾鷲地区以外では、「若い夫婦への住まいの支援」、「結婚祝い金などの経済的支援」の割合が高くなっています。



(12) 出産・育児についてお伺いします

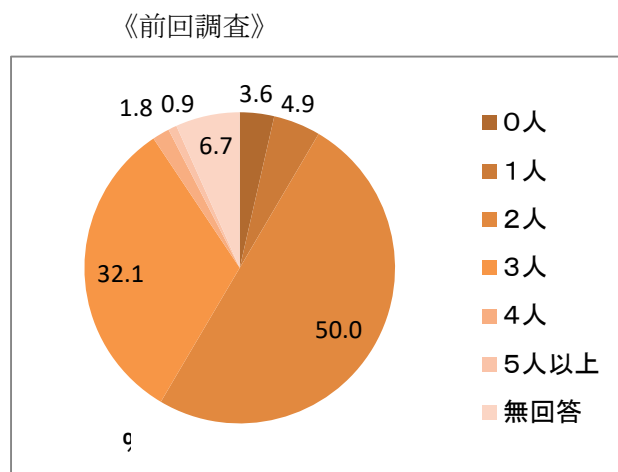
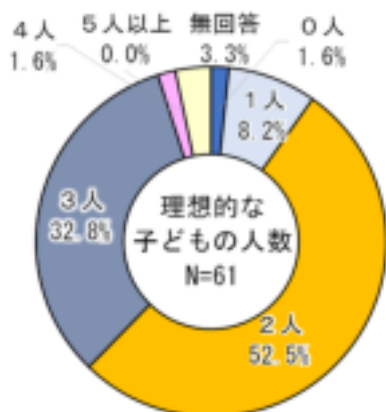
問 17 あなたは、現在、お子さんが何人いますか。

回答者 61 人のうち、「0 人」が 39.3%24 人と最も多く、「1 人」が 26.2%16 人、「2 人」が 19.7%12 人となっており、「3 人」以上は 6.5%4 人です。前は「0 人」の割合が半数でしたが、傾向は同様です。



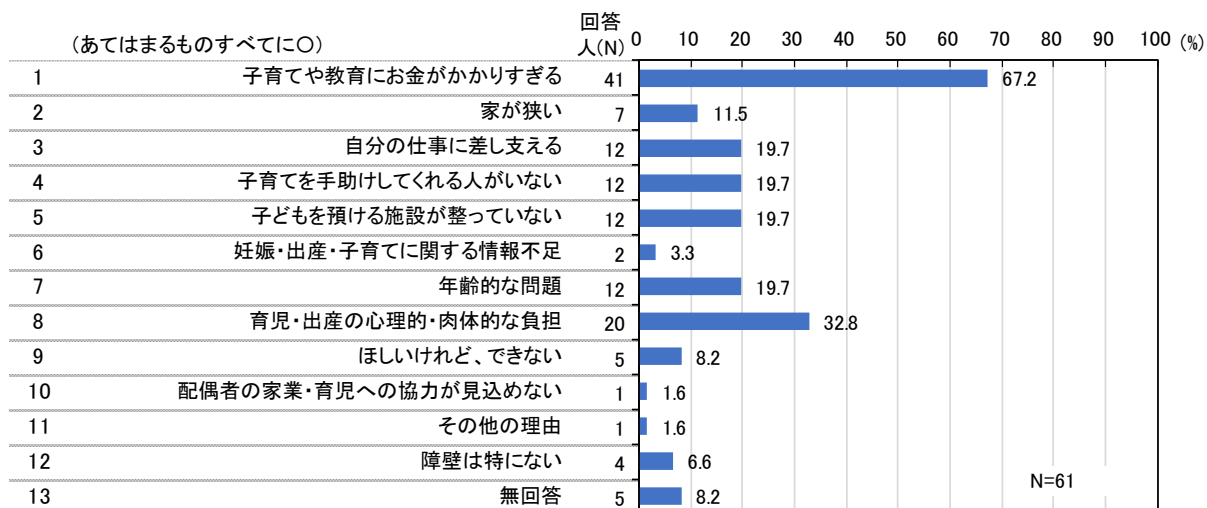
問 18 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか（現在いるお子さんの人数も含む）。

回答者 61 人のうち、「2 人」が 52.5%32 人と最も多く、次いで「3 人」が 32.8%20 人となっています。前回と同様の傾向です。

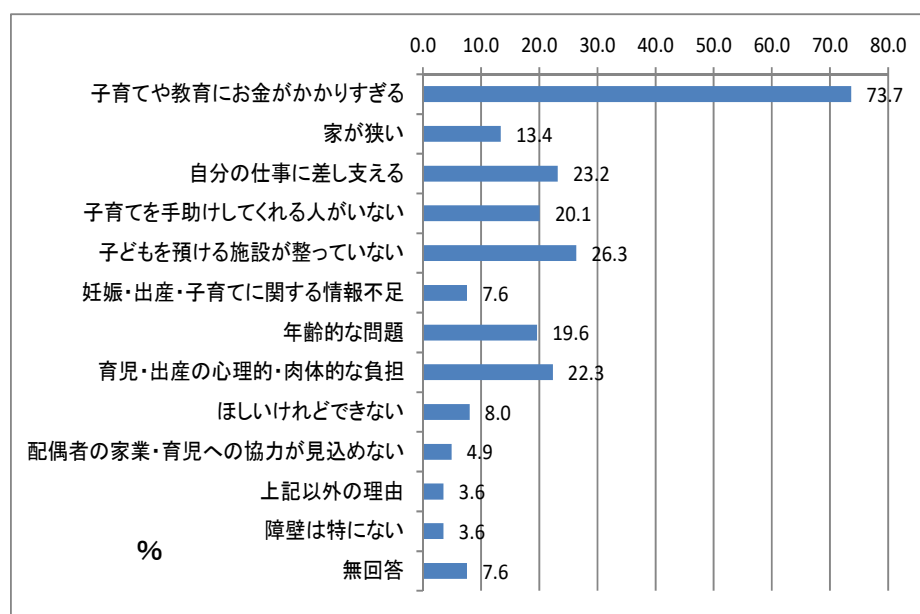


問 19 理想的な子どもの数を実現するために、障壁となること（なりそうなこと）は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

項目別に見ると、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」67.2%が最も高く、次いで「育児・出産の心理的・肉体的な負担」32.8%、となっています。前回も「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最も多く、同様の傾向です。

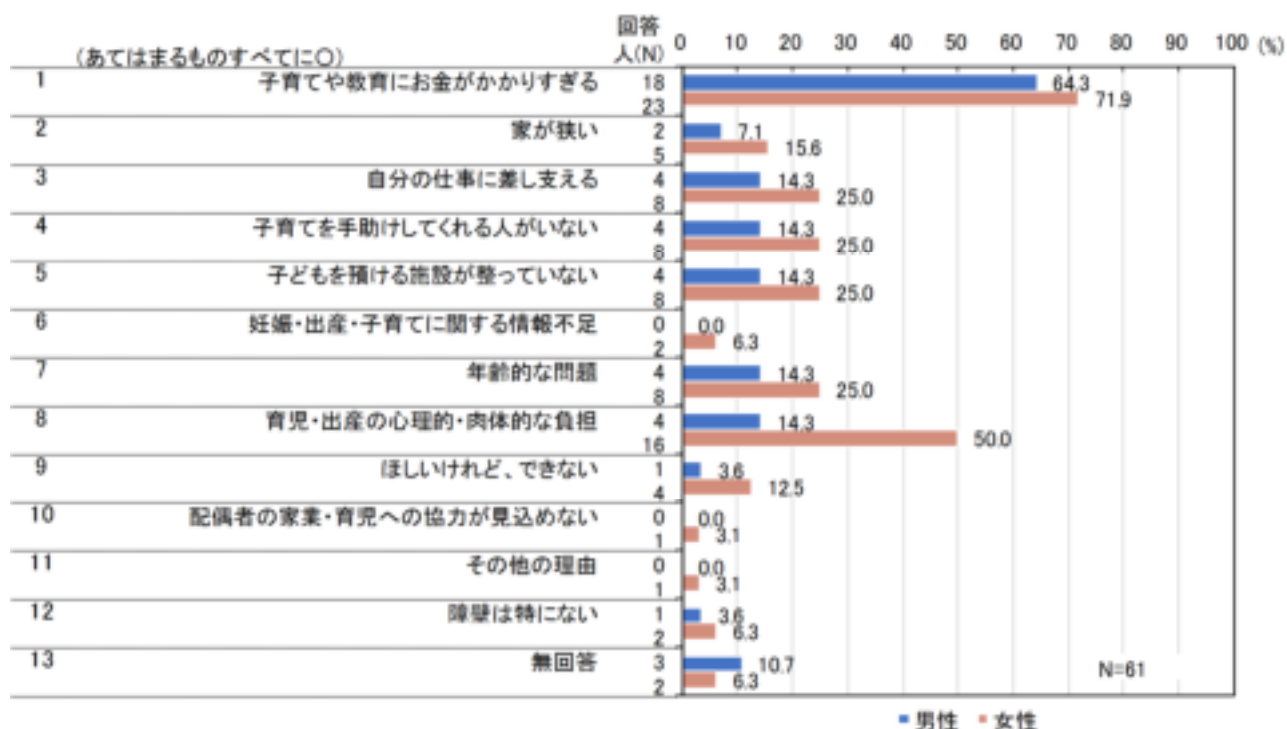


《前回調査》



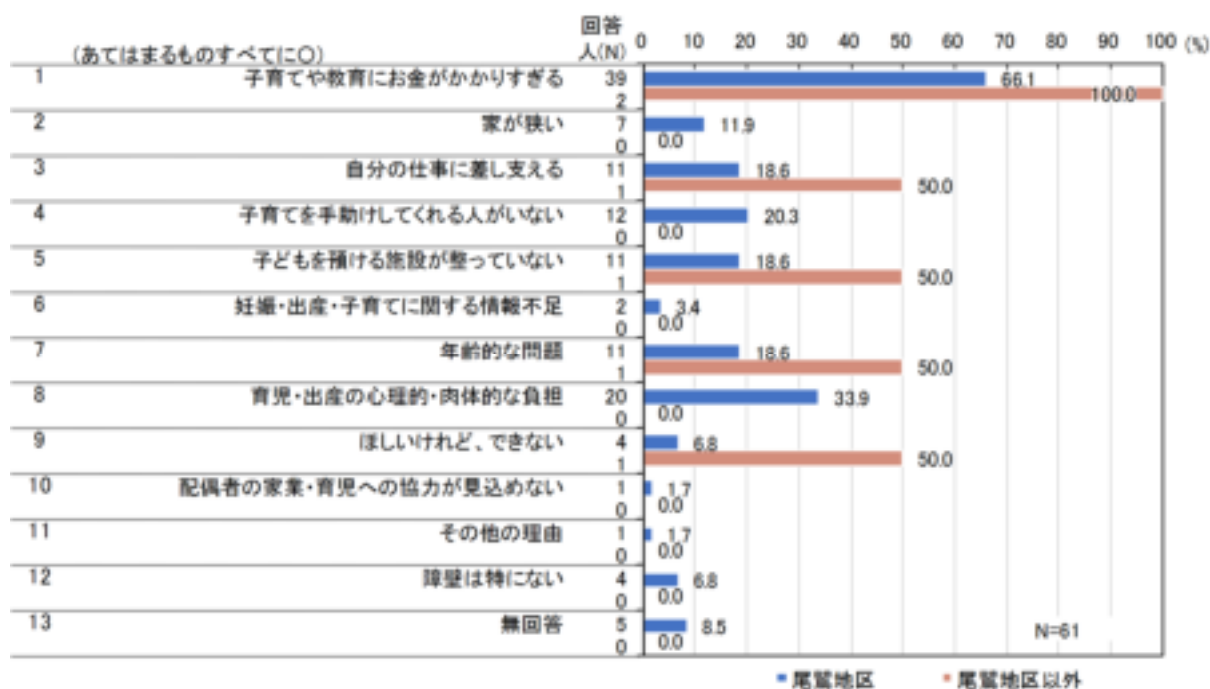
■問 19×性別クロス

性別に見ると、男性女性とも高い割合なのは、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」男性 64.3%、女性 71.9%、他の項目は無回答以外すべての項目が女性の割合が高く、特に「育児・出産の心理的・肉体的な負担」は高い割合になっています。



■問 19×居住地別クロス

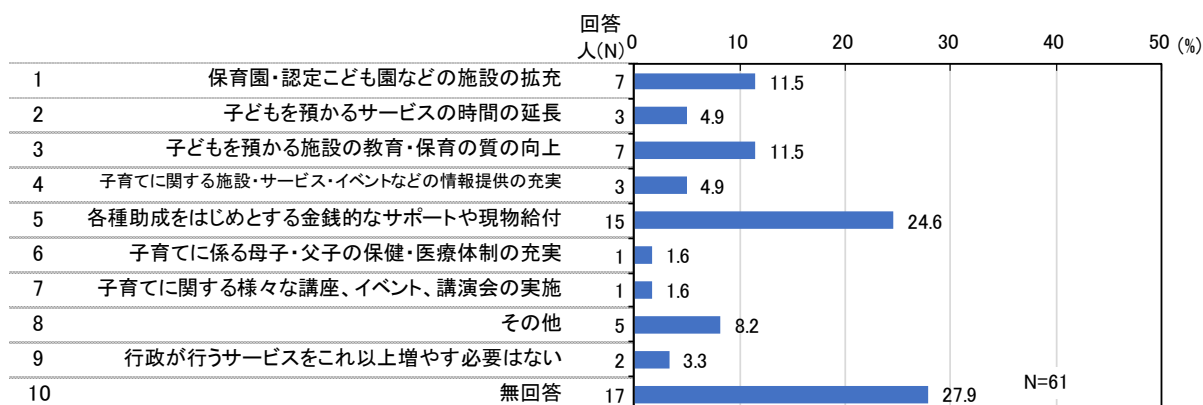
尾鷲地区、尾張地区以外ともに、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」の割合が高くなっています。



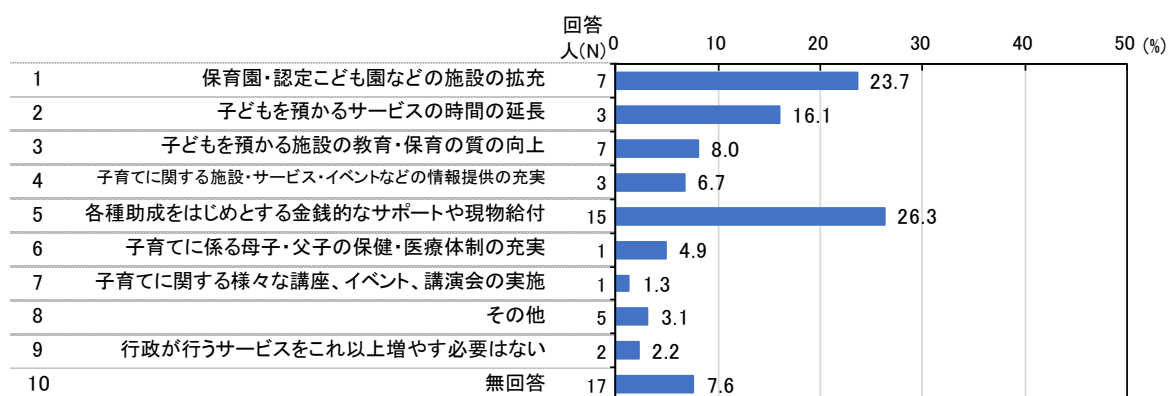
問 20 今後、育児に関するサービスとして、尾鷲市が最も力を入れるべきだと思うのは次のうち、どれですか。

項目別に見ると、「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」24.6%が最も高くなっています。

前回は、「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」に次いで「保育園・認定こども園などの施設の充実」が多かったのが、今回は少なくなっています。

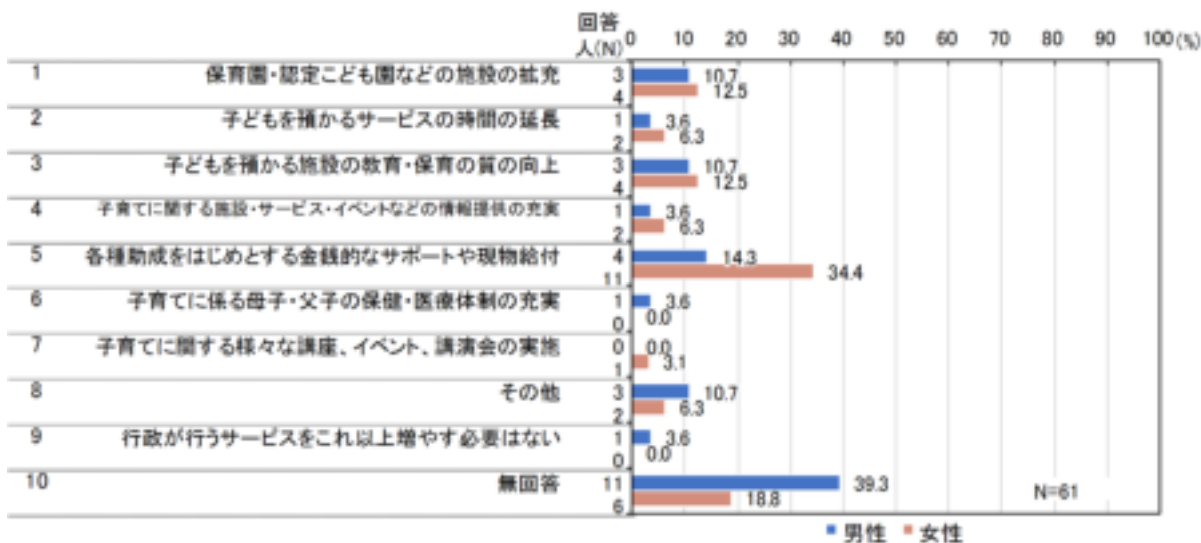


《前回調査》



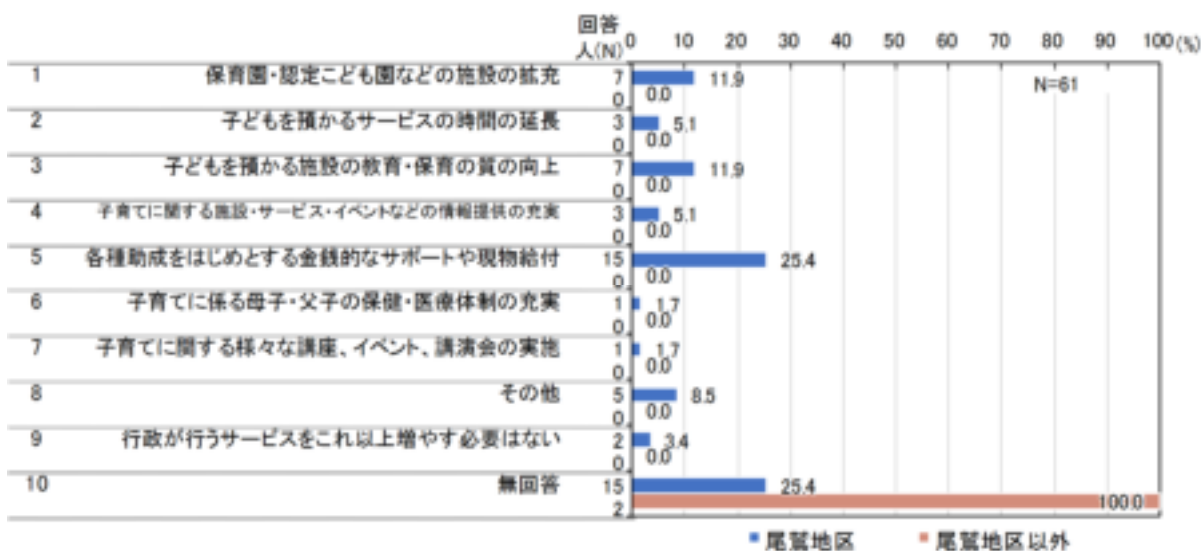
■問 20×性別クロス

性別で比較すると、ほとんどの項目について女性の割合が高く、特に「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」が高い割合になっています。



■問 20×居住地別クロス

尾鷲地区では、「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」の割合が高くなっています。



(13) 自由意見

問 21 市は、今後どのような施策を重点的に進めるべきだと思いますか。あなたのご意見をご自由にお書きください。

自由意見		
1	尾鷲総合病院の充実。若者の働く場所の充実、水産業を重視している尾鷲であるが、魚市場がいまいち活気なし。	男/70 歳代/三木浦
2	尾鷲は海・山・川と景色にめぐまれた土地なので、それを取り入れる遊歩道専用の公園をぜひ作ってほしい。	女/70 歳代/尾鷲
3	若者が地元に戻りたいと思える雇用の充実や子育てしやすい町作りにしていってほしい。新しい改革を望む！	女/60 歳代/尾鷲
4	子ども医療費 18 才まで無料に。体育館など紀北町よりお金がかかりすぎる。スポーツ施設の充実。尾中、給食早く！	女/40 歳代/尾鷲
5	広い場所があるので、他県からも行きたいと思える娯楽施設などの充実した場所が必要だと思う。新しい人を呼ぶには目に見えて変わったなと思われたいと何をやっているのかわからない。	男/35～39 歳/尾鷲
6	近年、尾鷲市の人口が年々人口の減少が続いております。その原因は若者の働く場所がない、アルバイト等の仕事しかなく、これでは若者は世帯を持ってない。どんどん都会へ出て行くことになり、老人しか残りません。この事について市長や市議員はもっと考えてくれなければなりません。尾鷲市の衰退は市長と市議員にあります。もっと頑張って下さい！	女/70 歳代/尾鷲
7	若い世代が住みたいと思うようなまちづくり。安心して暮らせる医療体制。市民が豊かに暮らせるまち。	女/60 歳代/尾鷲
8	紀北町のような公園(種まき権兵衛の里、大丘公園、片上池の周り、赤羽公園等)が尾鷲には全くない。休日等に子どもを連れて遊べる公園がほしい。	男/70 歳代/尾鷲
9	尾鷲総合病院の充実	男/60 歳代/尾鷲
10	財政難の中で色々と施策していますが、市民が何事にも参加、活動できるものに対して、女性も必要ではないかと考えます。移住(都会)が住みたいと思う尾鷲にしていきたい。	男/60 歳代/尾鷲
11	このようなアンケートへの回答も年齢的に難しくなってきたので、よくわからない。医療や介護によりよい人材を増加することと市の施策に重きを置いてほしい。	女/70 歳代/須賀利
12	・医療機関の充実。 ・働く場所を増やしてほしい。	女/50 歳代/尾鷲
13	尾鷲市は今たいへんな時期、今市長さんがする仕事はたいへんだと思い、だれが市長さんになっても苦勞すると思います。でも尾鷲市のために、市長さんになられた方々は財政に置いても厳しい現状で、市民の皆様もわかっているけど、尾鷲市のためにもよりよい尾鷲、住みよい尾鷲、元気な尾鷲に期待します。よろしく。	男/80 歳/尾鷲
14	とにかく人口が減らない施設を望みます。	男/50 歳代/尾鷲
15	まず市役所でのあいさつと対応をしっかり行ってほしい。こちらから声をかけないと対応してもらえないことが多々あった。いそがしいのは承知しているが、奉仕の気持ちももっていただきたい。	女/35～39 歳/尾鷲
16	若い世代が働ける場。高校までは地元にも、大学、専門学校でよそに行き、そのまま帰ってこないのは地元の問題があるからではないか。地元に残る親も働く場がないと子どもに帰ってこいとは言えない。	女/60 歳代/尾鷲
17	このままでは尾鷲は衰退してしまいます。ガンバって尾鷲を活性化出来るように、これからの人はガンバってほしいです。	女/70 歳代/尾鷲
18	コロナウィルスに関して、今は発熱があった際それぞれのかかりつけ医に連絡をして受診しているが、もしまた流行した際は、発熱外来などを設けてまとめた方が拡大しなくてすむような気がします。	女/35～39 歳/尾鷲
19	税金を適切に課すべき。得している人は上手くすりぬけているのではと思う。理由スーパーで買い物や飲食しても、領収書をもっている人？不思議です。生活にかかる必要も必要経費で減税されるのでしょうか？(いつも思っていました)	女/50 歳代/尾鷲
20	新型コロナウィルスの影響で、色んな形で困っている市民の為に、その現状を知って対策を立ててほしい。	女/50 歳代/尾鷲
21	・高齢者を大切にする町づくり ・若者の魅力ある町づくり	男/70 歳代/三木里

22	尾鷲市の人口減少がこれから加速すると推測します。 ①雇用の場を拡大する。(人材の流出防止すなわち市内で働く会社がない)尾鷲火力の解体により雇用が減る等。新規企業誘致を積極的に行う。 ②高齢化社会に対応する地域ネットワーク健康診断等充実する。尾鷲総合病院と地域にあるコミュニティーセンターとのオンラインで健康診断等ができる設備を充実させる。 ③観光資源を有効活用し外部からの観光客を誘致する。	男/70 歳代/須賀利
23	反対の意見をどうするのか。	男/30～34 歳/尾鷲
24	総合計画は市の最上位計画であることから、重点的な取り組みの順位を謝らないようお願いします。	女/50 歳代/尾鷲
25	色々な成功例をさがし、その中で町にみあった新鮮なとりくみをさがしてほしい。	女/60 歳代/尾鷲
26	尾鷲、紀北の合併を進める。市長が主になって進めていかないと、18,000 人の市では何もできないのではないかと。お互いの無駄が省ける。	男/70 歳代/尾鷲
27	高齢者が暮らしやすいまちづくり、若い世代が地元にとどまりたいと思えるまち。	男/70 歳代/尾鷲
28	雇用体制が一番必要不可欠です。雇用の創出をし、若者が安心して働ける職場が必要。若者が働ける場所があれば人口も少しづつ増えるであろうと思います。	男/60 歳代/尾鷲
29	休日の変更。	男/50 歳代/尾鷲
30	1 人暮らしの老人(男性)の食事を市で作って配達してほしい。安くしてほしい。	男/70 歳代/尾鷲
31	土日、祝日、長期休み、夜間などに対応したサービスがあればもっと働ける。	女/30～34 歳/尾鷲
32	・まず子どもを育てるにはお金が必要です。何をしてもお金が必要。今の児童給付金ではすぐ消えてしまいます。親としても少し行政の力を貸してもらいたいです。 ・一市民として意見させてもらえるなら、市役所では多くの職員さんがおり、すごく丁寧にして下さる方もいますが、ひとにぎりですら仕事にスマホをいじったりしている人も目につきます。一番嫌な気になるのが、上から目線でものを言う人。公務員はエラいのか？と思い腹が立ちます。まず施策を進めるのであれば職員の教育も兼ねて、尾鷲の人の良さをアピールしてはどうでしょうか。	女/35～39 歳/尾鷲
33	大学や専門学校等で尾鷲を離れてしまう若い人達が、地元に戻って就職できるような環境づくり(1 人でも多く地方公務員、消防士、銀行、農協職員、新しい企業誘致等々)に力を入れてほしい。又、総合病院での奨学金制度がある事等、広く多くの人に知ってもらうよう広報する事が必要だ。	女/70 歳代/尾鷲
34	30～50 年後の尾鷲市の姿を思い浮かべて、計画をたててください。	女/50 歳代/尾鷲
35	高齢化で元気で暇な老人が多々おります。老人力を活用する事はできないでしょうか。軽作業で短時間、少しのごほうびで喜ぶます。尾鷲市の発展に少しでもお役に立てれば。	女/70 歳代/尾鷲
36	広域行政の推進、市町村合併の推進。	男/30～34 歳/尾鷲
37	依然にくらべると、図書館を利用している人はシニアはもちろん、若い母親、子どもも多い。職員も頑張っており感謝している。施設の充実を求めます。	女/70 歳代/尾鷲
38	魚の町を PR していますが、元となる魚市場の現状では、テレビに映って恥ずかしいです。見ている人は尾鷲の魚はおいしいと思うのでしょうか。全国に自慢できる衛生的で魚の鮮度を保てる設備を備えた建物をお願いします。又、火力の煙突の後、尾鷲市のシンボルとして全国から見学に来る施設を切に願います。	男/60 歳代/尾鷲
39	色々頑張っている所が見えます。災害避難には市民の協力が必要ですが、毎年参加者が少なく残念に思っています。(毎年参加)	女/60 歳代/尾鷲
40	高齢の方が多い為、介護サービスを使いたい人が多くいると思います。その中に低所得者の方で特に経済的なことが理由で使えなく無理をし、骨折や転倒してしまうケースが多いと思います。そういう方を特に安心して生活をサポートしていける町づくりをしてほしいです。	女/40 歳代/尾鷲
41	高速道路が南北インターでつながったら、尾鷲の町へよってくれる人がどれだけいるのか不安になるので、まずは交流人口を増やして町の活性化を検討すべき。	女/60 歳代/尾鷲
42	大企業の誘致しかないと思います。(たいへん困難だと思いますが)私の人生、元気で尾鷲の青い海、山々を見て暮らせるのもあと 10 年かな？よろしくをお願いします。元気ある町に！	男/60 歳代/尾鷲
43	若い世代が住みやすい町作り。都会からの移住者の受け入れ。新しい政策。(例:市議会議員の入れ替えなど)	女/60 歳代/尾鷲
44	生産者の職場を増やして若者の増加を願う。	女/70 歳代/尾鷲
45	独身にこのような質問をしてくるのはどうか。好きで独身やってるわけでもないし。「結婚していてあたりまえ」のような田舎の風潮が好ましくない。	女/25～29 歳/尾鷲
46	市は市、市民は市民と分けられている体制をもっと寄りそう市政が出来ればいいと思	女/70 歳代/曾根

	う。市役所の職員さんは、市民に対しての声かけが余り出来てない様に感じられる。例えば挨拶とか。	
47	子育て世帯へ市独自で給付があり非常に助かった。(新型コロナの影響のため)子育てしやすい環境であることを外部にも PR すべきだと思う。現在児童館などが閉鎖されており、子育てに孤独感を感じやすい状況になっている。行政として子育て世帯を訪問する、感染対策がなされた交流の場を提供するなどしてほしい。	女/25～29 歳/尾鷲
48	市民がゆっくり穏やかに暮らせるような、人に優しい町づくり	男/60 歳代/三木里
49	海、川、山とても良い所の多い所。おわせは自然を大切にしてい若人たちの力と色々と経験してきたシニアの方々の知恵を借りて、子どもたちがおわせに帰ってきたいと思える様な町づくりに期待します。	女/60 歳代/尾鷲
50	企業誘致。若者が安心して働ける地域づくり。	男/60 歳代/尾鷲
51	人が生活する中で、最低限必要な「衣食住」の食の一次産業に力を注ぐべきでは？尾鷲市には幸い、魚に関する資源があり、就労してもらうような働きかけが今以上に必要では？職業選択の自由や労働環境等で若い人からは敬遠されがちであるが、人口減少・少子高齢化、当地方だけの問題ではないが、それと三重県でも東紀州地域は過疎化が顕著で令和の市町村合併(県を超え広域的に)もハードルは高いが視野に入れ、施策を進めるべきだと思います。	男/50 歳代/尾鷲
52	県外から移住したばかりです。(約 2 年)このアンケートに答えるのが疲れた。もっとシンプルがいいと思う。	女/70 歳代/尾鷲
53	豊かな自然を生かして老後を豊かに過ごせるリゾート介護施設。これから若者は減るし老人の方が豊か。富裕層向けの引退後の施設の集積。足をのばせば観光地も多い。いつまでも若者向けの施設にこだわることない。テレビで取り上げられた「油壺エデンの園」みたいな施設。当然雇用もうまれるし、まだあまり先例がない。	女/50 歳代/尾鷲
54	若い人の減少はさけられない現状を鑑み、老人の活動の場を幅広い分野で考え提案していくようなことも必要ではと思う。	男/70 歳代/尾鷲
55	市はまだ集客を考えているようですが、コロナはまだ 10～20 年かかります。ウィルスが体内に入らないものを考えなければ解決つきません。中電跡地は中電が火力を建設した時をふりかえって下さい。国、大手商社など巻き込んで造りました。問 13 ではあまりにも貧弱です。豊洲市場のように 10～20 年先を見て考えて下さい。	男/70 歳代/尾鷲
56	どうしても必要な物は作るべきだけど、そうでなければ無駄な事に市民の血税を少しでも守ってほしい。私は少し尾鷲を離れて居たので、余りくわしい事が判りませんが、これから一生尾鷲での生活です。年寄にも良くわかる施設をお願いします。	女/70 歳代/尾鷲
57	年配の頭の固い国一議員の意見を重視しすぎず、若者や中年、外からの意見など新しい空気を取り入れつつ、尾鷲の魅力を活かして施策を進めてほしい。国から職員交流してもらい、知恵をもらったり、国とのルートづくりをする。前澤友作のような時の人の知恵を借りるのも斬新→コレクションを SEA モデル計画にのっとして博物館にするとか、尾鷲市を前澤市にするとか。	女/40 歳代/尾鷲
58	市長がんばって下さい。体大事にして下さい。	男/70 歳代/九鬼
59	スポーツ大会、イベント等で集客が図られる施設の建設。例えば年間を通じて使用可能なグラウンドの設置。(野球、サッカー、陸上等の総合グラウンド)防災安全等の体験型研修館を設置し県内外から受講者を受け入れ指導者の育成を図る。防災安全等の情報発信都市として活動する。	男/70 歳代/尾鷲
60	何と言っても人口が増えないといけません。一時都会にあこがれて出ていっても、故郷へ帰ってきてても仕事がないと、よく話を聞きます。	女/70 歳代/古江
61	住みよいと思える町づくりをみんなが何らかの形で参加する形を示してほしい。市民も努力しないでもいい町、地域はできない。5 年、10 年、30 年、50 年の具体的な目標を立て、行政と住民が取り組めば一体感のある地域づくりができるのではないのでしょうか。将来の宝を皆で育てていきたいと思います。宝の元はどこにでもありますよ。	男/70 歳代/尾鷲
62	北インター、南インターがつながれば車が南へ直行すること目に見えている。尾鷲の魅力は何か。尾鷲に途中下車される方策は？よほど大きな魅力的なもの、ことがないと人口がこれからも減少するのでは…。	男/70 歳代/尾鷲
63	若い人達が将来的に戻って来れる様な尾鷲に行きたい。	女/50 歳代/尾鷲
64	私は子育て中ですが、遊び場、公園、小あそび場など施設が少なく、古くて楽しめない。「尾鷲はこれに力を入れてます」などアピールできる町にしたい。例えば、保育園の給食の充実。おやつ手作りでもとてもおいしいなど。他市まで遊びにつれていっている状況。	女/35～39 歳/尾鷲
65	子どもが生まれると思ったよりお金がかかります。これから結婚し、いずれ子どもを考えているという世代に支援事業を積極的に行ってもらえると、もっと尾鷲に人が集まってくると思います。ゴミ袋はありがたいですが、第 2 子以降も倍とはいいいません	女/25～29 歳/尾鷲

	が、プラス 5000 分配布など考えてほしいです。オムツですぐにたまります。住みやすくして活気のある尾鷲になってほしいです。	
66	働く場所、雇用が充実すること。もっと若者たちが望むような商業施設や SHOP をどんどん増やすこと。市外へ行かなくても、この尾鷲市にそういう SHOP があると、若者だけでなく大人たちも買い物しやすく、休日にも市内にいる→将来人が郊外へ流れていかないのではないのでしょうか？	女/40 歳代/尾鷲
67	市のシンボリックだった発電所の煙突も消え、発電所関係者の人も居なくなり、南インターが開通した先に尾鷲に希望はありますか？国道沿いの店舗は消え、総合病院の収入も減少、感染症による経済のダメージ(これは尾鷲に限らず)不安と心配と絶望しか感じません。	女/50 歳代/尾鷲
68	火力発電所の跡地の企業誘致。	女/60 歳代/尾鷲
69	時代をけん引する企業、テレワーク等の利用により大都市圏からの移転を考えている企業や社会インフラに関係する企業を税制優遇等を行って誘致する。会社や社宅(社員や居住できる住宅)など、土地・建物の提供も必要。街の社会的機能を低下させない。1 次産品のブランド化のほか、社会ニーズや市場ニーズの高い事業に対する経済的支援の実施。	男/50 歳代/尾鷲
70	市長の仕事について説明。市役所職員の人間形成、総合病院のニチイの人も見下した言い方しないでください。市役所を明るく入りやすくする。総合病院の職員の再教育、コロナ禍の今、緊張感が無さすぎる。総合病院に明るく清潔感がもっと欲しい。ソーシャルディスタンスの確保をもっとすすめて欲しい。基礎がきちんとしていないと、何をやってもだめですよ！	女/50 歳代/尾鷲
71	公共施設、公共サービス等そして医療、災害等、人命尊重に今後も尽力願います。「人がいない」と本当に困りますが、現状はしかたがなく、今いる自分たちががんばるしかありません。あと私的には各家庭が出すゴミの処理について、尾鷲市の体制が不満です。紀北町のような地域ごとにエコステーションを設置したいのですが、どうでしょう？	女/50 歳代/尾鷲
72	市の職員の増加は、特に若い人を増やしてほしい。次の時代に向かって青年の育成、地域企業の応援(ヤーヤ)の営業出張。例えば尾鷲・・を使った食べ物、飲み物の新商品の開発。市の職員が失敗を恐れず挑戦できるような環境、そして文化的なことで最終的には人の交流が多くなり発展していったほしい。(昨今の変化の激しい中、少数精鋭でのご活躍に感謝します)	男/50 歳代/尾鷲
73	市役所に「津波は逃げるが勝ち！」とあります。私の兄は足が不自由です。以前介護認定にきた紀北広域連合の若い職員は、「そういう人達はあきらめてます」と言ってきました。行政は弱者に蓋をしています。兄の住んでいる矢浜下地地区は何も手つかずです。行政は SEA ではなく、火力跡地を、迫りくる南海トラフに真摯に取り組み弱者にも目を向けてほしいです。	女/60 歳代/尾鷲
74	若者が離れていかないまちづくりを積極的に取り組むべきだと思います。高齢者を介護できる要員もいなくなり、ひいては尾鷲市の存続にも関わると思います。	女/40 歳代/尾鷲
75	老人さんが増えてくるので、横文字などの言葉を使わずわかりやすい表記をしてほしい。市役所の職員は公務外では街で会っても、近所の人でもあいさつできる人がいない。どのような環境で仕事をしているのか不思議に思うので、普通の人のように「あいさつ」ができる人材を期待する。	男/40 歳代/尾鷲
76	尾鷲総合病院に何が必要か考えて市民の健康を守る。道路整備を早く進める。尾鷲市内の雇用を増やす。子育て支援と不妊治療助成金の充実、認定こども園設立。	男/50 歳代/尾鷲
77	若い人、老人も笑顔で楽しくすごせる明るい尾鷲市を。	男/70 歳代/三木里
78	財政が厳しく大変だとは思いますが、これだけ人口が少なくなっていくと、これから先益々きびしくなっていくと思います。減少にはだめを！	女/70 歳代/梶賀
79	火力、東邦石油の施設の取りこわし後の、特に希望する活用について(多目的広場の設置について) 芝生、春の桜、秋の紅葉が楽しめる憩いの場所を作って頂きたい。一度おとずれたら市民、市外を含め、又おとずれたいと思うような場所にしてもらいたい。例えば紀北町の勸兵衛の里、熊野市の山崎公園のような施設をお願いしたい。	男/70 歳代/尾鷲
80	多くの人が働けるような、まず働ける場所を企業誘致。	男/70 歳代/尾鷲
81	私達の市は、山、海にかこまれています。すてきな事です。反面被害も大変です。知恵出し会って頑張りましょう。	男/70 歳代/賀田
82	市議会議員、現在の人数で如何ですか。私的にはすべて活動してないようで。もう少し減らしてもいいと思う。	女/70 歳代/梶賀
83	安心、安全に暮らせることー自然災害や伝染病等、広い意味での災害に的確に対応できること。	女/70 歳代/尾鷲

84	若い人達がどんどん入ってくるような、魅力的な町づくり。そして若いも若きも楽しく暮らしてゆける町づくりが出来たらいいと思っています。	女/70 歳代/尾鷲
85	熊野古道センターも避難場所に利用させてほしい。	女/70 歳代/尾鷲
86	人のつながり、人のやさしさが実感できるような施策。尾鷲をほこりに思えるように。	男/70 歳代/尾鷲
87	・市会議員が多すぎる。給料を下げる。 ・市会議員は何の仕事をしているか判らない。 ・もう少し学校を卒業した若者に仕事が出来る様配慮すべき！ ・市役所人数が多すぎる！	女/70 歳代/尾鷲
88	尾鷲市環境条例の制定し、賀田湾の水質汚だくの改善対策。	女/60 歳代/古江
89	どの質問項目においても、新型コロナウィルスの感染防止の為、(祭り、イベント、講習会 etc)ほとんど開催されていない状況で答えづらい設問が多々ありました。コロナの終息をいのるばかりです。※若い方々が町に残り活躍できる場を多くして欲しいです。	女/70 歳代/三木浦
90	子育て中なので子育てについてもっと考えて頂きたいです。施策を進める方、決定する方に女性の方、現在子育て中の方がいないのが気になります。子育ても時代とともに大きく変化すると思うのです、子育て経験のある方ではなく現在進行形で子育てしている人やこれから子育てしていく方、女性目線でもっと考えて欲しいと思います。このアンケートも全員が返信は難しいかもしれませんが、せっかく良いまちづくりを目指してくれているので全世帯に送付してほしいです。	女/35～39 歳/尾鷲
91	当市のネックは交通の便が悪く、来にくい点だと思うが、それを逆に利点とできないだろうか？施策はプロ(市職員等)ががんばって考えて示してほしい。その妨げとなるのであれば、議会の動きを制限したり、直接市民に意見を問うたりしてほしい。	男/50 歳代/尾鷲
92	綺麗な公園、安心してあそばせられる施設の充実。	男/30～34 歳/尾鷲
93	市民に見えるような行政の動き。総合病院の魅力づくり。(患者対応、スタッフの教育)夜間の照明の秩序を望む。	女/60 歳代/尾鷲
94	背伸びせず、コンパクトな尾鷲市をめざしてほしい。	男/70 歳代/尾鷲
95	若い人の就労場所の確保。	男/70 歳代/三木浦
96	高齢者の自動車運転免許の返納を推進させ、公共交通を使わせることで市財政を豊かにし、スムーズな交通状況をつくりだす。アンケートをしてみて尾鷲市が目指す未来、現状と市民が考えていることが考えていることが乖離しているように思えた。実際、尾鷲市に何かを期待している人間などいるのだろうか？	男/35～39 歳/尾鷲
97	若い人が住みたいと思えるまちにならないと人は減る一方だと思います。施策だけでなく、若い人にとっての魅力あるまちづくりが必要だと思います。豊かな自然だけでは魅力につながらないと思います。	女/35～39 歳/尾鷲
98	温故知新、おもいきって今の常識を捨て、尾鷲が繁栄した基礎を築いてきた人々を今一度学び、その頃のように常に新たな発想を大切にスピーディーにチャレンジする事が大事だと思います。ぐずぐずしていると道の駅と同じで SEA モデルデザインも実現不可能でしょう。	女/50 歳代/尾鷲
99	子育て世代が住みやすい、生活しやすい街になってほしいです。今の尾鷲では選択肢が少ないと思います。子育て世代が住みやすいと人口も増えてくるのではないのでしょうか。子どもの声がきこえる街になってほしいです。	女/35～39 歳/尾鷲
100	レジャー施設(プール)、災害時の避難施設	男/70 歳代/尾鷲
101	役所で働く人達の尾鷲市への関心、思いやり、対人対応の改善。	女/35～39 歳/尾鷲
102	子育てや若い人たちに定住してもらうためにも、医療や病院、医師の確保なども必要だと思います。また遊び場や公共施設の充実も願います。賃貸など(土地も含め)金額が高いのも住みにくい一つだと思います。	女/30～34 歳/尾鷲
103	現実的に少子高齢化社会になっております。この事に向き合った施策をお願いしたいです。病院問題は一番気がかりです。若い人の定着など色々大変とは思いますが。	女/70 歳代/賀田
104	企業誘致を協力的に進めてもらいたい！	男/60 歳代/尾鷲
105	無駄なことは特にやめて欲しい。このアンケートでふれられている人口減少、持続可能なキーワードと保育園をいくつもつくるのがまったくつながらないのは明白で、このようにアンケートをとりながら無駄なお金を使うことの両方をする事は、市民をぐろうしている。又は本気の意志が感じられない。しかしその事が市会議員によることであれば、いつまでも続くのであれば、どうすることもできないと考えてしまう。	男/50 歳代/尾鷲
106	新しい人の流れの創出。	男/35～39 歳/尾鷲
107	・市議会議員数を極限まで減少させて下さい。 ・市議会の youtube 動画について、音がほぼ聞こえない。音量が小さすぎて聞こえない。ずっと前からその状況を放置している。音量を上げて調整して動画あげて下さい。 ・防災無線の音量を下げて下さい。うるさくて頭が痛いです。大音量でもどうせ大雨	男/40 歳代/尾鷲

	の日は聞こえませんよ。 ・防災無線を利用した朝 7 時の時報放送を止めて下さい。朝 7 時におきたくない、うるさいです。多様な職所の人を受け入れるなら、すべての時報放送を止めるべきですが、とりあえず朝 7 時は止めてほしいです。	
108	先日市の窓口で対応してもらいましたが、とてもやさしく対応してもらい高齢者にとって安心しました。私自身、耳はしっかりきこえますが、きこえにくい方にも対応してくれると思います。コロナ対策でカバーをしているので見づらくきこえづらがあると思いますので、益々の親切をお願いします。	女/70 歳代/尾鷲
109	・漁業と林業の活性化。漁師の経験の無い人でもできる、高級魚介類の繁殖の推進。現在では、うなぎ、アワビ、本マグロ、ハタ類のすばらしい最新の技術がある。視察すべきだ！ ・修正材工場の誘致、材料にこと欠くことは無いし、高速道路の利用で運搬も容易。 ・町の美化について、道路際の雑草について毎年の草刈りではなく、高圧洗浄機等で土を取り除き、充填剤等で二度と生えないように、そんな部署を作ってはどうか。高齢者でもできる。	男/70 歳代/尾鷲
110	夢をもつ子どもや夢の実現に努力できる学生を育てる環境が整っていないので、尾鷲では生活できない子や尾鷲には帰ってこない子の二極化が生まれているように思います。尾鷲に居ても都市部の子と競える能力があり夢を実現できる子が増えれば、尾鷲に居たくなる。住みたくない人が減るのでは。頑張れる環境がなければ、意欲のない子ども、あきらめた大人しか住まない街になるような気がしてなりません。	女/50 歳代/尾鷲
111	雇用の増加、企業誘致。	男/50 歳代/尾鷲
112	70 才をすぎており福祉を重点的に進めて下さい。	女/70 歳代/尾鷲
113	体育会系の高校、例えば水泳に力を入れて県内外から若者を集める取り組みも良いかと思う。	男/40 歳代/尾鷲
114	市職員の意識改革が必要。	男/60 歳代/尾鷲
115	地場産業の進展計画を充実させ、若者に働く場所をあたえて下さい。市の財政の活性化にもつながり、市民の生活、又市民の若返りにも反映されると思われます。	男/60 歳代/尾鷲
116	尾鷲市職員の仕事でのトヨタ生産方式。	男/50 歳代/尾鷲
117	将来の尾鷲市民に負の遺産を残さないよう、財政に負担をかけない市政を望みます。	女/50 歳代/尾鷲
118	人口減少への対策。	女/35～39 歳/尾鷲
119	観光業に力を入れる。→大規模な企業に来てもらう。 ※世界遺産があるのだから、国内に留まらず世界にも発信する。 外(つりぼり、海水浴、古道、便石山登山、トレイルラン)、内(ボルダリング、アウトレット、(三井住友)ジャズドリーム)、宿泊施設、キャンプ場。 ※資金はクラウドファンディングも使用する。東海地方で一番大きい規模にしないと意味がない。尾鷲の知名度をUPさせる。	女/70 歳代/尾鷲
120	尾鷲市は昔から何をしても中途半端で、赤字を増やしているだけなので、今までの考えをすべてなくすべき。単純に田舎から発展した例をマネてまずは人口の確保からの夢を語るべきです。	男/40 歳代/尾鷲
121	他人(ひと)にやさしい町づくりをすすめるためにも、人権などについての講演、研修の回数を多くすること。文化レベルをあげるためにも文化会館などを活発にすべき。	女/70 歳代/九鬼
122	高齢者が増えています。これからどんどん増えていきます。若者の地域定着も重要ですが、高齢者が住みよい市にしていける事も大切だと思います。高齢者がもっともつというんな所でしやすい、生活しやすい状況を作してほしいと思います。	女/60 歳代/尾鷲
123	いつもありがとうございます。今はコロナ対策で大変な時期ですが、市でコロナが広がらないよう様々な対応をさせていただきありがとうございます。終息まで安心して生活できるまちづくりをお願いします。	男/20～24 歳/尾鷲
124	やはり火力跡地の S E A モデルに期待したいですね。私はアイデアマンじゃないので何も浮かんできませんが、少し「キバツ」な考えだとしても良ければ試してみるといいですね。お役に立てなくてすみません。	女/50 歳代/尾鷲
125	移住定住を進めるために、雇用が重要です。またそこで家族で暮らすためには、子育てをしながら仕事ができる環境が必要です。自然の中で子育てしたいと望む方は多いですが、祖父母のサポートがない中での両立はかなり難しいこと。重要なことは多く選びたいが、何か 1 つこの町のキャッチコピーとなるような目立つ施策を考えてほしい。	女/70 歳代/尾鷲
126	地域の産業を活性化する。ブランド化、6 次産業化等。古い風習を打開し新しい産業を育成する。	男/60 歳代/三木浦
127	10 代から 30 代による尾鷲の将来像を作成させ、幅広い施策を行うのではなく重点的に施策を進め、着実に変化を感じさせる社会を進めていくべきだと思う。	男/60 歳代/尾鷲

128	仕事がないのは痛い。(賃金が安い)医療能力が低い。(小児の受診、市外に出ないと受診できないのはだめでしょ)	男/40 歳代/尾鷲
129	今進めている施策を続けてほしいと思います。特に若者の流出をふせぐような企業誘致の推進。災害対策の充実など。	女/70 歳代/尾鷲
130	コロナ対策、災害に強いまち、子どもがたくさん遊びに来るまち、子どもを連れてきた父母、祖父母をターゲットにした施設を作してほしい。	男/35～39 歳/尾鷲
131	保育園の質を高めてほしい。今までと同じ保育をずっとしてる。(斜めがけ園バック、脱脂粉乳)。それぞれ民営化というか特色化して利用者が選べるようにしないと、質の向上はないと思います。利用者が選ぶようにすると、各園で競争もおこって少しは保育の質も良くなると思うのですが。	女/40 歳代/尾鷲
132	年功序列ではなく、やる気、元気、活動する人を最前に出してほしい。市役所へ行っても、暗く、活気がなく、気力が感じられない。	女/60 歳代/尾鷲
133	尾鷲市の場合、財政問題が大変な状態。今までのやり方では若者には大変な苦勞をかけると思う。	女/70 歳代/須賀利
134	とにかく人口減は市税収入から始まる貧の連鎖の始まり。中電にたかって来た市の将来は、このまま行けば夕張市。市民が安心して暮らせる街レベルではなくなる。人口減は生活に必要な全てのものをなくしてしまいます。今まで我々は経験してきている。これ以上人口が減らないような施策、雇用の場の創設 etc、これにつきるでしょう。最近一番大切なこの課題を言わなくなっているのでは、市民皆あきらめたんかい。議員はもちろんのこと、市のリーダーも、職員も何も危機感が感じられない。	男/70 歳代/尾鷲
135	人(特に若者)が他へ流れていくのを防ぐために、進学先や雇用先を増やしてほしいです。	女/10 歳代/尾鷲

(14) その他意見

回答者属性 あなたの主な職業をお聞かせください。(複数の場合は主な職業をお答えください)

介護職
販売員
農業
船員
団体職員

問4 新型コロナウイルスを含む感染症対策として、市はどのようなことをすべきだと思いますか。

1	一次的な封鎖でなく持続してほしい。特に漁港周辺。
2	感染が多い県内外からの移動を自粛要請する。
3	人権保護
4	市民も事業者、事業所も行政もやるべきことをやる。その上で必要な場合に支援を認めていく。
5	風評被害等の防止策。
6	市民同士のうわさなど悪い話をさける対策を行う。
7	市や人をあてにせず、自分自身、家族を守る。
8	国、県と連携した経済的な支援、地域活性化等を行う。
9	市内循環のふれあいバスの大きさ、間隔によっては満員の時がある。
10	民間業者の予防対策を支援する。
11	差別(コロナによる)がおきないように誘導する。
12	尾鷲市への人の出入りを完全封鎖するくらいでも良いと思う。

問5 地球温暖化の影響について、あなたはどのようなことに関心がありますか。

1	自然災害全般
2	温暖化に伴う環境の変化。
3	人知を超えた大天変地異(大災害)によるその後の対応。

問6 温室効果ガスの排出を抑制するため、市はどのようなことを重点的に進めていくべきだと思いますか。

1	抑制の必要はない。
2	正しい知識を身につける。
3	個人のマナー・モラルの質を上げる為の案を。大人より子どもの方がいいようでは尾鷲人のレベルが問われる。
4	なにもしなくてよい。税金を使って取り組んでもそれほどの効果はない。(尾鷲では)
5	下水処理の改善
6	事業所が庭でゴミをもやす量を削減させる
7	ペットボトル、かん電池、けい光灯などの回収場所がわかりにくい。もっと場所を増やしてほしい。資源ゴミも月1じゃなく月2回などにしてほしい。

問8 持続可能な社会を創っていくため、本市のまちづくりではどのようなことに重点的に取り組むべきだと思いますか。

1	貧困をなくそう。子どもの貧困が問題になっているが、尾鷲では現状はどうなっていますか？
2	未来を担うのは今の子どもたちです。SDGsの学習に力を入れるべきです。
3	各近隣市町村との連携による協力体制。
4	広報おわせに掲載し、市民周知と理解を勤める。
5	子育て支援、若者が町に残るための支援。
6	取り組む必要はない。取り組み方に問題あり。

問 9 あなたは、先進技術の導入について、どのような印象やイメージをもたれますか。

1	車がない高齢者の助けになれば良い。
2	人と協力して働ける(協働)ロボットがすでに開発され導入されています。期待したいです。
3	個人差が広がり、理解しないまま高度な技術を利用すると人間の能力が退化しそう。
4	尾鷲で導入することは、ニーズや生活の充実よりもコスト面の方が大きいと思う。
5	人間的な創造的なものの創出。
6	内容がむずかしすぎてわかりづらい。
7	先進技術の向上は必要不可欠とも言えますが、高齢者にはわからない事ばかりです！
8	単純な作業の仕事は、AI がするようになる。
9	高齢者がすでについていけない。
10	すべての人がその恩恵を享受できるような施策が必要。
11	5G による電磁波が人体に与える影響が心配される。
12	高齢の一人暮らしだといけいけない。対応できるよう考えてほしい。
13	情報弱者が搾取され続ける。

問 10 先進技術の導入により、行政サービスについては、「デジタル化による利便性向上」「インフラ管理コストの低減」などが期待されます。このような取り組みについて、どのように思いますか。

1	積極的に取り込みながら、高齢者やついていけない方のフォロー等しっかりした体制をつくる。
2	年配者には理解しにくい気がする。
3	一定期間、両輪で選択できる形をとりつつ、すすめていく。
4	全ての市民が恩恵を受けるようにすべき。
5	受け手の格差がないようにしてほしい。
6	誤用、不正使用、悪用が懸念される。
7	デジタル化により個人がより管理される恐れがある。
8	職員を減らせるなら導入すべき。
9	積極的に取り組んでほしいが、セキュリティを万全なものにしてほしい。
10	IT リテラシーの低い方々への配慮を十分に図った上で推進すべき。
11	普及と啓発を両方推進すべき。
12	デジタル化についていけない人材がいる？
13	導入は賛成ですが、デジタル化についていくのが難しい世代へのフォローや手助けがほしいと思います。
14	対面サービスとデジタルサービスで処理できる作業を同じにしてはならない。(人間の心までデジタル化されて、職員の対面サービスが不愛想にならない様にとの意味)

問 15-1 現在、結婚していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	コロナ
---	-----

問 16 尾鷲市が重点的に取り組むべき結婚支援事業は何だと思えますか。

1	子育て支援
---	-------

問 19 理想的な子どもの数を実現するために、障壁となること(なりそうなこと)は何ですか。

1	出産可能な施設や子どもかかりつけの HP が充実してほしい。
---	--------------------------------

問 20 今後、育児に関するサービスとして、尾鷲市が最も力を入れるべきだと思うのは次のうち、どれですか。

1	全ての子育て世帯の意見を聞くこと。
2	わからない。
3	病児・病後児保育、学童保育の拡充。

(15) クロス集計

問４×属性クロス 新型コロナウイルスを含む感染症対策として、市はどのようなことをすべきと思いますか。（重要と思うもの３つまでに○）

			回答数	市民に予防のための方法を 広報する	検査体制を充実する	テレワークを推進する	役所や公共施設において予防対策を徹底する	民間施設、飲食店などにおける 予防対策の要請を強化する	尾鷲総合病院における医療体制を 充実する	民間の医療施設、介護施設における医療体制の充実を支援する	収入が減った個人に経済的な支援を行う	経営状況が悪化した事業所等に 経済的な支援を行う	支援する て、市民や事業者等と協力して	影響を受けた漁業などに対しては 自粛を要請する	不要不急の人の移動については 自粛を要請する	その他	無回答
(重要と思うもの3つまでに○)			(N)														
総計			346	942	26.0%	56.9%	4.3%	13.3%	15.3%	59.2%	22.8%	14.7%	11.0%	10.7%	27.2%	3.5%	7.2%
性別	男性	140	376	21.4%	56.4%	3.6%	12.9%	18.6%	59.3%	22.9%	15.7%	8.6%	10.7%	26.4%	4.3%	7.9%	
	女性	204	562	29.4%	57.4%	4.9%	13.2%	13.2%	59.3%	23.0%	14.2%	12.7%	10.8%	27.9%	2.9%	6.4%	
年齢	10歳代	3	9	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	
	20～24歳	9	26	11.1%	66.7%	22.2%	11.1%	11.1%	66.7%	11.1%	33.3%	22.2%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	
	25～29歳	8	20	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	62.5%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	
	30～34歳	19	55	26.3%	31.6%	15.8%	15.8%	26.3%	42.1%	31.6%	42.1%	10.5%	15.8%	21.1%	10.5%	0.0%	
	35～39歳	22	56	0.0%	59.1%	18.2%	0.0%	9.1%	59.1%	4.5%	27.3%	31.8%	22.7%	18.2%	0.0%	4.5%	
	40歳代	42	114	28.6%	59.5%	4.8%	4.8%	16.7%	64.3%	23.8%	14.3%	7.1%	11.9%	23.8%	7.1%	4.8%	
	50歳代	50	132	24.0%	60.0%	4.0%	10.0%	6.0%	58.0%	20.0%	20.0%	12.0%	14.0%	20.0%	8.0%	8.0%	
	60歳代	79	220	27.8%	67.1%	1.3%	17.7%	11.4%	60.8%	30.4%	11.4%	6.3%	10.1%	27.8%	1.3%	5.1%	
	70歳代	108	298	31.5%	56.5%	0.0%	16.7%	23.1%	60.2%	22.2%	5.6%	9.3%	6.5%	34.3%	0.9%	9.3%	
80歳	6	12	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	50.0%		
居住地	尾鷲地区	289	790	27.3%	56.7%	5.2%	14.5%	15.6%	59.2%	21.8%	14.9%	10.7%	9.3%	28.4%	3.8%	5.9%	
	尾鷲地区以外	56	149	19.6%	57.1%	0.0%	7.1%	14.3%	58.9%	28.6%	14.3%	12.5%	17.9%	19.6%	1.8%	14.3%	
就業状態	会社員・公務員	96	259	18.8%	55.2%	6.3%	12.5%	9.4%	53.1%	29.2%	25.0%	13.5%	11.5%	19.8%	9.4%	6.3%	
	自営業	43	108	11.6%	53.5%	2.3%	9.3%	14.0%	60.5%	18.6%	14.0%	18.6%	4.7%	25.6%	2.3%	16.3%	
	パート・アルバイト	45	123	28.9%	71.1%	6.7%	6.7%	13.3%	57.8%	11.1%	17.8%	11.1%	20.0%	24.4%	0.0%	4.4%	
	専業主婦(主夫)	64	177	40.6%	46.9%	3.1%	20.3%	15.6%	59.4%	17.2%	9.4%	7.8%	12.5%	34.4%	3.1%	6.3%	
	学生	7	20	14.3%	57.1%	42.9%	14.3%	14.3%	57.1%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	
	無職	81	228	30.9%	61.7%	0.0%	12.3%	23.5%	66.7%	29.6%	4.9%	7.4%	6.2%	32.1%	0.0%	6.2%	
	その他	10	27	20.0%	50.0%	0.0%	30.0%	20.0%	60.0%	20.0%	10.0%	0.0%	20.0%	30.0%	0.0%	10.0%	

【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

問5×属性クロス 地球温暖化の影響について、あなたはどのようなことに関心がありますか。
(重要と思うもの3つまでに○)

				害の増加	熱中症の増加	化暑・暖冬など、気候の変化	影響農産物の収穫量・品質への影響	影響水産物の収穫量・品種への影響	干ばつや渇水による水不足	竜巻危害の増加	海面上昇による高潮被害	光化学スモッグの増加など、大気汚染の悪化	滅動物植物の生息地の変化や絶	その他	特に関心はない	無回答		
(重要と思うもの3つまでに○)				(N)	回答数													
総計				346	942	75.7%	27.5%	67.3%	22.5%	22.3%	4.0%	4.6%	15.0%	11.3%	15.3%	0.9%	1.7%	4.0%
性別	男性	140	376	71.4%	22.1%	71.4%	25.7%	23.6%	3.6%	4.3%	14.3%	10.7%	12.9%	1.4%	2.1%	5.0%		
	女性	204	562	78.9%	31.4%	64.7%	20.6%	21.1%	4.4%	4.9%	15.7%	11.8%	17.2%	0.5%	1.0%	3.4%		
年齢	10歳代	3	9	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%		
	20～24歳	9	25	77.8%	22.2%	77.8%	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%	22.2%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%		
	25～29歳	8	20	62.5%	0.0%	50.0%	50.0%	12.5%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%		
	30～34歳	19	48	68.4%	36.8%	52.6%	21.1%	31.6%	5.3%	0.0%	0.0%	10.5%	21.1%	0.0%	0.0%	5.3%		
	35～39歳	22	61	63.6%	36.4%	63.6%	27.3%	31.8%	0.0%	4.5%	9.1%	0.0%	36.4%	0.0%	4.5%	0.0%		
	40歳代	42	114	78.6%	40.5%	59.5%	26.2%	9.5%	0.0%	9.5%	16.7%	9.5%	14.3%	2.4%	2.4%	2.4%		
	50歳代	50	137	70.0%	32.0%	66.0%	18.0%	34.0%	0.0%	6.0%	12.0%	4.0%	24.0%	4.0%	2.0%	2.0%		
	60歳代	79	220	84.8%	25.3%	78.5%	17.7%	17.7%	2.5%	3.8%	21.5%	7.6%	13.9%	0.0%	2.5%	2.5%		
	70歳代	108	296	79.6%	22.2%	67.6%	24.1%	24.1%	8.3%	3.7%	13.0%	18.5%	7.4%	0.0%	0.0%	5.6%		
80歳	6	12	33.3%	0.0%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%			
居住地	尾鷲地区	289	785	75.4%	28.4%	67.8%	22.5%	19.7%	3.5%	4.8%	15.2%	10.7%	17.3%	1.0%	2.1%	3.1%		
	尾鷲地区以外	56	154	76.8%	21.4%	64.3%	23.2%	35.7%	7.1%	3.6%	14.3%	14.3%	5.4%	0.0%	0.0%	8.9%		
就業状態	会社員・公務員	96	261	75.0%	31.3%	62.5%	27.1%	20.8%	3.1%	7.3%	13.5%	6.3%	18.8%	2.1%	2.1%	2.1%		
	自営業	43	112	65.1%	30.2%	69.8%	25.6%	20.9%	0.0%	4.7%	14.0%	7.0%	9.3%	0.0%	2.3%	11.6%		
	パート・アルバイト	45	122	80.0%	37.8%	60.0%	22.2%	28.9%	0.0%	4.4%	15.6%	4.4%	13.3%	0.0%	4.4%	0.0%		
	専業主婦(主夫)	64	180	81.3%	26.6%	62.5%	18.8%	23.4%	10.9%	3.1%	18.8%	14.1%	17.2%	0.0%	0.0%	4.7%		
	学生	7	20	57.1%	14.3%	85.7%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%		
	無職	81	222	79.0%	18.5%	76.5%	19.8%	21.0%	3.7%	2.5%	14.8%	17.3%	14.8%	1.2%	0.0%	4.9%		
	その他	10	25	60.0%	20.0%	80.0%	20.0%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%		

【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

問6×属性クロス 温室効果ガスの排出を抑制するため、市はどのようなことを重点的に進めていくべきと思いますか。(重要と思うもの3つまでに○)

(重要と思うもの3つまでに○)				(N)	回答数	地産地消を推進する	公共施設の省エネを推進する	地球環境問題に関する情報を提供する	公共交通を便利にし、利用しやすくする	資源ごみの分別などによるリサイクルを推進する	環境学習の機会を提供する	事業者と連携してCO2の排出削減などに取り組む	太陽光発電の設置や緑化推進などに対する助成を充実する	マイバッグ利用を推進するなど、ごみの発生を抑制する	環境問題に取り組む市民活動への支援を充実する	その他	わからない	無回答
総計				346	877	31.5%	26.0%	24.6%	20.8%	36.1%	12.7%	27.5%	19.1%	26.9%	17.9%	2.0%	4.0%	4.3%
性別	男性	140	343	29.3%	25.0%	27.9%	16.4%	34.3%	8.6%	22.1%	23.6%	22.9%	21.4%	2.1%	6.4%	5.0%		
	女性	204	531	33.3%	26.5%	22.5%	24.0%	37.7%	15.7%	31.4%	15.7%	29.9%	15.7%	2.0%	2.0%	3.9%		
年齢	10歳代	3	9	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	20～24歳	9	25	66.7%	22.2%	11.1%	11.1%	66.7%	0.0%	33.3%	22.2%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%		
	25～29歳	8	15	25.0%	0.0%	12.5%	12.5%	37.5%	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%		
	30～34歳	19	41	31.6%	26.3%	15.8%	21.1%	26.3%	5.3%	21.1%	26.3%	15.8%	10.5%	5.3%	10.5%	0.0%		
	35～39歳	22	49	54.5%	22.7%	13.6%	22.7%	13.6%	13.6%	22.7%	9.1%	9.1%	31.8%	9.1%	0.0%	0.0%		
	40歳代	42	112	28.6%	33.3%	19.0%	33.3%	31.0%	21.4%	33.3%	23.8%	14.3%	21.4%	4.8%	2.4%	0.0%		
	50歳代	50	128	36.0%	32.0%	16.0%	16.0%	38.0%	16.0%	32.0%	26.0%	28.0%	8.0%	0.0%	6.0%	2.0%		
	60歳代	79	209	29.1%	25.3%	38.0%	17.7%	35.4%	12.7%	25.3%	17.7%	35.4%	17.7%	1.3%	5.1%	3.8%		
	70歳代	108	277	25.9%	21.3%	28.7%	22.2%	43.5%	11.1%	25.9%	15.7%	29.6%	22.2%	0.9%	1.9%	7.4%		
80歳	6	12	16.7%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%			
居住地	尾鷲地区	289	731	32.9%	27.0%	23.9%	20.1%	36.0%	11.4%	28.0%	19.7%	26.0%	17.6%	2.4%	4.2%	3.8%		
	尾鷲地区以外	56	143	25.0%	21.4%	26.8%	25.0%	37.5%	17.9%	25.0%	16.1%	32.1%	17.9%	0.0%	3.6%	7.1%		
就業状態	会社員・公務員	96	237	36.5%	18.8%	20.8%	25.0%	31.3%	13.5%	22.9%	29.2%	20.8%	15.6%	3.1%	7.3%	2.1%		
	自営業	43	106	34.9%	34.9%	25.6%	16.3%	32.6%	14.0%	18.6%	16.3%	20.9%	20.9%	0.0%	4.7%	7.0%		
	パート・アルバイト	45	115	24.4%	37.8%	22.2%	15.6%	35.6%	8.9%	37.8%	15.6%	28.9%	17.8%	6.7%	0.0%	4.4%		
	専業主婦(主夫)	64	164	32.8%	21.9%	26.6%	25.0%	40.6%	20.3%	26.6%	9.4%	29.7%	15.6%	0.0%	1.6%	6.3%		
	学生	7	19	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	42.9%	14.3%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%		
	無職	81	214	23.5%	27.2%	32.1%	18.5%	40.7%	8.6%	32.1%	19.8%	32.1%	21.0%	1.2%	2.5%	4.9%		
	その他	10	22	40.0%	10.0%	10.0%	30.0%	30.0%	10.0%	20.0%	10.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%		

【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

問7×属性クロス 本市では、地震や台風などの大規模自然災害に強いまちづくりを進めるため、「国土強靱化地域計画」の策定を進めています。これは、大規模自然災害に備えた強靱な地域づくりを進めるため、事前防災・減災や迅速な復旧・復興のための総合的な取組をとりまとめた計画になります。この計画の策定にあたり、地震や台風・集中豪雨などの大規模自然災害に事前に備えるべき目標として、優先度が高いと思われるものは次のどれになりますか。（優先度が高いと思われるも3つまでに○）

			回答数	人命の保護が最大限図られること	救助・救急、医療活動等が迅速に行われること	必要不可欠な行政機能が確保されること	必要不可欠な情報通信機能が確保されること	経済活動を機能不全に陥らせないこと	生活・経済活動に必要な最低限のライフラインが確保され、早期復旧を図ること	制御不能な二次災害を発生させないこと	地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備すること	無回答
	(優先度が高いと思われるも3つまで)	(N)										
	総計	346	967	75.4%	65.6%	12.1%	18.8%	3.2%	76.0%	12.1%	12.7%	3.5%
性別	男性	140	388	72.1%	62.1%	12.9%	17.9%	7.1%	72.9%	8.6%	20.0%	3.6%
	女性	204	575	77.9%	68.6%	11.8%	19.6%	0.5%	77.9%	14.7%	7.4%	3.4%
年齢	10歳代	3	9	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%
	20～24歳	9	25	77.8%	66.7%	0.0%	0.0%	11.1%	66.7%	22.2%	33.3%	0.0%
	25～29歳	8	20	37.5%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	75.0%	25.0%	12.5%	0.0%
	30～34歳	19	52	68.4%	57.9%	15.8%	36.8%	0.0%	52.6%	21.1%	21.1%	0.0%
	35～39歳	22	64	68.2%	68.2%	13.6%	22.7%	4.5%	86.4%	13.6%	13.6%	0.0%
	40歳代	42	118	64.3%	81.0%	16.7%	16.7%	2.4%	76.2%	11.9%	11.9%	0.0%
	50歳代	50	145	84.0%	76.0%	10.0%	20.0%	2.0%	80.0%	10.0%	8.0%	0.0%
	60歳代	79	223	82.3%	64.6%	13.9%	20.3%	3.8%	77.2%	7.6%	10.1%	2.5%
	70歳代	108	299	79.6%	59.3%	9.3%	16.7%	2.8%	78.7%	10.2%	13.9%	6.5%
	80歳	6	12	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	50.0%
居住地	尾鷲地区	289	808	73.7%	65.7%	12.1%	18.7%	3.5%	76.1%	13.1%	13.5%	3.1%
	尾鷲地区以外	56	156	83.9%	64.3%	12.5%	19.6%	1.8%	75.0%	7.1%	8.9%	5.4%
就業状態	会社員・公務員	96	271	72.9%	66.7%	14.6%	18.8%	2.1%	78.1%	13.5%	14.6%	1.0%
	自営業	43	119	69.8%	72.1%	9.3%	18.6%	4.7%	69.8%	9.3%	16.3%	7.0%
	パート・アルバイト	45	127	71.1%	75.6%	8.9%	20.0%	0.0%	84.4%	15.6%	4.4%	2.2%
	専業主婦(主夫)	64	179	82.8%	64.1%	14.1%	20.3%	0.0%	75.0%	9.4%	9.4%	4.7%
	学生	7	20	71.4%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	71.4%	42.9%	28.6%	0.0%
	無職	81	226	79.0%	58.0%	11.1%	19.8%	7.4%	75.3%	9.9%	13.6%	4.9%
	その他	10	25	70.0%	60.0%	10.0%	10.0%	10.0%	60.0%	10.0%	20.0%	0.0%

【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

問8×属性クロス 持続可能な社会を創っていくため、本市のまちづくりではどのようなことに重点的に取り組むべきと思いますか。(あてはまるもの2つまでに○)

				啓発活動 セミナーの開催などの普及	各種の計画への反映	企業などと連携した取組の実施	部署を横断する推進体制の構築	取り組む必要はない	その他	よくわからない	無回答
(あてはまるもの2つまでに○) (N) 回答数											
総計 346 520				18.5%	23.7%	44.8%	26.6%	0.6%	1.7%	24.0%	10.4%
性別	男性	140	215	24.3%	25.0%	43.6%	31.4%	0.7%	2.1%	17.9%	8.6%
	女性	204	303	14.2%	23.0%	46.1%	23.5%	0.5%	1.5%	27.9%	11.8%
年齢	10歳代	3	5	33.3%	0.0%	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20～24歳	9	14	0.0%	33.3%	66.7%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
	25～29歳	8	10	12.5%	12.5%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	50.0%	0.0%
	30～34歳	19	24	15.8%	10.5%	52.6%	15.8%	0.0%	0.0%	31.6%	0.0%
	35～39歳	22	29	4.5%	13.6%	45.5%	18.2%	0.0%	4.5%	31.8%	13.6%
	40歳代	42	65	19.0%	33.3%	52.4%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	7.1%
	50歳代	50	78	16.0%	30.0%	42.0%	40.0%	0.0%	2.0%	18.0%	8.0%
	60歳代	79	117	13.9%	25.3%	40.5%	24.1%	1.3%	2.5%	31.6%	8.9%
	70歳代	108	169	27.8%	22.2%	43.5%	23.1%	0.0%	1.9%	24.1%	13.9%
	80歳	6	9	16.7%	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
居住地	尾鷲地区	289	431	16.6%	23.9%	45.7%	27.3%	0.7%	1.7%	23.5%	9.7%
	尾鷲地区以外	56	87	28.6%	21.4%	39.3%	23.2%	0.0%	1.8%	26.8%	14.3%
就業状態	会社員・公務員	96	138	16.7%	22.9%	44.8%	28.1%	1.0%	1.0%	18.8%	10.4%
	自営業	43	64	14.0%	20.9%	44.2%	20.9%	0.0%	2.3%	27.9%	18.6%
	パート・アルバイト	45	66	13.3%	20.0%	53.3%	24.4%	2.2%	0.0%	22.2%	11.1%
	専業主婦(主夫)	64	95	15.6%	23.4%	40.6%	21.9%	0.0%	3.1%	31.3%	12.5%
	学生	7	12	14.3%	28.6%	71.4%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無職	81	131	30.9%	30.9%	39.5%	28.4%	0.0%	1.2%	24.7%	6.2%
	その他	10	14	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	10.0%	30.0%	0.0%

【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

問9×属性クロス あなたは、先進技術の導入について、どのような印象やイメージをもたれますか。(あてはまるもの3つまでに○)

			回答数	生活の質が向上する	インターネットやパソコンなどの技術や製品ができる	地域や年齢等によるサービス格差が解消される	消費者の多様なニーズに応えるサービスが提供され、便利になる	インターネットやパソコンなどの技術や製品ができる	ロボットやAIの普及により仕事が奪われ、生活の質が低下する	悪化する	困難な仕事が増え、労働環境が悪い	ロボットやAIなどができない	よって年収や処遇の差が拡大する	情報通信技術の習得度の差による	コンピュータウィルス感染などにより、個人情報の流出が増える	コンピュータを活用した犯罪などが増える	その他	よくわからない	無回答
(あてはまるもの3つまでに○)																			
総計 346 799				26.6%	46.2%	19.1%	24.0%	9.8%	4.3%	20.2%	26.0%	32.1%	3.8%	14.7%	4.0%				
性別	男性	140	328	27.1%	44.3%	22.1%	25.0%	11.4%	4.3%	22.1%	22.9%	35.0%	5.0%	10.7%	4.3%				
	女性	204	468	26.0%	47.5%	17.2%	23.5%	8.8%	4.4%	19.1%	28.4%	30.4%	2.9%	17.2%	3.9%				
年齢	10歳代	3	9	66.7%	66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%				
	20～24歳	9	21	44.4%	44.4%	44.4%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	22.2%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%				
	25～29歳	8	14	37.5%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%				
	30～34歳	19	42	26.3%	52.6%	21.1%	21.1%	0.0%	15.8%	10.5%	21.1%	47.4%	0.0%	5.3%	0.0%				
	35～39歳	22	50	22.7%	45.5%	4.5%	45.5%	18.2%	4.5%	22.7%	18.2%	31.8%	9.1%	4.5%	0.0%				
	40歳代	42	98	28.6%	42.9%	21.4%	21.4%	21.4%	0.0%	21.4%	23.8%	33.3%	7.1%	11.9%	0.0%				
	50歳代	50	125	32.0%	56.0%	22.0%	38.0%	2.0%	2.0%	26.0%	32.0%	24.0%	6.0%	8.0%	2.0%				
	60歳代	79	184	24.1%	54.4%	17.7%	21.5%	11.4%	3.8%	20.3%	26.6%	30.4%	2.5%	16.5%	3.8%				
	70歳代	108	244	24.1%	38.0%	19.4%	17.6%	6.5%	6.5%	20.4%	27.8%	36.1%	1.9%	20.4%	7.4%				
	80歳	6	12	0.0%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%				
居住地	尾鷲地区	289	678	27.3%	48.4%	19.7%	25.6%	10.7%	3.8%	21.8%	24.9%	31.1%	3.8%	13.5%	3.8%				
	尾鷲地区以外	56	120	23.2%	35.7%	16.1%	16.1%	5.4%	7.1%	12.5%	32.1%	37.5%	3.6%	19.6%	5.4%				
就業状態	会社員・公務員	96	218	28.1%	41.7%	17.7%	26.0%	14.6%	6.3%	22.9%	18.8%	27.1%	4.2%	17.7%	2.1%				
	自営業	43	99	18.6%	48.8%	23.3%	32.6%	9.3%	7.0%	14.0%	25.6%	25.6%	9.3%	9.3%	7.0%				
	パート・アルバイト	45	107	31.1%	62.2%	20.0%	28.9%	6.7%	0.0%	17.8%	35.6%	26.7%	0.0%	4.4%	4.4%				
	専業主婦(主夫)	64	145	25.0%	45.3%	15.6%	18.8%	7.8%	6.3%	18.8%	34.4%	29.7%	3.1%	15.6%	6.3%				
	学生	7	19	71.4%	57.1%	42.9%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%				
	無職	81	190	25.9%	43.2%	18.5%	19.8%	7.4%	2.5%	22.2%	24.7%	42.0%	2.5%	22.2%	3.7%				
	その他	10	21	10.0%	30.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	30.0%	30.0%	60.0%	10.0%	0.0%	0.0%				

【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

問 10×属性クロス 先進技術の導入により、行政サービスについては、「デジタル化による利便性向上」「インフラ管理コストの低減」などが期待されます。このような取り組みについて、どのように思いますか。（1つに○）

		(N)	回答数	う、市民サービスが良くなるべき	きない急激な変化には進めにくい	今のままでよい	その他	よくわからない	無回答
	総計	346	346	32.7%	41.6%	5.2%	4.3%	11.6%	4.6%
性別	男性	140	140	35.0%	42.1%	6.4%	2.1%	7.9%	6.4%
	女性	204	204	31.4%	41.2%	3.9%	5.9%	14.2%	3.4%
年齢	10歳代	3	3	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	20～24歳	9	9	44.4%	11.1%	11.1%	0.0%	33.3%	0.0%
	25～29歳	8	8	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	50.0%	0.0%
	30～34歳	19	19	36.8%	42.1%	5.3%	0.0%	15.8%	0.0%
	35～39歳	22	22	45.5%	31.8%	4.5%	9.1%	9.1%	0.0%
	40歳代	42	42	31.0%	42.9%	11.9%	7.1%	7.1%	0.0%
	50歳代	50	50	46.0%	34.0%	4.0%	4.0%	10.0%	2.0%
	60歳代	79	79	34.2%	43.0%	2.5%	5.1%	8.9%	6.3%
	70歳代	108	108	24.1%	50.0%	4.6%	3.7%	10.2%	7.4%
	80歳	6	6	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%
居住地	尾鷲地区	289	289	33.2%	41.9%	4.8%	4.5%	11.4%	4.2%
	尾鷲地区以外	56	56	30.4%	41.1%	5.4%	3.6%	12.5%	7.1%
就業状態	会社員・公務員	96	96	35.4%	33.3%	7.3%	7.3%	12.5%	4.2%
	自営業	43	43	32.6%	39.5%	2.3%	7.0%	9.3%	9.3%
	パート・アルバイト	45	45	42.2%	35.6%	4.4%	2.2%	11.1%	4.4%
	専業主婦（主夫）	64	64	29.7%	45.3%	1.6%	4.7%	14.1%	4.7%
	学生	7	7	42.9%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%
	無職	81	81	27.2%	53.1%	4.9%	1.2%	9.9%	3.7%
	その他	10	10	20.0%	50.0%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%

【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

問 12×属性クロス 人口減少対策として、今後、どのような施策に重点的に取り組むべきと思いますか。（2つまでに○）

				安定した雇用を創出する 基本目標1)	新しいひとの流れをつくる 基本目標2)	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 基本目標3)	4) 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する（基本目標4)	多様な人材の活躍を推進する（誰もが活躍できる地域社会の推進等）	新しい時代の流れを力にしてまちづくりをする（SDGsの実践など、持続可能なまちづくり等）	無回答		
(2つまでに○)				(N)	回答数							
総計				346	614	66.8%	18.8%	29.8%	29.5%	11.3%	9.8%	11.6%
性別	男性	140	248	69.3%	20.0%	28.6%	30.0%	10.7%	8.6%	10.0%		
	女性	204	363	65.2%	17.6%	30.9%	29.4%	11.8%	10.8%	12.3%		
年齢	10歳代	3	6	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%		
	20～24歳	9	16	77.8%	11.1%	33.3%	22.2%	33.3%	0.0%	0.0%		
	25～29歳	8	14	37.5%	37.5%	50.0%	25.0%	12.5%	0.0%	12.5%		
	30～34歳	19	33	52.6%	31.6%	47.4%	31.6%	0.0%	5.3%	5.3%		
	35～39歳	22	39	54.5%	31.8%	45.5%	27.3%	4.5%	13.6%	0.0%		
	40歳代	42	77	78.6%	28.6%	23.8%	31.0%	4.8%	11.9%	4.8%		
	50歳代	50	95	80.0%	12.0%	38.0%	40.0%	10.0%	6.0%	4.0%		
	60歳代	79	140	70.9%	12.7%	27.8%	25.3%	12.7%	15.2%	12.7%		
	70歳代	108	185	63.0%	17.6%	21.3%	29.6%	13.0%	7.4%	19.4%		
	80歳	6	9	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	50.0%		
居住地	尾鷲地区	289	520	68.5%	20.1%	29.8%	31.1%	11.1%	9.3%	10.0%		
	尾鷲地区以外	56	92	57.1%	12.5%	28.6%	21.4%	12.5%	12.5%	19.6%		
就業状態	会社員・公務員	96	175	67.7%	21.9%	31.3%	34.4%	8.3%	10.4%	8.3%		
	自営業	43	78	79.1%	18.6%	34.9%	16.3%	16.3%	4.7%	11.6%		
	パート・アルバイト	45	79	71.1%	15.6%	33.3%	28.9%	4.4%	13.3%	8.9%		
	専業主婦（主夫）	64	112	54.7%	20.3%	26.6%	31.3%	17.2%	10.9%	14.1%		
	学生	7	13	85.7%	28.6%	14.3%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%		
	無職	81	142	66.7%	14.8%	25.9%	30.9%	11.1%	9.9%	16.0%		
	その他	10	15	50.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	10.0%	10.0%		

【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

問 15-1×属性クロス 現在、結婚していない理由（あてはまるものすべてに○）

				い 結 婚 し た い と 思 え る 相 手 が い ない	い 家 族 を 養 う ほ ど の 収 入 が な い	精 神 的 に 自 由 で い ら れ る	経 済 的 に 自 由 が き く	異 性 と う ま く 付 き 合 え な い	い 仕 事 （ 学 業 ） に 打 ち 込 み た	結 婚 資 金 が 足 り な い	ま だ 若 す ぎ る	い 出 会 う 機 会 、 き つ か け が な い	結 婚 に 意 味 を 見 出 せ な い	理 由 は 特 に な い	上 記 以 外 の 理 由	無 回 答		
(重要と思うもの3つまでに○)				(N)	回答 数													
総計				25	48	44.0%	16.0%	12.0%	4.0%	12.0%	20.0%	8.0%	28.0%	32.0%	8.0%	4.0%	4.0%	0.0%
性別	男性	14	26	50.0%	21.4%	7.1%	7.1%	21.4%	21.4%	7.1%	14.3%	21.4%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	
	女性	11	22	36.4%	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%	18.2%	9.1%	45.5%	45.5%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
年齢	10歳代	3	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	20～24歳	8	11	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	
	25～29歳	2	8	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	30～34歳	6	8	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	
	35～39歳	6	17	83.3%	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
居住地	尾鷲地区	24	47	45.8%	16.7%	12.5%	4.2%	12.5%	20.8%	8.3%	25.0%	33.3%	8.3%	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%	
	尾鷲地区以外	1	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
就業状態	会社員・公務員	13	28	61.5%	23.1%	15.4%	7.7%	15.4%	7.7%	15.4%	15.4%	38.5%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
	自営業	1	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	パート・アルバイト	1	4	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	専業主婦（主夫）	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	学生	7	10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	無職	1	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	その他	2	3	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

問 16×属性クロス 尾鷲市が重点的に取り組むべき結婚支援事業は何だと思われますか。
(あてはまるものすべてに○)

				安定した雇用の支援	若い夫婦への住まいの支援	援 婚 祝 い 金 な ど の 経 済 的 支 援	婚 活 イ ベ ン ト な ど に よ る 出 会 い の 場 の 提 供	結 婚 相 談 窓 口 （ 仲 立 ち ）	若 い 世 代 へ の 結 婚 に 関 する 講 習 会	講 座 交 際 術 や マ ナー な ど を 学 ぶ	結 婚 を 推 奨 す る よ う な P R	行 政 が や る 必 要 は な い	そ の 他	無 回 答		
(あてはまるもの3つまでに○)				(N)	回答 数											
総計				61	115	62.3%	39.3%	44.3%	14.8%	4.9%	0.0%	0.0%	1.6%	11.5%	1.6%	8.2%
性別	男性	28	46	60.7%	32.1%	32.1%	10.7%	3.6%	0.0%	0.0%	3.6%	14.3%	0.0%	7.1%		
	女性	32	68	62.5%	46.9%	56.3%	18.8%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	9.4%	3.1%	9.4%		
年齢	10歳代	3	4	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	
	20～24歳	9	19	66.7%	44.4%	55.6%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%		
	25～29歳	8	12	37.5%	50.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%		
	30～34歳	19	35	68.4%	47.4%	26.3%	15.8%	10.5%	0.0%	0.0%	5.3%	10.5%	0.0%	0.0%		
	35～39歳	22	45	63.6%	31.8%	59.1%	18.2%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%	4.5%	9.1%		
居住地	尾鷲地区	59	111	62.7%	39.0%	42.4%	15.3%	5.1%	0.0%	0.0%	1.7%	11.9%	1.7%	8.5%		
	尾鷲地区以外	2	4	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
就業状態	会社員・公務員	33	57	54.5%	42.4%	39.4%	9.1%	3.0%	0.0%	0.0%	3.0%	12.1%	3.0%	6.1%		
	自営業	3	7	66.7%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	パート・アルバイト	9	22	77.8%	55.6%	55.6%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%		
	専業主婦（主夫）	5	11	60.0%	40.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%		
	学生	7	10	85.7%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%		
	無職	1	3	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	その他	3	5	66.7%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

問 19×属性クロス 理想的な子どもの数を実現するために、障壁となること（なりそうなこと）は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

				回答数	子育てや教育にお金がかかりすぎる	家が狭い	自分の仕事に差し支える	人がいない	子育てを手助けしてくれる	子どもを預ける施設が整っていない	妊娠・出産・子育てに関する情報不足	年齢的な問題	育児・出産の心理的・肉体的な負担	ほしいけれど、できない	配偶者の家業・育児への協力が見込めない	その他の理由	障壁は特にない	無回答
(重要と思うもの3つまでに○)				(N)														
総計				61	134	67.2%	11.5%	19.7%	19.7%	19.7%	3.3%	19.7%	32.8%	8.2%	1.6%	1.6%	6.6%	8.2%
性別	男性	28	45	64.3%	7.1%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	10.7%	
	女性	32	88	71.9%	15.6%	25.0%	25.0%	25.0%	6.3%	25.0%	50.0%	12.5%	3.1%	3.1%	6.3%	6.3%		
年齢	10歳代	3	8	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%		
	20～24歳	9	14	66.7%	0.0%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%		
	25～29歳	8	19	50.0%	25.0%	12.5%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%	62.5%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%		
	30～34歳	19	39	57.9%	10.5%	26.3%	26.3%	15.8%	0.0%	21.1%	26.3%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%	10.5%		
	35～39歳	22	54	81.8%	13.6%	13.6%	22.7%	18.2%	4.5%	31.8%	36.4%	9.1%	4.5%	0.0%	0.0%	9.1%		
居住地	尾鷲地区	59	128	66.1%	11.9%	18.6%	20.3%	18.6%	3.4%	18.6%	33.9%	6.8%	1.7%	1.7%	6.8%	8.5%		
	尾鷲地区以外	2	6	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
就業状態	会社員・公務員	33	71	60.6%	12.1%	21.2%	24.2%	21.2%	3.0%	21.2%	27.3%	6.1%	3.0%	3.0%	6.1%	6.1%		
	自営業	3	5	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	パート・アルバイト	9	23	88.9%	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	0.0%	11.1%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%		
	専業主婦(主夫)	5	14	100.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	学生	100	14	57.1%	0.0%	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%		
	無職	1	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
その他				3	6	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%		

【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

問 20×属性クロス 今後、育児に関するサービスとして、尾鷲市が最も力を入れるべきだと思うのは次のうち、どれですか。(1つに○)

				の 施設 の 拡 充	時 間 の 延 長	子 ど も を 預 か る サ ー ビ ス の	子 ど も を 預 か る 施 設 の 教 育 ・ 保 育 の 質 の 向 上	子 育 て に 関 す る 施 設 ・ サ ー ビ ス ・ イ ベ ン ト な ど の 情 報 提 供 の 充 実	各 種 助 成 を は じ め と す る 金 銭 的 な サ ポ ー ト や 現 物 給 付	保 健 ・ 医 療 体 制 の 充 実	子 育 て に 関 す る サ ー ビ ス ・ イ ベ ン ト ・ 講 演 会 の 実 施	そ の 他	以 上 増 や す 必 要 は な い	無 回 答	
(あてはまるもの3つまでに○)				(N)	回 答 数										
総計				61	61	11.5%	4.9%	11.5%	4.9%	24.6%	1.6%	1.6%	8.2%	3.3%	27.9%
性別	男性	28	28	10.7%	3.6%	10.7%	3.6%	14.3%	3.6%	0.0%	0.0%	10.7%	3.6%	39.3%	
	女性	32	32	12.5%	6.3%	12.5%	6.3%	34.4%	0.0%	3.1%	6.3%	0.0%	18.8%		
年齢	10歳代	3	3	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	
	20～24歳	9	9	22.2%	22.2%	22.2%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	
	25～29歳	8	8	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	12.5%		
	30～34歳	19	19	5.3%	0.0%	10.5%	10.5%	26.3%	0.0%	5.3%	0.0%	5.3%	36.8%		
	35～39歳	22	22	4.5%	4.5%	9.1%	0.0%	31.8%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	31.8%		
居住地	尾鷲地区	59	59	11.9%	5.1%	11.9%	5.1%	25.4%	1.7%	1.7%	8.5%	3.4%	25.4%		
	尾鷲地区以外	2	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
就業状態	会社員・公務員	33	33	15.2%	3.0%	9.1%	3.0%	21.2%	0.0%	3.0%	12.1%	6.1%	27.3%		
	自営業	3	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%		
	パート・アルバイト	9	9	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%		
	専業主婦(主夫)	5	5	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	学生	7	7	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%		
	無職	1	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	その他	3	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%		

【注記】属性不明者がいるため各属性の合計が総計とは異なる。

総合計画策定に関するアンケート調査

平素から市政に対し、ご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

本市では、「第6次尾鷲市総合計画」が令和3年度をもって計画期間が終了するため、今年度から「第7次尾鷲市総合計画」（以下「総合計画」という。）の策定にむけた準備を進めています。

また、今回の総合計画においては、国土強靱化基本法（強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法）に基づき、大規模自然災害に備えた強靱な地域づくりを進めるための「尾鷲市国土強靱化地域計画」の策定が求められているため、策定にあたっては「総合計画」との連携・整合性が重要になることから、一体的に策定することとしています。

本調査は、市の施策や近年の社会・経済動向に対するご意見を把握し、その結果を総合計画の策定に反映させることを目的として実施するものです。

調査にあたり、市内にお住まいの18歳以上80歳以下の方1,000人を、住民基本台帳から無作為に抽出させていただきました。

回収したアンケート票は、統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。また、このアンケートは無記名のため、個人が特定されることはありません。

ご多忙のところお手数ですが、本市のよりよい未来を創り上げるため、あなたのご意見をぜひお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

令和2年9月

尾鷲市

ご記入にあたってのお願い

1. ご回答は、封筒のあて名のご本人がお答えください。
2. 黒の鉛筆又はボールペンでご記入ください。
3. 回答は、あてはまる番号を「○」で囲んでください。各設問文に（1つに○）、（あてはまるものすべてに○）などと指定してありますので、それに従ってご回答ください。
4. 設問によっては、該当する番号に「○」をつけた方だけにお答えいただく設問がありますので、その説明に従いご回答ください。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れ、投函期限までにご投函ください。

投函期限：9月18日（金）まで

◎本調査への質問または不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

尾鷲市役所 政策調整課 企画調整係

住 所 尾鷲市中央町10番43号

電 話 0597-23-8134

FAX 0597-22-2111

あなたご自身についてお伺いします

①あなたの性別をお聞かせください。(1つに○)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

②あなたの年齢をお聞かせください。(1つに○)

1. 10歳代	2. 20～24歳	3. 25～29歳	4. 30～34歳	5. 35～39歳
6. 40歳代	7. 50歳代	8. 60歳代	9. 70歳代	10. 80歳

③あなたのお住まいをお聞かせください。(1つに○)

1. 尾鷲	2. 九鬼	3. 早田	4. 三木浦	5. 三木里
6. 古江	7. 賀田	8. 曾根	9. 梶賀	10. 須賀利

④あなたの主な職業をお聞かせください。(複数の場合は主な職業をお答えください)(1つに○)

1. 会社員・公務員	2. 自営業	3. パート・アルバイト	4. 専業主婦
5. 学生	6. 無職	7. その他()	(夫)

現行総合計画の施策に関するご意見をお伺いします

現行の「第6次尾鷲市総合計画（平成24年度～令和3年度）」の進行管理にあたり実施した「平成元年度尾鷲市まちづくりアンケート」（令和2年1月実施）では、重要度が高い反面、満足度が低い施策トップ5は、以下の通りです。

これらの施策についてご意見をお聞きます。

順位	項目	内容
1	地域医療体制の確保	尾鷲総合病院の診療体制や設備、地域内の医療・診療所など
2	財政の健全化	行政組織のスリム化などの構造改革、財政運営の見直し、職員の意識改革を行い、持続可能な行政体体質への変革を図るなど
3	新しい人の流れの創出	多くの市民が住み続けたいと思い、市外の人も住み続けたいと思えるまちとなるような定住移住に対する取り組みなど
4	公共交通の確保	安全で利便性が高く、環境にやさしい公共交通により安全に暮らし、移動ができる取り組みなど
5	災害に強い都市施設の推進	災害に強い都市施設により、安心して快適に暮らせる取り組みなど

問 1 以下の本市の施策について、平成 24 年度以降、現在までの間で良くなってきていると思いますか。各々の項目について、対応すると思われる番号に○をつけてください。（各々 1 つに○）

順位	項目	かなり良くなった	少し良くなった	少し悪くなった	かなり悪くなった	わからない
	（記入例）	1	②	3	4	5
1	地域医療体制の確保	1	2	3	4	5
2	財政の健全化	1	2	3	4	5
3	新しい人の流れの創出	1	2	3	4	5
4	公共交通の確保	1	2	3	4	5
5	災害に強い都市施設の推進	1	2	3	4	5

問 2 上記問 1 のように思われる理由についてお聞きします。感じていることを自由にお書きください。特になければ未記入で結構です。

①地域医療体制の確保について

（例 尾鷲総合病院の存続、充実に向けた取り組みが実施されている）

②財政の健全化について

（例 事業が緊急度、重要度、熟度などの総合的な判断で実施されていると思う）

③新しい人の流れの創出について

（例 移住の取り組みを積極的に行っている）

④公共交通の確保について

（例 尾鷲市ふれあいバスが便利になった）

⑤災害に強い都市施設の推進について

（例 狭い道路が多く、災害時の避難が不安）

皆さんの身の回りで起こっていることについてお伺いします

近年、私たちの身の回りでは、日本全体あるいは地球規模で以下のような様々なことが起こっています。

《1 人口減少・少子高齢化》

日本の人口は減少局面に突入しています。本市にあっては、平成 22 年の約 21,400 人が令和 2 年には 17,500 人（各年 3 月現在）に減少しており、今後もその傾向が続くと予測されています。高齢化率（65 歳以上人口の割合）は、全国平均 26.6%に対して本市は 43.4%（令和 2 年 3 月）と高く、高齢化が進んでいます。

《2 若者の移住志向の高まり》

田舎暮らしを希望する若者の増加や、テレワーク（情報通信技術を使うことにより会社以外の場所で働く方法）の進展などにより、地方への移住希望者が増えており、人口減少対策や地域活性化策等として本市を始め各地で移住を促進する施策が行われています。

《3 新型コロナウイルス感染症対策》

現在、日本では新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、経済の再活性化に取り組むため、新型コロナウイルス感染症に備えた「新しい生活様式」の確立が求められています。

《4 地球温暖化と災害リスクへの備え》

温室効果ガスの排出等が原因となり、地球温暖化が世界共通の問題となっています。日本においては、地球温暖化の影響による集中豪雨、大型台風の発生などによる災害が多発しています。本市では、南海トラフ地震への備えも重要です。

《5 持続可能な社会づくり》

地球環境や経済活動等を持続可能なものとするため、世界的な取り組みが進められています。国連加盟国は、2030 年までに世界の国々が取り組むべき「持続可能な開発目標」（SDGs（エスディージーズ）：Sustainable Development Goals）を選択しました。全部で 17 のゴール（目標）と 169 の詳細なターゲットが定められており、様々な分野で取り組まれています。

《6 先進技術の導入》

近年、情報・通信技術の進化により、日常生活や経済等に大きな変化が起きています。コンピュータのプログラムが自ら学習し判断能力を習得していく AI（人工知能）や、身の周りの様々なモノがインターネットにつながる IoT（Internet of Things）、多様かつ複雑な作業を自動化する「ロボット」技術等が次々と実用化されています。このような新たな社会を「Society 5.0」と呼んでいます。

※Society 5.0 の“5.0”は、人の社会のはじまりである「狩猟社会」を「Society “1.0”」として、「農耕社会（2.0）」、産業革命後の「工業社会（3.0）」、そして今日の「情報社会（4.0）」の次にあたる新しい社会を意味しています。

問3 あなたは、上記の1～6のことを知っていましたか。また、市の施策として、このような社会動向に対応することは重要だと思いますか。

1～6の各項目について、あなたの考えに近いものを「認知度」と「施策の重要度」の中からそれぞれ1つずつ口をつけてください。

	認知度				施策の重要度				
	1 よく知っている	2 少しは知っている	3 聞いたことはある	4 知らない	1 とても重要	2 大切なことといえば重要	3 やや大切なこと	4 重要ではない	5 わからない
※ 記入例	1	2	3	4	1	2	3	4	5
1 人口減少・少子高齢化	1	2	3	4	1	2	3	4	5
2 若者の移住志向の高まり	1	2	3	4	1	2	3	4	5
3 新型コロナウイルス感染症対策	1	2	3	4	1	2	3	4	5
4 地球温暖化と災害リスクへの備え	1	2	3	4	1	2	3	4	5
5 持続可能な社会づくり	1	2	3	4	1	2	3	4	5
6 先進技術の導入	1	2	3	4	1	2	3	4	5

《新型コロナウイルス感染症などへの対策について》

問4 新型コロナウイルスを含む感染症対策として、市はどのようなことをすべきと思いますか。
 (重要と思うもの3つまでに○)

1. 市民に予防のための方法を周知する（口蓋をさける、マスク着用、うがいなど）
2. 検査体制を充実する
3. テレワーク（在宅）出勤を促す、自休などで仕事をすること）を推進する
4. 役所や公共施設において予防対策を実施する
5. 民間施設、飲食店などにおける予防対策の要請を強化する
6. 医療従事者に対する医療休職を充実する
7. 民間の医療施設、介護施設における医療体制の充実に支援する
8. 収入が減少した個人に経済的な支援を行う
9. 経営状況が悪化した事業所等に経済的な支援を行う
10. 影響を受けた企業などに対して、市民や事業者等と協力して支援する
11. 不要不急の人の移動については自粛を要請する
12. その他（ ）

《地球温暖化と災害リスクへの備えについて》

問5 地球温暖化の影響について、あなたはどのようなことに関心がありますか。
 (関心の高いもの3つまでに○)

1. タリヤ豪雨や台風による水害の増加
2. 熱中症の増加
3. 猛暑・猛寒など、気候の変化
4. 農畜物の収穫量・品質への影響
5. 水産物の収穫量・品質への影響
6. 干ばつや渇水による水不足
7. 豪雪被害の増加
8. 海面上昇による高潮被害
9. 光化学スモッグの増加など、大気汚染の悪化
10. 動植物の生態の劣化や絶滅
11. その他（ ）
12. 特に関心がない

問6 温室効果ガスの排出を抑制するため、市はどのようなことを重点的に進めていくべきだと思いますか。（重要と思うもの3つまでに○）

1. 地球温暖化を抑制する
2. 公共施設の省エネルギーを推進する
3. 地球温暖化問題に関する情報を提供する
4. 公共交通を便利にし、利用しやすくする
5. 資源ごみの分別などによるリサイクルを推進する
6. 児童学習の機会を提供する
7. 事業と連携してCO₂の排出削減などに取り組む
8. 太陽光発電の設置や省エネルギーなどに対する助成を充実する
9. マイバグ利用を推進するなど、ごみの発生を抑制する
10. 児童団地に取り組む市民活動への支援を充実する
11. その他（ ）
12. わからない

問7 本市では、地震や台風などの大規模自然災害に強いまちづくりを進めるため、「国土強靱化地域計画」の策定を進めています。これは、大規模自然災害に備えた強靱な地域づくりを進めるため、事前防災・減災や迅速な復旧・復興のための総合的な取組をとりまとめた計画になります。

この計画の策定にあたり、地震や台風・集中豪雨などの大規模自然災害に事前に備えるべき目標として、優先度が高いと思われるものは次のどれになりますか。

（優先度が高いと思われるもの3つまでに○）

1. 人命の保護が最大図られること
2. 救済・救済、災害対策が迅速に行われること
3. 必要不可欠な行政機能が確保されること
4. 必要不可欠な情報通信機能が確保されること
5. 経済活動を機能不全に陥めないこと
6. 生活・経済活動に必要な最低限のライフライン（電気・ガス・上下水道・燃料・交通ネットワーク等）が確保されるとともに、これらの早期復旧を図ること
7. 被害発生による二次被害を発生させないこと
8. 地域社会・経済が迅速に再生・回復できる条件を整備すること

《持続可能な社会づくりについて》

問 9 持続可能な社会を創っていくため、本市のまちづくりではどのようなことに重点的に取り組むべきだと思いますか。（あてはまるもの2つまでに○）

1. 市民同士の関係などの普及啓発活動
2. 各種の計画への反映
3. 企業などに実施した取組の実施
4. 影響を軽減する（自治体間）の連携
4. 取り組む必要はない
5. その他（ ）
6. よくわからない

《先進技術の導入について》

問 9 あなたは、先進技術の導入について、どのような印象やイメージをもたれますか。（あてはまるもの3つまでに○）

1. 生活の質が向上する
2. 生活者の多様なニーズに応えるサービスが提供され、他利になる
3. 加齢や障害等によるサービス需要が軽減される
4. インターネットやパソコンなどのように、より商業的かつ身近な技術や製品ができる
5. ロボットやAIの普及により仕事が楽になり、生活の質が低下する
6. ロボットやAIなどができない困難な仕事が増え、労働意欲が低下する
7. 先端通信技術の普及の質によって利便や利便の質が向上する
8. コンピュータウイルス感染などにより、個人情報や流出が増える
9. コンピュータを活用した犯罪などが発生
10. その他（ ）
11. よくわからない

問 10 先進技術の導入により、行政サービスについては、「デジタル化による利便性向上」「インフラ管理コストの低減」などが期待されます。このような取り組みについて、どのように思いますか（1つに○）

1. 市民サービスが良くなるよう、積極的に取り組むべき
2. 急激な変化に付いていけないので、慎重に進めるべき
3. 今のままでよい
4. その他（ ）
5. よくわからない

人口減少対策に関する現在の取組についてお伺いします

図 11 本市の人口は、現在約 1 万 9 千人で減少傾向です。このため、人口減少対策として以下のような取り組みを実施しています。これらの取り組みについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」をお聞かせください。

(1) ～ (13) の各項目について、あなたの考えに近いものを「満足度」と「重要度」の中からそれぞれ 1 つずつ○をつけてください。

	現在の満足度						今後の重要度					
	1 満足度	2 どちらかといえば満足	3 普通	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない	1 重要度	2 どちらかといえば重要	3 普通	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
※ 記入例	①							②				
基本目標 1 安定した雇用を創出する												
(1) 農林水産物のブランド化の推進 農林水産物の振興を図り、地域産業の成長を支援。生産技術の高齢化、高付加価値化など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(2) 食のまちづくりの推進 農産物地産地消の推進、食文化の振興、食利便性の向上の取組を支援。食のイベント等の開催など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(3) 後継者対策、起業支援、事業・企業誘致の推進 新規就業者等の定住支援等、若い世代への受け入れ態勢の整備、異業連携、交流促進など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(4) 世界遺産と食を中心とした観光の振興 自然景観ツアー、各種イベント等の実施・実施、情報発信の充実など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
基本目標 2 新しいひとの流れをつくる												
(5) 定住の促進 子育て支援の推進、若者の地域定住の推進など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(6) 移住の促進 住まいや仕事探しの支援、移住相談、サポート体制の実施など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

	現在の満足度						今後の重要さ					
	1 大変 不満	2 不満である程度満足	3 普通	4 満足である程度不満	5 不満	6 非常に満足	1 低い	2 やや低めである程度高い	3 普通	4 やや高めである程度低い	5 高い	6 非常に高い
(7) 情報発信の促進 県民の自然や食などの魅力、移住者のライフスタイル等の生活情報を広く発信など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる												
(8) 結婚・出産支援の充実 結婚前婚の支援、結婚・出産に関する経済的負担の軽減及び妊娠前からの子育て支援など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(9) 子育てしたいまちづくり 学校教育の充実、安心して子育てできる環境の構築、学力向上や情報教育の推進など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(10) 子育てしやすいまちづくり 家庭、学校、福祉、市民の連携による保育・教育環境の充実、延長保育などのサービス拡大など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する												
(11) 地域特性を生かした施策ならではの地域づくり 各センター・コミュニティセンター機能の活用、加齢化、健康づくりの推進など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(12) 安心して暮らせる地域づくり 防災体制の強化、防災訓練等による住民の防災・減災意識向上、安全・安心な生活環境の確保など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(13) 地域と地域を連携する 各地域間の交流等の促進強化、地域の実情に応じた移動手段の維持・確保など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

問12 人口減少対策として、今後、どのような施策に重点的に取り組むべきだと思いますか。
(2つまでに○)

1. 安定した雇用を創出する(上記の基本目標1)
2. 新しいひとの流れをつくる(上記の基本目標2)
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる(上記の基本目標3)
4. 時代に合った地域をつくり、安住を暮らしを守るとともに、地域と地域を運揚する(上記の基本目標4)
5. 多様な人材の活躍を推進する(誰もが活躍できる地域社会の推進等)
6. 新しい時代の流れを力にしてまちづくりをする(SDGsの実現など、持続可能なまちづくり等)

尾鷲三田火力発電所の跡地利用についてお問い合わせ

問13 現在、尾鷲三田火力発電所の跡地利用計画『おわすS E Aモデル グランドデザイン』が策定されています。計画では、

- S 集客交流人口拡大(サービス・コンテンツの充実で市民も観光客も楽しめる場所へ)
 - E 新たなエネルギーの活用(再生可能エネルギーを活用した新たなエネルギー発生产基地へ)
 - A 働く場所・雇用の創出(尾鷲の恵みと新たなエネルギーの有効活用で新ビジネスの創出へ)
- を目的としています。

あなたは、上記のそれぞれについて、どのような施設、機能、活動ができたらよいと思いますか。ご自由にお書きください。

S 集客交流人口拡大

E 新たなエネルギーの活用

A 働く場所・雇用の創出

今後のまちづくりのキーワードについて

問14 第7次尾鷲市総合計画の策定にあたり、将来のまちづくりの目標となるキーワードがあれば、お答えください。

例：みんなが安心して暮らしがに暮らせるまち

《ここからは、18歳以上40歳未満の方にお聞きします。他の方は、問21にお進みください。》

将来人口を検討するための基礎資料として、皆様の結婚・出産・育児に関するお考えについてお聞きします

結婚についてお伺いします

問15 あなたは、現在、結婚していますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|--------------|---------------|
| 1. 独身(未婚) | 2. 独身(婚姻歴あり) | 3. 既婚(事実婚を含む) |
|-----------|--------------|---------------|

【問15で「1. 独身(未婚)」、「2. 独身(婚姻歴あり)」を選択した方にうかがいます。】

⇒「3. 既婚(事実婚を含む)」の方は問16へ

問15-1 現在、結婚していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 結婚したいと思える相手がない | 2. 家族を養うほどの収入がない |
| 3. 精神的に自由でない | 4. 経済的に自由がきく |
| 5. 男社とうまく付き合えない | 6. 仕事(学業)に打ち込みが |
| 7. 結婚資金が足りない | 8. まだ若すぎる |
| 9. 計合う場合、きっかけがない | 10. 結婚に意味を見出せない |
| 11. 進路が定まらない | 12. 上記以外の理由() |

問15-2 今後の結婚に関するあなたの希望は次のうち、どれにあてはまりますか。(1つに○)

- | | | |
|---------------|---------------|----------|
| 1. いずれ結婚するつもり | 2. 結婚するつもりはない | 3. わからない |
|---------------|---------------|----------|

問15-3 結婚後も尾鷲市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|-----------|----------|
| 1. 先の結婚したい | 2. 住み続けたい | 3. わからない |
|------------|-----------|----------|

問16 尾鷲市が重点的に取り組むべき結婚支援事業は何だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 安定した雇用の支援 | 2. 若い夫婦への住まいの支援 |
| 3. 結婚初めなどの経済的支援 | 4. 婚活イベントなどによる出会いの場の提供 |
| 5. 結婚相談窓口(仲人ら) | 6. 若い世代への結婚に関する啓発 |
| 7. 交際費やマナーなどを学ぶ講座 | 8. 結婚を推奨するようなPR |
| 9. 行政がやる必要はない | 10. その他() |

出産・育児についてお伺いします

問17 あなたは、現在、お子さんが何人いますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1. 0人 | 2. 1人 | 3. 2人 |
| 4. 3人 | 5. 4人 | 6. 5人以上 |

問 18 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか（現在いるお子さんの人数も含む）。
（1つに○）

1. 0人	2. 1人	3. 2人
4. 3人	5. 4人	6. 5人以上

問 19 理想的な子どもの数を実現するために、草壁となること（なりそうなこと）は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 子育てや教育にお金がかかりすぎる	2. 家が狭い
3. 自分の仕事に差し支える	4. 子育てを手助けしてくれる人がいない
5. 子どもを預ける施設が整っていない	6. 妊娠・出産・子育てに関する情報不足
7. 経済的な困難	8. 育児・出産の心身的・身体的な負担
9. 忙しいけれど、できない	10. 四世帯の家族・育児への関心が見込めない
11. その他（ ）	12. 希望は特にない

問 20 今後、育児に関するサービスとして、麻葛市が最も力を入れるべきだと思うのは次のうち、どれですか。（1つに○）

1. 保育園・認定子ども園などの施設の拡充
2. 子どもを預かるサービスの地域の実装
3. 子どもを預かる施設の敷地・保育の質の向上
4. 子育てに関する施設・サービス・イベントなどの情報提供の充実
5. 各種助成をはじめとする金銭的なサポートや補助給付
6. 子育てに携わる母子・父子の保護・回復体制の充実
7. 子育てに関する様々な講座、イベント、相談会の実施
8. その他（ ）
9. 行政が行うサービスをこれ以上増やす必要はない

自由意見

問 21 市は、今後どのような施策を重点的に進めるべきだと思いますか、あなたのご意見を自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒に入れて投函してください。